

平成28年度

大間町教育委員会の事務  
の点検及び評価に関する

報告書

—平成28年度の実績—

大間町教育委員会

まえがき

大間町教育委員会は、教育は「将来を担う人づくり」という視点に立ち、子どもたちが確かな学力と豊かな人間性・逞しい心身を身に付け、健やかな体を培い、新しい時代を主体的に切り開いていく人間として成長できるよう教育の施策の充実に努めております。

子どもたちが将来の夢や志の実現に向けて、創造力などを生かして果敢にチャレンジする人材として成長するよう「人とのかかわり」や「体験行動」を通じて、社会的独立のために必要な能力・意識を育成する地域ぐるみのキャリア教育の充実に取り組むとともに、子どもたちが意欲的に学習できる環境づくりを目指し、いじめ、不登校、問題行動への対策・支援の充実に通じて子どもたちが安心して学校生活を送ることができる環境づくりを推進しています。

学校教育においては、小・中学校の連携を図りながら「確かな学力の育成」を目指し、学習意欲の向上・学習習慣の確立、そして心身の発達に応じて人間形成に必要な基礎的な能力と自主性・創造性を育むことを目的として、多様な指導方法の工夫など日々の授業改善に努め、児童生徒一人ひとりが主体的に学習し、基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせることができるよう、「個」に応じた指導を行っております。また、保護者・地域との連携を図りながら信頼される活気ある学校づくりを進めております。

社会教育については、伝統文化やスポーツの交流を通じて地域住民が心のふれあいを一層深め、生涯にわたって生きがいのある充実した生活を送り、豊かで住みよい地域社会の実現ができるよう各団体との連携を密にし、一人ひとりの学習と社会参加を実現する社会教育の充実にに向けた支援を積極的に推進しております。

平成 26 年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について、毎年、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を提出するとともに、公表することが義務付けられました。

この法律の改正を受け、大間町教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進並びに町民への説明責任を果たすことを目的に、平成 28 年度分報告書をまとめました。

町民の皆様、大間町の教育施策と教育委員会の取組みについてご理解を深めていただければ幸いです。

大間町教育委員会では、大間町第 5 次長期総合計画の基本構想に基づき、教育施策の推進に努めて参りますので、町民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 29 年 11 月

大間町教育委員会

# 目 次

■ 点検・評価の概要	1
1 経緯	1
2 点検・評価の方法	1
3 報告書の構成	1
4 点検及び評価アドバイザー会議の概要	1～2
5 事務の点検及び評価実施要綱	3
6 点検及び評価実施要領	4
■ 平成 28 年度 大間町教育施策の方針	5～9
■ 施策別重点項目一覧	10
■ 点検・評価結果	
I 教育委員会	
① 組織・事務局・事務分担	11～15
② 教育委員会会議の開催	16～20
③ 教育委員による学校訪問の実施	21～22
④ 教育委員研修会	22
⑤ 平成 28 年度予算及び施設整備・備品・就学援助・奨学金	23～24
II 学校教育の推進	
(1) 組織及び事業	25
① 大間町教育推進協議会（校長会）	25
② 大間町教頭会	25
③ 大間町教務主任会	25
④ 大間町学校事務会	25
⑤ 大間町学校保健会	25
⑥ 大間町就学指導委員会	29～30
⑦ 大間町学力向上研究会	31～34
⑧ 大間町臨時職員任用	35～36
⑨ 大間町きめ細かな子育て支援事業	37～41
⑩ 大間町小・中学生海外派遣事業	42～43
⑪ 大間町教育ネットワーク会議	44～45
⑫ 大間町奨学金貸付事業	46～49
⑬ 奥戸地域学校教育の検討	50～53
⑭ 新教育制度への移行について	54～57

### III 社会教育の充実

(1) 組織及び事業	58
① 社会教育委員会	58
② 文化財審議委員会	58
③ 公民館運営審議委員会	58
④ スポーツ推進委員会	59
⑤ 青年教育・こども会育成事業	59
⑥ 放課後こどもプラン	59
⑦ 青年教育・成人式	59
⑧ 勤労青少年ホーム	60
⑨ 女性団体連絡協議会	60
⑩ 老人クラブ連合会	60
⑪ 芸術・文化団体（芸能保存会・祭典実行委員会）	60
⑫ 読書サークル	61
⑬ 体育・スポーツ団体（各種体協等）	61

### IV 大間町教育委員会行事

① 第71回市町村対抗青森県民体育大会	63～65
② 大間町成人式	66～67
③ 第24回青森県民駅伝競走大会	68～70
④ 第31回はまなす駅伝大会	71～78
⑤ 公民館講座	79～81
⑥ 第41回町民文化祭	82～87
⑦ 第38回大間町音楽祭	88～94
⑧ 第31回大間町少年柔道大会	95～99
⑨ 第45回新春書初め席書大会	100～102
⑩ 第53回大間町少年剣道大会	103～111
⑪ 大間町青少年健全育成会議	112～130
⑫ 放課後子ども教室事業	131～135
⑬ 函館市戸井地区交流事業	136

□ 施策の総合的評価	137
------------	-----

## 点検・評価の概要

### 1 経緯

平成 20 年 4 月 1 日に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が施行され、平成 26 年 6 月に一部改正がなされました。法第 27 条により教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することとされております。

この法律改正を受け、大間町教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び町民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

### 2 点検・評価の方法

#### (1) 点検・評価の対象

平成 29 年度の点検・評価に当たっては、平成 28 年度に実施した各重点項目を推進するための具体的な取組を点検対象として、その点検結果を踏まえ、重点項目ごとに自己評価を行いました。

#### (2) 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、「点検・評価アドバイザー会議」を開催し、学識経験者等の「点検・評価アドバイザー」からその実施方法や内容について意見をいただき、これを点検・評価の実施と報告書の作成に反映させました。

### 3 報告書の構成

#### (1) 全体構成

報告書は、「1 学校教育の充実」、「2 社会教育の充実」の施策ごとに構成されています。

#### (2) 重点項目の点検

重点項目を推進するための具体的な取り組み状況について「計画」、「実績」、「成果」、「課題等」に分けて評価しています。

### 4 点検及び評価アドバイザー会議の概要

#### ○平成 28 年度点検及び評価アドバイザー

氏 名	団 体 ・ 役 職 等
林 誠	元 小学校 P T A 会長 社会福祉協議会事務局長
小 浜 哲 夫	元 小学校 P T A 役員 大間漁協総務課長

○点検及び評価アドバイザー会議の開催状況

- ・ 第1回点検及び評価アドバイザー会議（平成29年10月24日開催）  
〔内容〕・大間町教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書（原案）  
の内容についての評価
- ・説明担当：教育課 学校教育担当、社会教育担当

○アドバイザーからの主な意見

- ・平成28年度の小学校へのタブレット導入事業に関しては、積極的に活用し授業の効率化に努めて欲しい。
- ・登下校時の児童生徒の安全確保は重要である。特に冬期間、通学路の除雪は必要不可欠であることから関係機関と連携し安全確保に努めてほしい。
- ・各学校が災害時の避難所に指定されているが、災害時必要な物品・備品等の検討・配備を行い避難所としての機能の充実を図る必要がある。
- ・少子化による今後の教委施策について、近い将来に起こるであろう統合問題も含め段階的に検討を続けることが重要である。特に、保護者の理解を得られないままの統合実施は、後に問題を残すこととなるので十分協議を重ね推進すべきと思う。

## 5 事務の点検及び評価実施要綱

### (趣旨)

第1 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第27条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を実施するため、必要な事項を定めるものとする。

### (点検及び評価の実施)

第2 教育委員会は、毎年、前年度の教育に関する事務が各年度ごとに掲げる「大間町の教育」に基づいて適切に実施されているかを点検するとともに、その成果及び課題について自ら評価するものとする。

### (学識経験者等の知見の活用)

第3 教育委員会は、点検及び評価について客観性を確保するため、点検及び評価の実施方法並びにその内容等について意見を聴取するなど、教育に関する学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

### (点検及び評価の結果の活用)

第4 点検及び評価の結果は、教委施策の企画立案等、効果的な教育行政の推進等に活用するものとする。

### (町議会への報告等)

第5 点検及び評価の結果については、報告書を作成して議会へ提出するとともに公表するものとする。

### (その他)

第6 この要綱に定めるもののほか、点検及び評価に関し必要な事項については、教育長が別に定める。

### (附則)

この要綱は、平成20年5月1日より実施する。

## 6 点検及び評価実施要領

### (趣旨)

第1 この要領は、大間町教育委員会の事務の点検及び評価実施要綱（以下、要綱という。）に定めるもののほか、点検及び評価に関し必要な事項を定めるものとする。

### (点検及び評価の対象)

第2 点検及び評価の対象は、別記「施策別重点項目一覧表」（以下、「重点項目一覧表」という。）に定める推進施策の重点項目を構成する主要事業として、教育長が定める事業（以下、「対象事業」という。）とする。

### (点検及び評価の手続き)

第3 対象事業を所管する者は、教育長が別に定めるところにより、当該対象事業について点検及び評価を行い、その結果を教育長に提出するものとする。

2 重点項目一覧表に定める評価担当者は、教育長が別に定めるところにより、当該重点項目について、前項の点検及び評価の結果に基づく総括的な評価を行い、その結果を教育長に提出するものとする。

### (点検・評価アドバイザーの委嘱)

第4 教育長は、要綱第3に規定する教育に関する学識経験を有する者の知見を活用するため、教育に関する学識経験を有する者の中から適当と認められる者を、点検・評価アドバイザーとして委嘱し、点検及び評価の実施方法並びにその内容等について意見を求めるものとする。

### (報告書の作成)

第5 教育長は、点検・評価アドバイザーから聴取した意見を参考に、点検・評価に関する報告書の案を作成し、教育委員会に提出する。

### (町議会への報告時期)

第6 点検及び評価の結果に関する報告書は、12月大間町議会定例会の招集日までに町議会に提出するものとする。

### (その他)

第7 この要綱に定めるもののほか、点検及び評価の実施に関し必要な事項については、別に定める。

(附則) この要領は、平成20年5月1日から施行する。



# 平成28年度 大間町教育施策の方針

大間町教育委員会は、豊かな心と郷土に対する誇りを持ち、健康で、創造性に富み、新しい時代を主体的に切り拓く人づくりを目指します。このため、

- 夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育
- 学びを生かし、つながりをつくり出す社会教育
- 次代へ伝える、かけがえのない文化財の保存・活用
- 活力、健康、感動を生み出すスポーツ

を学校・家庭・地域の各関係機関、団体との連携を密にし、広く町民の理解と協力を得ながら推進します。

## 1. 大間町学校教育の方針と重点

青森県教育委員会及び下北教育事務所が定めた平成 28 年度「青森県教育施策の方針」並びに「学校教育指導の方針と重点」を基調として、大間町学校教育の現状と課題を踏まえつつ、その課題解決に向けて取り組みの方針と重点を設定する。

### (1) 方針

郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで新しい時代を主体的に切り拓く幼児・児童・生徒を育成するため、教育は人づくりという視点に立って、学校経営に創意工夫をこらし、夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育の推進に努める。

### (2) 重点

#### ① 幼稚園教育の充実

ア 一人一人の発達の特徴を理解し、その子どもに応じた適切な指導や援助に努める。

イ 健康・安全で幸福な生活のために必要な、基本的な生活習慣や態度を育てるよう努める。

ウ 豊かな心をはぐくむために、経験したことや考えたことなどを、言葉で表現し、相手の話を聞くことができるよう指導に努める。

エ 自然体験・社会体験などの直接的、具体的生活体験を重視した活動を積極的に取り入れる。

オ 園内・園外の研修の充実を図り、教師の資質の向上に努める。

カ 家庭及び幼保・小学校間の情報の共有と連携を図り、相互理解を深めながら教育実践の推進に努める。

キ 新子育て制度に向けた、地域のニーズに合った次世代の子育て環境整備計画の検討及び研究の推進。

#### ② 児童生徒の基礎学力の充実

ア 一人一人に、基礎的・基本的内容を確実に身につけさせるために、指導内容を重点化し、適切な教材の精選に努める。

- イ 学習内容を確実に定着させるよう、授業展開の仕方や指導法の工夫に努める。
  - ウ グループ別指導やティームティーチング、繰り返し指導、習熟度別指導など個に応じた指導の取り組みを工夫する。
  - エ 確かな学力の定着を図るため、国及び県の学習到達度調査を参考にし、適宜活用しながら、町独自の学力調査に取り組む。
  - オ 学力向上委員会の研究の実践、教員の授業支援と児童生徒の基礎学力の向上と及びきめ細かい指導方法や指導体制、教育課程の工夫、改善等に努めていく。  
また、町採用による臨時講師事業を継続実施とする。
- ③ 学校活性化の推進
- ア 個性あふれる学校づくりをめざし、地域社会と連携しながら、創意工夫して展開する各学校独自の教育活動を推進する。
  - イ 体験的学習活動を積極的に授業に取り入れ、その一環としてキャリア教育の実践研究に取り組む。
- ④ 道徳教育の充実
- ア 一人一人が人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を具体的な生活の中に生かし得るよう、その基礎となる道徳性の育成に教育活動全体を通して取り組む。
  - イ 豊かな心を育むための体験活動の在り方等について、実践研究を学社連携で継続的な推進に努める。
- ⑤ 特別活動の充実
- ア 明るい学校生活を築くために、自ら問題を発見し自主的に解決できるような実践的な態度の育成に努める。
  - イ 一人一人が集団の一員として互いに尊重し合い、協力して活動できるような人間関係づくりに努める。
  - ウ 感動や連帯感を高める学校行事の工夫に努める。
  - エ 自治的な意識を高める児童会活動、生徒会活動の工夫に努める。
- ⑥ 生徒指導の充実
- ア 生徒指導においては、お互いの心の結びつきを基調とし、自己決定の場や自己存在感を与え、一人一人の個性の伸長を図りながら、児童生徒が豊かな生活を送ることができるように取り組む。
  - イ 不登校、いじめ、体罰、公共物（学校器物）破損、非行等の問題については、「大間町教育ネットワーク協議会」及び行政組織である「大間町要保護児童対策地域協議会」と情報共有を図り児童生徒の実態を的確に速やかに把握し、各支援機関及び教職員の協働指導体制のもとに、児童福祉行政（児童福祉担当課）と協同で家庭訪問等を行い、保護者の理解と協力を得ながら、問題の早期支援と解消に取り組む。
  - ウ 問題行動の内容によっては、関係機関（児童相談所、青少年問題協議会、心のオアシスアドバイザー、教育相談室、警察）等との連携を図り、指導・助言を得ながら問題の早期解決に努める。
  - エ PTA集会、PTA・学級・学校だより、地区懇談会、町内会会議等様々な機会をとらえて学校・家庭・地域が互いに情報提供に努め、地域全体の関心と協力体制を高める。
  - オ スクールカウンセラー配置事業を実施し、児童生徒の問題行動やいじめ、不登校などの諸問題を未然に防止または解決のために、専門知識を生かして、児童生徒へのカウンセリングを適切に行い学校における教育相談体制の充実を図る。
- ⑦ キャリア教育・進路指導の充実

- ア 3年間のキャリア教育指定に伴う実践及び評価を踏まえ、一人一人の子どもが、自らの生き方を考え、社会的・職業的自立ができるよう、必要な基盤となる能力や態度の育成に継続的に努める。
  - イ 小学校においては、道徳や特別活動の中で意図的に将来の夢や希望を育てるようにし、さらに中学校では、発達段階に応じて進路相談を実施するとともに、職業観や勤労観を育成する。
  - ウ 進路の選択に当たっては、本人の能力、適正、興味関心や希望等を尊重するとともに、保護者とも十分な話し合いを持ち、適切な指導・援助に努める。
- ⑧ 体育・健康教育の充実
- ア 一人一人の子どもが、生涯にわたり自ら進んで運動に親しみ、健康・安全で活力のある生活を送ることができるよう、発達段階に応じた運動能力の向上と体力の増進を図る。
  - イ 学校の保健安全計画にもとづく意図的、継続的な指導により、実践的な能力や態度が身に付くように努める。
  - ウ 学校における事件・事故を未然防止し、児童生徒を犯罪被害から守るために、学校・警察・地域及び家庭との情報連絡を密にし、危機管理意識の向上に努める。
  - エ 学校給食については、衛生管理の徹底に努め、食中毒発生防止に万全を期する
  - オ 下北地区では、肥満傾向が顕著であり、「下北の子どもヘルスアップ事業」の実施により(親子・保護者を対象に料理講習会・レシピコンテスト・講演会)生活習慣の改善・学力向上に努める。
- ⑨ 国際化に対応する教育の推進
- ア 郷土の文化や伝統、自然環境等に目を向け、体験的な活動を取り入れて、郷土をよく知り、郷土に対する愛着と誇りを涵養するよう努める。
  - イ 一人一人の子どもが、我が国や諸外国の文化と伝統について関心と理解を深めるとともに、国際社会に貢献できるよう、国際理解教育の推進に努める。
- ⑩ 特別支援教育の充実
- ア 「大間町きめ細かな子育て支援事業」の取り組みの成果・課題等についての確かな実態把握に努める。  
本事業の実践及び評価を踏まえ、今後も家庭内幼児教育の充実・未発達幼児、幼児保育の支援さらに、保護者及び学校との良好な関係構築と小学校就学時及び中学校入学時における情報の共有と児童生徒の社会的自立の支援の継続に努める。
  - イ 大間地区こども発達相談連絡会議の有効的活用と開催頻度を高めるよう努める。
- ⑪ 情報化に対する教育の推進
- ア 児童生徒が情報活用能力を身につけることができるよう、情報モラルにかかわる指導の充実を図り、情報教育の推進に努める。
  - イ 学習指導におけるコンピュータ等の適切な活用の推進に努める。
  - ウ 大間・奥戸各小学校のコンピュータ機器及び教育ソフトについて更新し、ICT教育の導入を図る。
- ⑫ 環境教育の推進
- ア 児童生徒の発達段階や生活環境等に対応し、その興味・関心を生かした指導を工夫する。
  - イ 学校と家庭、地域社会が一体となり、地域の環境問題に関わる体験活動を推進する。
- ⑬ 研修の充実
- ア 教職の専門性を高め、教育活動の充実を図るため、計画的・積極的な研修の推進

に努める。国における教育再生実行会議の提言の報告、また、「道徳教育総合支援事業」の評価を踏まえ道徳教育の改善と充実に努める。

イ 学校の教育課題解決のための実践研究に努める。

ウ 地域との連携を深め、地域の教育資源や学習環境を活用した教育活動に努める。

⑭ 学校施設の整備

ア 奥戸小学校木造校舎建物耐力度調査業務委託の実施。

イ 奥戸中学校体育館屋根改修工事設計委託の実施。

ウ 管内学校の改修・補習に努め、教育環境の整備を図る。

⑮ へき地・複式教育の充実

ア 複式学級実施校に対し、教育環境の変化等に伴う人的・物的支援の確保及び教育現場との情報共有に努める。

⑯ 学校再編に関するあり方について

ア 少子化に伴う奥戸小学校及び奥戸中学校のあり方について「大間町奥戸地域学校教育検討委員会」の報告等を踏まえ、町、町議会、奥戸地区の保護者・住民に対して、教育現況の説明と意見交換、さらには複式校・統合校の視察研修を実施してきたところであり、将来の子どもの教育環境のあり方・地域のあり方を継続的に積極的な協議に努め町・町議会・住民等に報告してきたが、奥戸中学校は生徒数の減少により、集団活動や行事等教育効果の低下を考慮し、生徒が切磋琢磨できる環境づくりに取組む必要があることを重視した結果、大間中学校との統合に向け推進する。

⑰ 大間町の教育委員会事業等の事業評価及び見直しの検討

ア 大間町教育委員会の事業及び行事の評価を行い、次世代を見据えた住民ニーズに基づく見直しの検討をする。

## 2. 大間町社会教育の方針と重点

### (1) 方針

地域住民が心のふれあいを深め、生涯にわたって生きがいのある充実した生活をおくるとともに、豊かで住みよい地域社会の実現ができるよう、一人ひとりの学習と社会参加を実現する社会教育の推進に努めるとともに、地域全体の教育力の向上を図る。

### (2) 重点

① 青少年の健やかな育成を目指し、家庭、学校、地域が一体となった取り組みを図るとともに、諸団体が自主的に実施する社会教育の関連行事・事業への参加の奨励、支援を行う。

② 町民一人ひとりが、生涯にわたって自己の啓発・向上をめざし、生きがいのある生活をおくることができるよう、学習機会の充実を図るとともに、新しい時代に対応した社会教育諸条件の整備充実に努める。

③ 変動する社会に対応しつつ、地域住民の生活課題や学習要求を把握しながら、生涯学習の体系的、継続的な学習の支援に努める。

④ 社会教育関係団体の活動の実態把握をしながら連絡提携を密にするとともに、郷土愛に満ちたふるさとづくりを推進する。

⑤ 町民憲章の具体化に向けて、学校・家庭・地域での実践項目を引き続き啓蒙する。

ア 幼児教育

少子化や核家族の増加等により、幼児期からの家庭教育が希薄になっていることか

ら、関係機関と協力して学習機会の充実と支援に努める。

イ 少年教育

こころ豊かで健やかな子どもたちを育成するため、学校や青少年健全育成組織との連携を図り、子ども教室や子ども会活動等を通じて地域社会が一体となった運動を幅広く展開できるよう努める。

ウ 青年教育

郷土を担う青年が社会的役割と責任を自覚し積極的に社会参加できるよう、仲間づくり活動の推進とリーダーの育成に努める。

エ 婦人教育

女性団体連絡協議会を中心とした女性団体が地域に根ざした様々な学習や地域活動ができるよう支援する。

オ 成人教育

地域における学習活動は、社会的立場からも必要且つ重要であり、心にゆとりと豊かさをもつために、学習ニーズや社会的課題に応じた学習機会の充実に努める。また、近年、青少年の突発的行動が社会問題になっていることから、その根幹をなす家庭教育のあり方について、PTAなどの諸団体との連携を図りながら啓発していくことに努める。

カ 高齢者教育

高齢者が年々増加していく中で、高齢者自身が仲間づくりを通じて生きがいと社会参加を積極的に行う活動を支援するため、ニーズに応じた体験的、継続的学習の支援充実に努める。

キ ボランティア活動の支援

ボランティア活動の一層の支援・推進を図るため、関係機関並びに団体との連携を強化し、事業の充実を図る。

ク 学校開放の推進

生涯学習推進の拠点として、大間中学校・奥戸中学校の特別教室、体育館等の活用を図る。また、小学校も可能な限り、生涯学習の場としての役割を果たすように努める。

ケ 放課後子ども教室の推進

地域の子どもたちが安全・安心して活動できる居場所（活動拠点）を設け、様々な体験活動の機会を提供する。

コ 家庭教育支援事業の創設の推進

家庭教育や子育てに関する情報提供や相談対応ができるような体制づくりの創設に努める

(3) 事業

重点施策として次の事業を行う。

- ・成人式
- ・子ども会育成事業
- ・広域町村ネットワーク  
(大間、風間浦、佐井)
- ・「放課後子どもプラン」  
～放課後子ども教室推進事業
- ・青少年健全育成会議支援事業
- ・女性団体研修会
- ・函館市戸井地区交流事業
- ・学校と地域の協働による教育活動の推進
- ・家庭教育支援事業（事業創設研修・講座開設）

# 施策別重点項目一覧

推 進 施 策	重 点 項 目 ( 課 題 項 目 )	備考
I 教育委員会 (1) 組織及び事業	① 組織 ② 教育委員会会議の開催 ③ 教育委員による学校訪問の実施 ④ 教育委員研修会 ⑤ 平成28年度予算及び施設整備・備品・就学援助・奨学金	
II 学校教育の推進 (1) 組織及び事業	① 大間町教育推進協議会(校長会) ② 大間町教頭会 ③ 大間町教務主任会 ④ 大間町学校事務会 ⑤ 大間町学校保健会 ⑥ 大間町就学指導委員会事業 ⑦ 大間町学力向上研究会 ⑧ 大間町臨時職員任用 ⑨ 大間町きめ細かな子育て支援事業 ⑩ 大間町小・中学生海外派遣事業 ⑪ 大間町教育ネットワーク事業 ⑫ 大間町奨学金貸付事業 ⑬ 奥戸地域学校教育の検討 ⑭ 新教育制度への移行について	
III 社会教育の充実 (1) 組織及び事業	① 社会教育委員会に関すること。 ② 文化財審議委員会に関すること ③ 公民館運営審議委員会に関すること ④ スポーツ推進委員会に関すること ⑤ 少年活動育成会活動に関すること ⑥ 青年教育に関すること ⑦ 勤労青少年ホーム運営委員会に関すること ⑧ 女性団体に関すること ⑨ 老人関係に関すること ⑩ 芸術・文化関係事業に関すること ⑪ 郷土芸能、伝統文化の継承・保存に関すること ⑫ 体育・スポーツ団体に関すること	
IV その他、全体に関する こと	① 教育委員会行事について	

# I 教育委員会

## ① (1) 組織

教育長	き とう けい いち	佐藤桂一	(平成28年10月17日から平成28年10月16日まで)
教育長職務代理者	たか まつ たい すけ	髙松大助	(平成27年10月17日から平成30年9月30日まで)
教育委員	みや の なり あつ	宮野成厚	(平成28年10月17日から平成32年9月30日まで)
〃	き とう えみ こ	佐藤惠美子	(平成27年9月19日から平成29年9月18日まで)
〃	こ むかい ひで のり	小向英徳	(平成27年10月17日から平成31年9月30日まで)

## (2) 事業

- ① 教育委員会会議(年間14回(定例12、臨時2))
- ② 教育委員による学校訪問
- ③ 教育委員会委員研修会
- ④ 臨時講師・臨時用務員採用・配置(学校教育の充実にて記載)
- ⑤ その他

## (3) 事務局

教育課	課長	ばん たく ひ	伴武彦	(平成27年 4月 1日 ~)
	副参事	ほそ かわ たい ひろ	細川大広	(平成24年 4月 1日 ~)
	主幹	あさ み はかる	浅見法	(平成27年 4月 1日 ~)
	係長	いし と しゅう いち	石戸秀一	(平成25年 4月 1日 ~)
	主査	ほそ かわ よう こ	細川葉子	(平成28年 4月 1日 ~)
	主事	い とう こう おう	伊藤耕陽	(平成28年 4月 1日 ~)
	臨時事務員	い とう とも こ	伊藤友子	(平成28年4月1日 ~ 6ヶ月期限付き任用)
	臨時事務員	にい た はや と	新田隼人	(平成28年4月1日 ~ 6ヶ月期限付き任用)

事務分担については、別添参照

平成28年度 大間町教育委員会 教育課（総務係・社会教育係）事務分掌

【H28.4.1】

区分	事務内容	主担当	副担当
総括	総務係全般に関すること。	伴 課長	細川副参事
教育委員会	総合教育会議に関すること	伴 課長	細川副参事
	教育委員会の会議及び報酬・費用弁償に関すること。	伴 課長	細川副参事
	儀式、交際及び渉外に関すること。	伴 課長	細川副参事
	公印の制定及び管守並びに公文書に関すること。	伴 課長	細川副参事
	規則、規程その他公文書の審査並びに規則、その他規程の制定又は改廃及び公表に関すること。	伴 課長	細川副参事
		伴 課長	細川副参事
	予算その他の議会の議決を経るべき審議に対する意見の申し出に関すること。	伴 課長	細川副参事
	工事計画の策定及び教育財産の取得の申し出、管理に関すること。	伴 課長	細川副参事
	職員（県費負担教職員を除く）の定数、任免、給与の決定、分限、懲戒、公務災害の認定、服務その他人事、研修、福利及び厚生に関すること。	伴 課長	細川副参事
	委員会に対する請願及び陳情に関すること。	伴 課長	細川副参事
	教育委員会採用人事関係事務手続きに関すること。	伴 課長	細川副参事
	学校設置、管理及び廃止に関すること。	伴 課長	細川副参事
	教育財産の管理に関すること	伴 課長	細川副参事
	教育委員会関係各種表彰に関すること	伴 課長	細川副参事
	県教育委員会及び他市町村及び事務局内の連絡調整に関すること	伴 課長	細川副参事
	県費負担教職員の服務、分限、懲戒に関すること。	伴 課長	細川副参事
	県費負担教職員の内申事務及び町臨時講師の採用事務に関すること。	伴 課長	細川副参事
	学務関係	学力向上推進委員会に関すること。	伴 課長
大間町学校教育改革計画に関すること。		伴 課長	細川副参事
就学区域の設定及び変更に関すること		伴 課長	細川副参事
学区外・区域外就学及び児童生徒の異動に関すること。		石戸係長	伊藤主事
学校の組織編制及び学級編成に関すること。		石戸係長	伴 課長
就学通知及び学齢簿作成に関すること。		石戸係長	伊藤主事
児童生徒の就学指導委員会に関すること。		石戸係長	伊藤主事
要・準要保護認定及び就学援助費に関すること。		石戸係長	伊藤主事
新入学児童知能検査及び健康診断に関すること。		細川主査	伊藤主事
各校児童生徒の各種健診及び教職員の健康診査に関すること		細川主査	伊藤主事
幼稚園入園及び異動に関すること。		細川主査	伊藤主事
こども発達相談連絡協議会に関すること。		細川主査	石戸係長
大間町きめ細かな子育て支援事業に関すること。		細川主査	石戸係長
児童生徒の問題行動等に係るネットワーク会議に関すること。		細川主査	細川副参事
大間町要保護児童対策地域協議会実務者会議に関すること		伴 課長	細川副参事
学校施設の施設保全及び整備（工事・修繕・改修等）に関すること。		細川副参事	伊藤主事
教職員住宅に係る整備・事務手続き等に関すること。		細川副参事	伊藤主事
学校施設に係る機器の導入等に関すること。		細川副参事	伊藤主事



	学校施設に係る維持管理委託業務等に関する事。	伊藤主事	細川補佐
	学校施設台帳に関する事	細川副参事	伊藤主事
	教科用図書に関する事。	伊藤主事	石戸係長
	校長会に関する事。	伴 課長	細川副参事
	教頭会に関する事。	細川副参事	浅見主幹
	教務主任会に関する事。	石戸係長	細川主査
	学校事務会に関する事。	細川主査	伊藤主事
	大間町教育三者懇談会に関する事	細川副参事	石戸係長
	学校保健会に関する事。(検診日程・契約調整及び食育実践事業等)	細川主査	伊藤主事
	学校承認事務関係(授業日変更・出張、有休休暇)に関する事。	細川主査	石戸係長
	小中学校に係る公用車輛(中型バス等)使用調整に関する事。	伊藤主事	石戸係長
	青少年海外派遣事業等、国際交流に関する事。	石戸係長	細川主査
	教育課程に係る関係書類の取扱いに関する事。	石戸係長	細川副参事
	県 学校施設課からの調査等に関する事	細川副参事	石戸係長
	県 教職員課・職員福利課からの調査等に関する事	石戸係長	伊藤主事
	県 学校教育課からの調査等に関する事	石戸係長	伊藤主事
	県 スポーツ健康課からの調査等に関する事	伊藤主事	浅見主幹
	下北教育事務所からの調査・通知文書に関する事。	石戸係長	細川主査
	教育課程に係る関係書類の取扱いに関する事。	石戸係長	細川主査
	学校教員統計調査に関する事。	細川主査	石戸係長
	日本スポーツ振興センター請求に関する事。	伊藤主事	石戸係長
奨学金関係	奨学生選考委員会に関する事。	伊藤主事	石戸係長
	奨学金に係る事務全般に関する事。	伊藤主事	石戸係長
	奨学金督促業務に関する事。	伊藤主事	全職員
予算関係	教育費及び学校予算編成及び執行に関する事	石戸係長	細川副参事
	臨時講師・臨時用務員の賃金支払に関する事。	伊藤主事	石戸係長
	教育委員の報酬・費用弁償に関する事。	伊藤主事	石戸係長
	支出負担行為に関する事。	伊藤主事	浅見主幹
	町補助金及び負担金に関する事。	伊藤主事	石戸係長
	地方教育費調査に関する事。	細川主査	石戸係長
補助金関係	電源立地地域対策交付金に関する事(工事費)及び再生可能エネルギー等導入事業に関する事。	細川副参事	伴 課長
	電源立地地域対策交付金に関する事。(維持運営費「幼稚園を除く」)	伊藤主事	石戸係長
	学校給食用牛乳供給事業に関する事。	伊藤主事	石戸係長
	へき地児童生徒援助費補助金に関する事。	石戸係長	細川副参事
	要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金に関する事。	石戸係長	細川副参事
	幼稚園就園奨励費補助金に関する事。	石戸係長	細川副参事

区 分	事 務 内 容	主 担 当	副 担 当
全 般	社会教育全般に関すること	伴 課長	細川副参事
社会教育関係	社会教育委員に関すること	伴 課長	浅見主幹
	下北地区社会教育担当者協議会に関すること	浅見主幹	細川副参事
	生涯学習・講座等町づくりに関すること	細川主査	浅見主幹
	家庭教育支援事業に関すること	細川主査	浅見主幹
	社会教育関係団体の指導育成に関すること		
	・青森県青少年健全育成会議に関すること	細川主査	細川副参事
	・大間町青少年健全育成会議に関すること	細川主査	細川副参事
	・女性教育・女性団体の育成指導に関すること	細川主査	細川副参事
	・青年教育・青年団体の育成指導に関すること	細川主査	細川副参事
	・少年教育・少年団体の育成指導に関すること	細川主査	細川副参事
	・PTA団体等の育成指導に関すること	浅見主幹	細川副参事
	・「放課後子どもプラン」に関すること	伊藤主事	浅見主幹
	文化財審議委員に関すること	浅見主幹	伊藤主事
	文化財保護及び県史・町史に関すること	浅見主幹	伊藤主事
	天然記念物（丸、加笏等）保護・被害対策に関すること	伊藤主事	浅見主幹
	下北ジオパークに関すること	浅見主幹	伊藤主事
	視聴覚教育に関すること	伊藤主事	浅見主幹
	成人式に関すること	伊藤主事	細川主査
	共済レク及び教職員交流会に関すること	伊藤主事	細川副参事
	青少年赤十字に関すること	伊藤主事	浅見主幹
	社会教育関係施設の維持管理に関すること	細川副参事	浅見主幹
	その他社会教育に関すること	浅見主幹	細川副参事
	社会教育関係予算（編成・執行）に関すること	浅見主幹	石戸係長
支出負担行為に関すること	伊藤主事	浅見主幹	
各種団体補助金に関すること	伊藤主事	浅見主幹	
公民館関係	公民館運営審議委員に関すること	細川副参事	伴 課長
	公民館の維持管理（利用許可含む）に関すること	伊藤主事	細川副参事
	大間町奥戸交流館（利用許可含む）に関すること	伊藤主事	細川副参事
	公民館車輛管理に関すること	伊藤主事	細川副参事
	芸術、文化、芸術文化団体育成指導に関すること	細川主査	浅見主幹
	下北美術展に関すること	伊藤主事	浅見主幹
	音楽祭・ジョイントコンサートに関すること	細川主査	浅見主幹
	文化祭に関すること	伊藤主事	細川副参事
	書初め席書大会に関すること	伊藤主事	細川副参事
	図書・図書室に関すること（子ども読書推進計画含む）	伊藤主事	石戸係長
	子ども会育成連絡協議会に関すること （エコー・ドッグ・ホール・芸能発表会）	浅見主幹	石戸係長
社会体育関係	社会体育事業の企画立案に関すること	伴 課長	浅見主幹
	体育施設協会に関すること	伴 課長	浅見主幹
	大間町体育協会に関すること	浅見主幹	細川副参事
	スポーツ少年団育成指導に関すること	伊藤主事	浅見主幹
	町内スポーツ団体育成指導に関すること	伊藤主事	浅見主幹

	スポーツ推進委員に関すること	浅見主幹	伊藤主事
	生涯スポーツ推進事業に関すること	浅見主幹	伊藤主事
	スポーツ教室に関すること	伊藤主事	浅見主幹
	町民体育館維持管理（利用許可含む）に関すること	伊藤主事	浅見主幹
	市町村対抗青森県民体育大会に関すること	浅見主幹	伊藤主事
	市町村対抗青森県民駅伝競走大会に関すること（実行委員会含む）	石戸係長	細川副参事
	はまなす駅伝に関すること	浅見主幹	伊藤主事
	少年柔道大会に関すること	石戸係長	浅見主幹
	少年剣道大会に関すること	浅見主幹	浅見主幹
	旧戸井町との交流事業（文化祭等）に関すること	伊藤主事	細川副参事
勤労青少年ホーム 関係	勤労青少年ホーム運営方針について	伴 課長	細川副参事
	勤労青少年ホーム事業の企画立案に関すること	伴 課長	浅見主幹
	勤労青少年ホーム運営委員に関すること	伊藤主事	浅見主幹
	勤労青少年ホームの維持管理に関すること	伊藤主事	浅見主幹
	勤労青少年ホーム事業の運営に関すること	伊藤主事	浅見主幹

## ② 教育委員会会議の開催

会議名称	開催日時	開催場所	内 容
4 月 定例会	4 月 27 日 (木) 午後4時～ 出席者 宮野 教育委員長 高松 職務代行者 佐藤(恵) 委員 小向 委員 佐藤 教育長 伴 教育課長 細川 副参事	教育委員会 (1F会議室)	1 報告 ① 事務局員の事務分掌について ② 5月行事予定について 2 議案 ① 社会教育委員の委嘱について ② 平成28年度事業計画について ・ 学校教育について ・ 社会教育関係について ③ 平成28年度要保護・準要保護世帯の認定について 3 その他 無し
5 月 定例会	5 月 26 日 (木) 午後4時～ 出席者 宮野 教育委員長 高松 職務代行者 佐藤 教育長 伴 教育課長	教育委員会 (教育長室)	1 報告 ① 6月行事予定について ② 各校春季大会等の報告について 2 議案 ① 奨学生の決定について ② 6月補正予算について ③ 準要保護の追加認定について 3 その他 下北市町村教育委員会連絡協議会定時総会及び 青森県市町村教育委員会連絡協議会定時総会について
6 月 定例会	6 月 30 日 (木) 午後4時～ 出席者 宮野 教育委員長 高松 職務代行者 佐藤(恵) 委員 小向 委員 佐藤 教育長 伴 教育課長 細川 副参事	教育委員会 (1F会議室)	1 報告 ① 7月行事予定について ② 町議会6月定例会 ③ 下北地方中学校体育大会結果について 2 議案 ① 要保護・準要保護世帯の認定(追加)について ② 大間町立学校職員安全衛生管理規程について 3 その他 コミュニティ・スクールについて

会議名称	開催日時	開催場所	内 容
7月 定例会	7月 27日(水) 午後3時～ 出席者 高松 職務代行者 佐藤(恵)委員 小向 委員 佐藤 教育長 伴 教育課長 細川 副参事	教育委員会 (1F会議室)	1 報告 ① 8月行事予定について ② 大間町教育大綱(案)について ③ 県中体連結果について ④ 成人式について ⑤ 市町村対抗青森県民体育大会について ⑥ 青森県民駅伝競走大会について 2 議案 ① 要保護・準要保護世帯の解除・追加認定について 3 その他 なし
8月 定例会	8月 29日(月) 午後2時30分～ 出席者 宮野 教育委員長 高松 職務代行者 佐藤(恵)委員 小向 委員 佐藤 教育長 伴 教育課長 細川 副参事	教育委員会 (1F会議室)	1 報告 ① 9月行事予定について ② 市町村対抗青森県民体育会会結果について ③ 東北中学校剣道大会結果について 2 議案 ① 第3回定例会提出議案について ② 要保護世帯の追加認定について 3 その他 なし
9月 定例会	9月 27日(火) 午後3時～ 出席者 宮野 教育委員長 高松 職務代行者 佐藤(恵)委員 小向 委員 佐藤 教育長 伴 教育課長 細川 副参事	教育委員会 (1F会議室)	1 報告 ① 10月行事予定について ② 町議会9月定例会・第2回臨時会について ③ 青森県民駅伝競走大会結果について ④ はまなす駅伝大会結果について 2 議案 ① 臨時講師の更新について ② 大間町教育委員会会議規則の一部改正について 3 その他 なし

会議名称	開催日時	開催場所	内 容
10月臨時会 (第1回目)	10月17日(月) 午後2時～ 出席者 宮野 教育委員長 高松 職務代行者 小向 委員 佐藤 教育長 伴 教育課長 細川 副参事	教育委員会 (1F会議室)	1 議案 ① 教育委員会組織について ・新教育長による教育長職務代理者の指名について
10月定例会	10月25日(火) 午後4時～ 出席者 佐藤 教育長 高松 職務代理者 宮野 委員 佐藤(恵)委員 小向 委員 伴 教育課長 細川 副参事	教育委員会 (1F会議室)	1 報告 ① 11月行事予定について ② 町民文化祭について ③ 大間町音楽祭について 2 議案 なし 3 その他 なし
11月定例会	11月29日(火) 午後3時40分～ 出席者 佐藤 教育長 高松 職務代理者 佐藤(恵)委員 小向 委員 伴 教育課長 細川 副参事	教育委員会 (1F会議室)	1 報告 ① 12月行事予定について ② 第31回大間町少年柔道大会について 2 議案 ① 12月議会提出案件について ② 人事評価の結果に係る異論の申出の取扱い等 に関する要綱について 3 その他 なし

会議名称	開催日時	開催場所	内 容
12月 定例会	12月 21日 (水) 午後3時～ 出席者 佐藤 教育長 高松 職務代理者 佐藤(恵)委員 小向 委員 伴 教育課長 細川 副参事	教育委員会 (1F会議室)	1 報告 ① 1月行事予定について ② 第45回書き初め席書大会について ③ 第53回大間町少年剣道大会について ④ 12月議会報告について ⑤ 第31回大間町少年柔道大会結果について ⑥ 大間町就学指導委員会(答申)について 2 議案 なし 3 その他 学校統合に関するアンケート結果
1月 定例会	1月 25日 (水) 午後3時～ 出席者 佐藤 教育長 宮野 委員 小向 委員 伴 教育課長 細川 副参事	教育委員会 (1F会議室)	1 報告 ① 2月行事予定について ② 第45回書初め席書大会結果について ③ 青少年健全育成推進大会について ④ 青少年健全育成大会について ⑤ 平成29年度大間幼稚園入園者応募状況について 2 議案 なし 3 その他 なし
2月 定例会	2月 15日 (水) 午後3時～ 出席者 佐藤 教育長 高松 職務代理者 宮野 委員 佐藤(恵)委員 小向 委員 伴 教育課長 細川 副参事	教育委員会 (1F会議室)	1 報告 ① 3月行事予定について ② 第53回大間町少年剣道大会結果について ③ 第35回大間町青少年健全育成推進大会について 2 議案 ① 平成28年度3月補正予算(案)について ② 平成29年度当初予算(案)について ③ 臨時職員選考に係る臨時教育委員会の開催について 3 その他 ① 小・中学校卒業式出席について

会議名称	開催日時	開催場所	内 容
2月 臨時会 (第2回目)	2月 26日 (日) 午前11時30分～ 出席者 佐藤 教育長 佐藤(恵)委員 小向 委員 伴 教育課長 細川 副参事	教育委員会 (1F会議室)	1 議案 ① 大間町教育委員会関係臨時職員採用者の承認について
3月 定例会	3月 23日 (木) 午後3時～ 出席者 佐藤 教育長 高松 職務代理者 宮野 委員 佐藤(恵)委員 小向 委員 伴 教育課長 細川 副参事	教育委員会 (1F会議室)	1 報告 ① 4月行事予定について ② 管内教職員の異動について 2 議案 ① 大間町教育委員会臨時講師の承認について ② 臨時講師及び用務員等の配置について ③ 各小・中学校・幼稚園の入学式の出席について 3 その他 なし

**【成果】**

大間町教育委員会会議については、計画的に毎月開催することができ、教育委員会委員全体で大間町の教育施策をはじめ、教育制度改正、学校現場の児童生徒の現状等の情報を共有することに努めた。

更には、教育委員及び事務局での学校訪問を実施し、直に教育現場を視察を行うことで、より現実的に現状を認識して、大間町の児童生徒の教育環境整備及び学力向上への取り組みへ寄与することができた。

**【課題】**

平成27年10月に新教育制度が制定され、当町でも平成28年10月から新制度における体制になった。



### ③ 教育委員による学校訪問

#### 1) 大間小学校

訪問日 平成 28 年 9 月 19 日 (火)

時間 午前 9 時 10 分 ～

訪問者 佐藤教育長 高松職務代理者 宮野委員 佐藤委員 小向委員  
伴 教育課長 細川副参事

- ・ 授業風景や学校施設を視察
  - ・ 説明を受けた主な内容
    - ① 学校経営方針概要について
    - ② 学校経営方針の具体化について
    - ③ 学力向上に対するの取組みについて
    - ④ 基本的な生活習慣を育てるための取組みについて
- について説明を受けてから質疑応答を行った。

#### 大間中学校

2) 訪問日 平成 28 年 9 月 19 日 (火)

時間 午前 10 時 20 分 ～

訪問者 佐藤教育長 高松職務代理者 宮野委員 佐藤委員 小向委員  
伴 教育課長 細川副参事

- ・ 授業風景や学校施設を視察
  - ・ 説明は「大間中学校経営要覧」に沿って説明された。
    - ① 学校経営方針概要について
    - ② 学校経営方針の具体化について
    - ③ 学力向上に対するの取組みについて
    - ④ 基本的な生活習慣を育てるための取組みについて
- について説明を受けてから質疑応答を行った。

#### 奥戸中学校

訪問日 平成 28 年 9 月 19 日 (火)

3) 時間 午後 2 時 40 分 ～

訪問者 佐藤教育長 高松職務代理者 宮野委員 佐藤委員 小向委員  
伴 教育課長 細川副参事

- ・ 授業風景や学校施設を視察
  - ・ 説明は「大間中学校経営要覧」に沿って説明された。
    - ① 学校経営方針概要について
    - ② 学校経営方針の具体化について
    - ③ 学力向上に対するの取組みについて
    - ④ 基本的な生活習慣を育てるための取組みについて
- について説明を受けてから質疑応答を行った。

#### 4) 奥戸小学校

訪問日 平成 28 年 9 月 19 日 (火)

時間 午後 1 時 30 分 ~

訪問者 佐藤教育長 高松職務代理者 宮野委員 佐藤委員 小向委員  
伴 教育課長 細川副参事

- ・ 授業風景や学校施設を視察
  - ・ 説明を受けた主な内容
    - ① 学校経営方針概要について
    - ② 学校経営方針の具体化について
    - ③ 学力向上に対しての取組みについて
    - ④ 基本的な生活習慣を育てるための取組みについて
- について説明を受けてから質疑応答を行った。

#### 5) 大間幼稚園

訪問日 平成 28 年 9 月 19 日 (火)

時間 午前 11 時 30 分 ~

訪問者 佐藤教育長 高松職務代理者 宮野委員 佐藤委員 小向委員  
伴 教育課長 細川副参事

- ・ 授業風景や園施設を視察
  - ・ 説明を受けた主な内容
    - ① 幼稚園経営方針概要について
    - ② 園経営方針の具体化について
    - ③ 基本的な生活習慣を育てるための取組みについて
- について説明を受けてから質疑応答を行った。

#### ④ 教育委員研修会

平成28年度 下北市町村教育委員会連絡協議会 教育委員・事務局員研修会

期日 平成 28 年 11 月 11 日 (金)

時間 午前 9 時 20 分 ~ 午後 15 時 40 分

日程 視察①:風間浦小学校・学校田視察  
視察②:ふのりちゃん・ゆとりの駐車帯看板説明  
視察③:シーサイドキャトルパーク(畜産資料館)  
視察④:大間崎  
視察⑤:津鼻崎

参加者 佐藤教育長 佐藤(恵)委員 小向委員 伴教育課長  
趣旨 平成28年9月9日に誕生した「下北ジオパーク」の理解を図り、  
学校教育におけるジオパーク普及活動の推進に資することを  
目的とする。

## ⑤ 平成28年度予算及び施設整備・備品・就学援助・奨学金

### ① 予算の概要

( 単位：千円 )

区 分	本年度 A		前年度 B		前年度との比較	
	決算額	割合	決算額	割合	増減額 A-B	伸び率
町予算総額	5,490,577	100.0%	4,613,017	100.0%	877,560	19.0%
教育課関係予算	233,436	4.3%	321,103	7.0%	△ 87,667	-27.3%

区 分	本年度 A		前年度 B		前年度との比較	
	決算額	割合	決算額	割合	増減額 A-B	伸び率
教育総務費	49,675	100.0%	67,994	100.0%	△ 18,319	-26.9%
教育委員費	820	1.7%	876	1.3%	△ 56	-6.4%
事務局費	48,855	98.3%	67,118	98.7%	△ 18,263	-27.2%

区 分	本年度 A		前年度 B		前年度との比較	
	決算額	割合	決算額	割合	増減額 A-B	伸び率
小学校費	44,311	100.0%	115,776	100.0%	△ 71,465	-61.7%
学校管理費	41,085	92.7%	108,400	93.6%	△ 67,315	-62.1%
教育振興費	3,226	7.3%	7,376	6.4%	△ 4,150	-56.3%

区 分	本年度 A		前年度 B		前年度との比較	
	決算額	割合	決算額	割合	増減額 A-B	伸び率
中学校費	52,419	100.0%	53,673	100.0%	△ 1,254	-2.3%
学校管理費	45,192	86.2%	49,694	92.6%	△ 4,502	-9.1%
教育振興費	7,227	13.8%	3,979	7.4%	3,248	81.6%

区 分	本年度 A		前年度 B		前年度との比較	
	決算額	割合	決算額	割合	増減額 A-B	伸び率
幼稚園費	49,915		46,725		3,190	
幼稚園費	49,915	100.0%	46,725	100.0%	3,190	△13.2%

区 分	本年度 A		前年度 B		前年度との比較	
	決算額	割合	決算額	割合	増減額 A-B	伸び率
社会教育費	26,713	100.0%	28,172	100.0%	△ 1,459	-5.2%
社会教育総務費	19,664	73.6%	21,221	75.3%	△ 1,557	△0.9%
公民館費	7,049	26.4%	6,951	24.7%	98	1.4%

区 分	本年度 A		前年度 B		前年度との比較	
	決算額	割合	決算額	割合	増減額 A-B	伸び率
保健体育費	6,184		5,513		671	
保健体育総務費	6,184	100.0%	5,513	100.0%	671	12.2%

区 分	本年度 A		前年度 B		前年度との比較	
	決算額	割合	決算額	割合	増減額 A-B	伸び率
勤労青少年ホーム費	4,219		3,250		969	
勤労青少年ホーム費	4,219	100.0%	3,250	100.0%	969	△30.0%

② 施設整備事業（工事）

- 勤労青少年ホーム屋上防水改修工事 1,188,000 円
- 大間幼稚園倒木・プレハブ撤去工事 140,400 円

合計 1,328,400 円

施設整備事業（設計・工事監理業務委託）

- 奥戸小学校木造校舎建物耐力度調査業務委託 3,132,000 円
- 奥戸中学校体育館屋根改修工事設計委託 496,800 円

合計 3,628,800 円

③ 学校備品整備事業

	学校管理用備品	教材用備品
• 小学校	1,274,796 円	1,039,979 円
• 中学校	1,505,732 円	1,134,690 円
• 幼稚園	352,728 円	0 円

④ 就学援助等

	学用品費	修学旅行	学校給食費	特殊教育奨励費
• 小学校	333,732 円	212,950 円	181,010 円	171,825 円
• 中学校	274,347 円	424,000 円	82,720 円	479,704 円

⑤ 奨学金貸し付け

	平成28年度	平成27年度
• 高等学校	3 人 (新規1人)	5 人 (新規2人)
• 大学等	16 人 (新規4人)	13 人 (新規3人)
	19 人 (新規5人)	18 人 (新規5人)
	6,210,000 円	5,580,000 円

## II 学校教育の推進

### (1) 組織関係

各組織は月に1回定例会議を開き、各学校の行事の確認と調整や児童・生徒の学力や生徒指導等の諸問題についての情報交換を行うとともに、学校教育の共通課題解決の対策等について話し合う。校長会は、組織の中核として組織間の連絡や連携活動ができるように情報を提供する。予算は、校長会がまとめて町から交付を受け各組織へ分配することとなっている。

組織名	ねらい・構成員
① 校長会 【予算 5,000 円】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大間町の教育の向上・充実を図る。</li> <li>● 幼児・児童・生徒の「基本的生活習慣の確立」「心の教育」「基礎学力の向上と定着」の3点に重点をおく。</li> </ul> 構成員 (9人) 幼稚園長、小中学校長4、高校校長、教育長、課長、副参事
② 教頭会 【予算 5,000 円】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大間町の教育の向上・充実を図る。</li> <li>● 具体的な実践計画、教職員交流会、レク等、青少年健全育成関係の運営に当たる。</li> </ul> 構成員 (6人) 小中学教頭4、高校教頭、教育委員会副参事
③ 教務主任会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大間町の教育の向上・充実を図る。</li> <li>● 授業・行事及び学校生活の充実改善に努める。</li> </ul> 構成員 (6人) 小・中・高校の教務主任、教育委員会係長
④ 学校事務会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大間町の教育の向上・充実を図る。</li> <li>● 事務の基本と実務の研修及び業務の円滑な遂行に努める。</li> </ul> 構成員 (5人) 小・中学校事務職員、教育委員会主事
⑤ 学校保健会 【予算 232,300 円】	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教職員及び父母の学校保健安全意識の高揚を図り、生涯にわたり心身ともに健康な子どもの育成を目指して各行事を行う。</li> </ul> 構成員 (35人) 幼・保園代表、小・中学校長・教頭・保健主事・PTA会長・養護教諭 学校医、学校歯科医、学校薬剤師、住民福祉課長、保健師、教育長、教委担当

学力向上研究会  
 a 第一部会  
 基礎学力向上部会  
 b 第二部会  
 家庭地域啓発部会  
**【予算 91,000 円】**

(経費については各校予算計上)

- 大間町各校の共通課題である「学力向上への取り組み」を、小中学校間の連携強化を図り、課題解決のために共通行動を推進させ、児童生徒の基礎学力向上に関する活動を実施する。

構成員 (13人)

小中学校長4・教育長・教育課長(顧問)、教頭4、事務担当2、教育委員会担当1

a 第一部会(基礎学力向上部会)の事業

○「大間町漢字・計算・英単語大会」の実施

- ・ 中学校漢字大会 7 月 6 日
- ・ 中学校計算大会 12 月 13 日
- ・ 中学校英単語大会 1 月 25 日
- ・ 小学校漢字大会 1 月 24 日
- ・ 小学校計算大会 1 月 25 日

以上の大会を行い、成績優良者については「町広報」へ掲載する。

○ベネッセ総合学力調査の実施

報告会

大間地区 平成28年8月19日(金) 13:00～15:00

奥戸地区 平成28年8月22日(月) 13:00～15:00

(経費)

	経費(円)
大間小	288,750
奥戸小	58,450
大間中	237,300
奥戸中	67,550
計	<b>652,050</b>

○小中連携授業公開の実施

大間地区 平成28年8月19日(金)小中連携大間小学校授業公開

奥戸地区 平成28年6月23日(木)複式学級担任研修会

b 第二部会(家庭地域啓発部会)の事業

小・中学校4校の共通課題である「学力向上」に向け、各校の役割をしっかりと果たすことは勿論、義務教育9年間の発達や学びを確保するため、各校の連携を強化する。また、保護者や地域住民の理解を得ながら具体的な方策を継続的に展開する。

- ・ 小・中学校共通の「家庭学習の手引」の活用。



- ・ 「家庭学習強化習慣」の実施 (継続 4年目)

・ 広報活動の実施

広報7月号 家庭学習の手引について

広報8月号 「家庭学習教科週間」～奥戸小学校の取り組み～

広報11月号 ベネッセ意識調査の結果について

広報12月号 「家庭学習強化習慣」～大間中学校の取り組み～

広報1月号 「家庭学習強化習慣」の総括

(1) 実践内容	
教育課程の実施管理 指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育課程の届出書及び実績報告書をもとに、学校教育目標の実現のための各教科、道徳、外国語、特別活動、総合的な学習時間の指導方針に基づいて、時間数等適切に実践されているか管理指導をする。</li> </ul>
幼・小・中・高の連携 事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各学校の情報交換を深め、12年間の教育が効果的に実施できるように連携事業を展開する。 (定例校長会・教頭会・教育三者懇談会・教職員交流会等を継続実施していく。)</li> </ul>
授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 課題研究を中心に授業実践が計画的に実施されているか、学校訪問等を通じて確認する。また、学力向上を目的に行っている「大間町学力向上推進事業」による町採用臨時講師の配置を継続実施し、児童生徒の学力向上に努めている。</li> </ul>
生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生徒指導実践報告書に記載されている暴力行為やいじめの対策への取り組みや、各組織の中で情報交換を密にしていく。 (大間町教育ネットワーク会議の定期開催の継続実施。)</li> </ul>
ふるさと学習の開発 授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 郷土の理解を深めるために、調査活動を体験させることや、地域の各界の指導者の談和を聞かせるなどの機会を設定している。</li> </ul>
スクールバス等公用 車輛の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 奥戸小・中学校のスクールバスの利用の他、各種競技への参加の際に公用車輛を活用した。</li> <li>※ 28年度は材木地区に小学生がいないため、中学生の送迎だけの対応となっている。(大間運輸タクシー使用)</li> </ul>
その他の事項	

## 【成果】

平成27年度までNRT(相対評価法)、CRT(絶対評価法)を用い児童生徒一人一人の学力向上の取り組みをしてきたが、当町以外の県内及び下北郡内において多く実施されている株式会社ベネッセコーポレーションの「総合学力調査」を実施することで他市町村との比較ができるようになり、学習状況を比較して指導することができた。また、学力向上推進事業で継続実施している「町採用臨時職員の配置」によりTT(チームティーチング→複数の教師が協力して授業を行う指導方法)の授業体系ができることにより個々への対応がきめ細かくでき、学力向上に大きく貢献している。(※幼稚園においても、「大間町きめ細かな子育て支援事業」により臨時教諭を配置し、就学前のグレーゾーンの幼児に対して「きめ細かな支援」をし、就学時に向け幼児の状態をできるだけ改善するよう小学校と連携しながら取り組んでおり、効果を上げていると分析し、事業を継続実施している。)

## 【課題等】

奥戸地区では、一人一台パソコンを使用できなかった。一人一台のパソコンの操作環境のなかでSYENのシステムの周知を図るような会場を設定する。

2回目の総合学力調査の実施期間を1月24日から27日とした場合、4校揃ってのデータ処理を行うと、早くても個人の結果が返却されるのは2月下旬から3月上旬となり、補充の指導に役立てることが難しい。



## ⑥ 大間町就学指導委員会

(趣 旨)

大間町が設置する小学校・中学校に入学する者又はこれらの学校に在学する者のうち障害を有する児童及び生徒の適正な就学を図るため、大間町就学指導委員会の設置等に関し必要な事項を定めるものとしている。

(業 務)

就学指導委員会は、次に掲げる者について、障害に応じた就学ができるよう教育委員会教育長(以下「教育長」という。)に意見を具申します。

(1) 大間町が設置する小学校及び中学校に入学する者又はこれらの学校に在学する者のうち、障害があると認められる者として当該学校の校長から教育長に申出があった者

(2) 前号に掲げる者のほか、教育長が認めた者

(組 織)

委員については、次に掲げる者のうちから教育長が委嘱しています。

- ・ 医師
- ・ 学識経験を有する者
- ・ 教育委員会職員
- ・ 関係行政機関の職員

(会 議)

会議は、必要に応じて委員長が招集し、前条に定める必要な事項を協議することとしています。

### ○ 特別支援学級在籍状況

障害種別	知的障害		自閉・情緒障害		聴覚障害		計	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
大間小学校	1		2				3	0
奥戸小学校		1					0	1
大間中学校	2	1					2	1
奥戸中学校		1	1		1		2	1
計	3	3	3	0	1	0	7	3

### (1) 28年度委員会開催状況

日 時 平成28年6月10日(金) 午後2時～午後3時半

場 所 大間町公民館 1階

- 案 件
- 1) 大間町就学指導委員委嘱状交付
  - 2) 平成27年度事業報告について
  - 3) 平成28年度事業計画(案)について
  - 4) その他

日 時 平成28年12月14日(水)

場 所 大間町公民館1階

案 件 1) 調査報告及び審議

大間幼稚園園児1名 奥戸小児童1名 妥当判定

2) その他

(2) 大間町就学指導委員名簿

	氏 名	職 名	所 属	任 期
1	岩村 暢寿	院 長	大間病院	H27.4.1～H29.3.31
2	湯田 秀樹	教 頭	むつ養護学校	H28.4.1～H29.3.31
3	山口 順子	校 長	大間小学校	H27.4.1～H29.3.31
4	濱田 俊一	校 長	奥戸小学校	H27.4.1～H29.3.31
5	岩本 浩也	校 長	大間中学校	H27.4.1～H29.3.31
6	飯田 一彦	校 長	奥戸中学校	H28.4.1～H29.3.31
7	本川 周子	県スクールカウンセラー		H27.4.1～H29.3.31
8	児玉 智広	教 諭	大間小学校	H28.4.1～H29.3.31
9	中村 清子	教 諭	奥戸小学校	H28.4.1～H29.3.31
10	川嶋 早苗	教 諭	大間中学校	H27.4.1～H29.3.31
11	根戸内裕之	教 諭	奥戸中学校	H27.4.1～H29.3.31
12	畠山 章	会 長	民生委員児童委員協議会	H28.4.1～H29.3.31
13	石澤 教子	主任保育士	大間保育園	H27.4.1～H29.3.31
14	御厩敷 義子	主任教諭	大間幼稚園	H28.4.1～H29.3.31
15	千葉 喜勢子	園長	うみのか保育園	H28.4.1～H29.3.31
16	竹内はるか	保健師	住民福祉課	H27.4.1～H29.3.31

(3) 専門調査委員名簿

	氏 名	職 名	所 属
1	児玉 智広	教 諭	大間小学校
2	中村 清子	教 諭	奥戸小学校
3	川嶋 早苗	教 諭	大間中学校
4	根戸内裕之	教 諭	奥戸中学校
5	御厩敷 義子	主任教諭	大間幼稚園
6	石澤 教子	主任保育士	大間保育園
7	千葉 喜勢子	園長	うみのか保育園
8	竹内はるか	保健師	住民福祉課

(4) 専門検査員

1	本川 周子	県スクールカウンセラー
---	-------	-------------

## ⑦ 学力向上推進委員会

平成3年4月1日に、

- ① 児童生徒に基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る。
- ② 楽しくわかる授業づくりのため学習指導技術の向上を図る。
- ③ 家庭学習習慣の確立に努める。

ことを目的に「大間町学力向上推進委員会設置要綱」を制定し、主に学力テストの分析・考察や教育講演会の開催に取り組んできました。しかし、組織が大きすぎ活動もマンネリ化・形骸化したことが原因で活動休止状態が続いたため、平成16年度に小・中学校4校で組織する「大間町学力向上研究会」を立ち上げて事業を再開し現在に至っています。

小中学校4校の共通課題は「学力向上」と捉え、「基礎学力向上部会」と「家庭地域啓発部会」を柱に、小・中学校の連携強化を図りながら、小・中学校9年間を見通した学力向上の方策を模索し、学力向上のための共通行動を推進している。

### ① 第1部会 基礎学力向上部会 (総事業費 653 千円)

主な事業 ㊦ 大間町漢字・計算・英単語大会の実施

① 総合学力調査(4月)の実施

㊧ 総合学力調査(12月)の実施

上記の事業実績(人数)

事業予算

小学校

大間小 288,750

	2年	3年	4年	5年	6年
大間小	54	41	38	34	36
奥戸小	6	8	5	10	10

奥戸小 58,450

大間中 237,300

奥戸中 67,550

中学校

学校計 652,050

	1年	2年	3年
大間中	42	39	39
奥戸中	11	10	13

- ・ 総合学力調査(4月実施)については、小学1年生を除く小・中学校生全学年を対象に実施し、その結果について集計・分析し、個々の事後指導及び授業改善に役立てた。また、2学期には分析を踏まえた小・中学校の連携公開授業を行った。

- ・ 総合学力調査(1月実施)については、中学3年生を除く小・中学校生全学年を対象に実施し、子ども一人ひとりの伸び・目標到達の度合いを明らかにすることの他、4月との比較により、指導の効果を把握できた。

- ・ 町漢字・計算・英単語大会については、基礎学力(読み・書き・計算)の能力を高めることを目的とし、小学校は漢字・計算、中学校は漢字・計算・英単語のテストを行っている。この結果について満点賞と優秀学級賞については「広報おおま」への掲載及び大間町のホームページへアップしている。

※ 県内及び郡内の殆どの小・中学校でベネッセコーポレーションを使用していることから、他町村との比較及び当町の児童生徒の現状を把握するため、平成28年度からは、ベネッセコーポレーションの学力検査用紙使用へ移行した。

② 第2部会 家庭地域啓発部会 (総事業費 91 千円)

- 主な事業
- ㊦ 小・中学校一斉の「家庭学習強化週間」の実施
  - ㊧ 小・中学校共通の「家庭学習のマニュアル」の活用と見直し

小中学校4校の共通課題である「学力向上」については、小・中学校が各々の役割をしっかりと果たすことに加え、小・中学校9年間の発達や学びを確保する小中連携がますます必要となってくる。

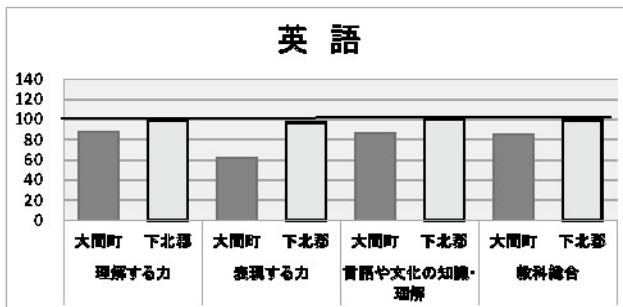
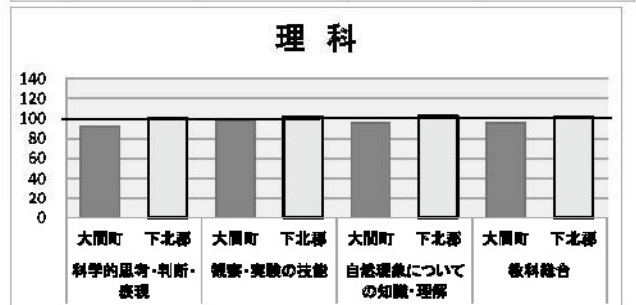
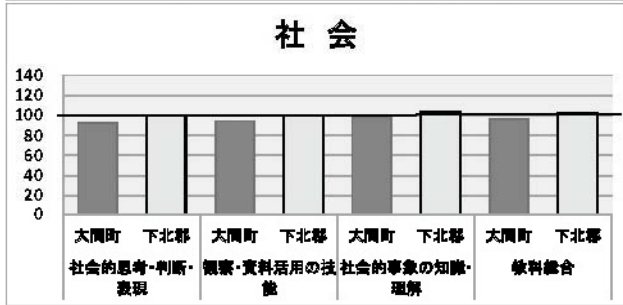
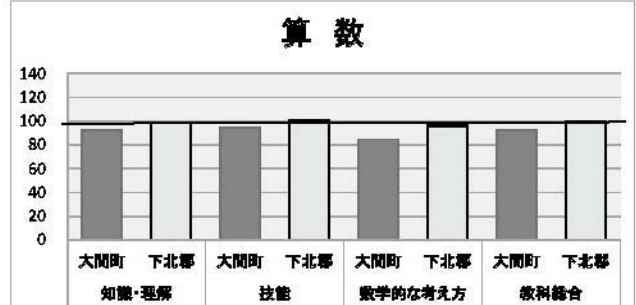
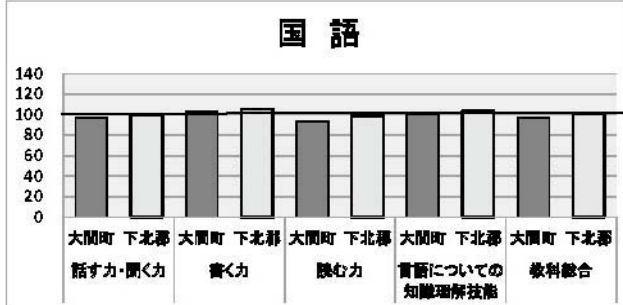
また、保護者や地域住民の理解と協力を得て、学びの連続性を確保する教育環境を整えることも求められる。そこで、学習と生活面の両面にわたり9年間を見通した具体的な方策を練り、継続的に指導を行うことを目的に実施するものである。

# 大間町学力向上研究会

## 大間町小・中学校 総合学力調査から見えてくる 現状と課題

H27までは4月に、NRT検査及び1月にCRT検査を実施していましたが、今年度からは「ベネッセ総合学力調査」を実施する予定です。調査は、一人ひとりの学習の定着状況を、1月と翌年1月の学習の定着状況を比較し、その変化を把握することにより、学習意欲を高めること、児童・生徒の関心・意欲を高めること、家庭学習等の指導に生かすことなどが目的です。調査は、児童・生徒の関心・意欲を高めること、家庭学習等の指導に生かすことなどが目的です。調査は、児童・生徒の関心・意欲を高めること、家庭学習等の指導に生かすことなどが目的です。

10月号では、4月に実施した学力検査をもとに「大間町の学力の傾向」について、11月号では「意識調査の結果」について触れてみたいと思います。



■ が大間町の全国の正答率との比較（大間町の正答率÷全国の正答率）を示します。  
 □ が下北郡の全国の正答率との比較（下北郡の正答率÷全国の正答率）を示します。  
 定着の状況は、100〔横線〕を基準にご覧下さい。

「国語」「社会」「理科」の教科総合は全国比からやや下回る結果となりましたが、観点毎の偏りがなく、バランスのとれた正答率となりました。大間町と下北郡の正答率と比較すると、「算数・数学」「英語」は観点や学年によって差があり、教科総合においても下北郡との差が大きく見られました。学年を見ると、4年は4教科ともに全国及び下北郡を上回る高い正答率を示しています。

- 国語** 町全体で見ると、「書く力」「言語についての知識理解技能」の問題は全国比を上回り、特に4観点の中で「言語についての知識理解技能」の問題はどの学年でも高い正答率を示します。しかし、「聴く力」の問題は学年によって大きく全国比を下回りました。
- 算数** 町全体で見ると、3観点の中で「技能」の問題では最も高い正答率を示しました。しかし、「数学的な考え方」の問題では小学校高学年から学年が上がるにしたがって正答率が低くなる傾向が見られます。
- 英語** 町全体で見ると、5教科の中で正答率が最も低く、3観点の中では「表現する力」の向上が求められます。

大間町学力向上研究会では、小・中学校の9年間を見通した学力向上を図っています。学校では子どもたちの主体的な学びを育て、学び方を身に付けさせることを、家庭では毎日家庭学習を決まった時間に集中して取り組ませることを学校と家庭が連携し、学力を育むことが大切です。

## 大間町学力向上研究会

### 「家庭学習強化期間」の取組から 大間町の児童・生徒の家庭学習の状況について

11月号は、4月に大間町で実施したベネッセ総合学力調査の意識調査の中から、家庭学習の取組の結果をお知らせいたしました。

各学校では、「家庭学習強化期間」にあわせて、小学校では家庭学習のカード、中学校では家庭学習のノート等を活用して、家庭学習の時間や内容等を自分で記録させ、子どもたちが家庭学習に対する意欲をもち継続して取り組んでいくようにしています。今回は、11月の「家庭学習強化期間」の取組の様子から大間町の児童・生徒の家庭学習の取組についてお知らせいたします。

#### 第2回「家庭学習強化期間」(11月)の家庭学習の取組時間結果から

小学校 (1年生は奥戸小学校のみ、2～6年生は奥戸小学校と大間小学校の平均時間)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
平日	35分	39分	42分	47分	54分	74分
休日	38分	37分	35分	38分	70分	89分

中学校 (2年生は奥戸中学校のみ、1年生と3年生は奥戸中学校と大間中学校の平均時間)

	1年	2年	3年
平日	148分	120分	110分
休日	187分	160分	167分

昨年度からの「家庭学習強化期間」の取組をとおして、子どもたちに家庭学習をやるうとする意識は高まっています。家庭学習の取組時間には、個人差が見られますが、高学年から中学生は、平日に比べて休日の方が家庭学習の時間が多くなっています。また、11月号の意識調査でも同様の傾向でしたが、全学年をとおして中学一年生が積極的に取り組んでおり、家庭学習の時間が平日・休日ともに最も長くなっています。

また、各学校とも、家庭学習の内容としては、テレビやラジオをつけないで集中して行い、学校の課題を終えたら一人勉強(自学学習)の行うことを奨励してきました。授業で習ったことをその日のうちに復習したり、苦手な教科を学習したりする等、学級担任や教科担任の先生方を中心に、子どもたちが一人勉強(自学学習)もできるように指導を工夫しながら進めているところです。

今後も、学習の連続性を図り、家庭学習とわかる授業を一体化させ、さらに学力向上を進めていきたいと考えています。



## ⑧ 大間町臨時職員(臨時講師・臨時用務員・臨時事務員)任用

教育委員会では、平成28年度教育委員会・町立学校・町立幼稚園に期限付き臨時職員を次のとおり採用しています。

- 教育委員会 臨時事務員 2名 採用期限
- 町立学校 臨時講師 5名 上期 平成28年4月1日～平成28年9月30日)
- 臨時用務員 5名 下期 平成28年10月2日～平成29年3月31日)
- 町立幼稚園 臨時用務員 1名 ※ 期限付きのため6ヶ月で更新

### 採用者一覧

氏名	年齢	配置先	職種	出身地
能戸 修一	29歳	町立大間小学校	臨時講師	大間町
横浜 賢一	48歳	町立大間小学校	臨時用務員	大間町
柏谷 翼	26歳	町立奥戸小学校	臨時講師	大間町
泉 代志子	51歳	町立奥戸小学校	臨時用務員	大間町
広田 陽介	28歳	町立大間中学校	臨時講師	青森市
寺嶋 直哉	30歳	町立大間中学校	臨時講師	弘前市
塚 祐介	37歳	町立大間中学校	臨時用務員	大間町
佐藤 大	22歳	町立奥戸中学校	臨時講師	弘前市
川端 三男	59歳	町立奥戸中学校	臨時用務員	大間町
佐藤 美子	22歳	町立大間幼稚園	臨時教諭	大間町
大坂 美穂子	54歳	町立大間幼稚園	臨時用務員	佐井村
伊藤 友子	45歳	教育委員会	臨時事務員	大間町
新田 隼人	22歳	教育委員会	臨時事務員	大間町

- 採用方法 公募(大間町の臨時職員採用広報・ハローワーク等)
- 採用試験 平成28年 2月28日(日) 実施
- 試験内容 筆記試験 面接試験
- 審査 平成28年 2月28日(日) 実施( 臨時教育委員会で審議 )
- 結果通知 平成28年 3月 3日(木)・4日(金) 郵送にて通知

※ 臨時講師に係る人件費(賃金)については、県核燃料物質等取扱税交付金にて補填されている。(平成18年度から継続実施している。)

※ 本事業については、次年度以降も継続実施していく予定であります。

【参考資料】

臨時職員に係る費用

	種別	勤務	人数	賃金
小学校費	臨時講師	大間小学校	1	2,977,750
		奥戸小学校	1	2,827,220
		計	2	5,804,970
	臨時用務員	大間小学校	1	1,777,900
		奥戸小学校	1	1,767,720
		計	2	3,545,620
	計		4	9,350,590
中学校費	臨時講師	大間中学校	2	5,549,710
		奥戸中学校	1	1,405,235
		計	3	6,954,945
	臨時用務員	大間中学校	1	1,777,840
		奥戸中学校	1	1,726,720
		計	2	3,504,560
	計		5	10,459,505
幼稚園費	臨時教諭	大間幼稚園	1	2,108,700
	臨時用務員	大間幼稚園	1	1,737,320
	計		2	3,846,020
社会教育総務費	臨時事務員	教育課	2	4,232,667
	計		2	4,232,667
合計			13	27,888,782

※臨時講師に係る人件費（賃金）については、青森県核燃料物質等取扱税交付金を充当している。（平成18年度から継続実施。）



## ⑨ 大間町きめ細かな子育て支援事業

### ○ 事業を実施するに至った経緯

当時、大間町の学校教育現場では集団の授業についていくことが難しい児童生徒が多く見られ、教員が苦慮していた。それらを踏まえ、就学時健診の際の知能検査を過去6年間調べたところ、通常の授業についていくことが困難であろうと思われる知能段階の児童が対象者340人中に52人(15.29%)もあり、就学後も学習に困難な状況となっていることであった。

このことから、町としては【就学前の幼児期の発達が重要】と考え、いわゆるグレーゾーンの幼児にきめ細やかな対応をして、少しでも改善された状況で就学してもらうために『きめ細かな子育て支援事業』を実施することになりました。

本事業は、次の要綱に基づき平成23年度から継続実施されている事業であります。

### 大間町きめ細かな子育て支援事業補助金交付要綱

#### (趣旨)

第1条 大間町きめ細かな子育て支援事業実施要項に基づき事業を実施する、社会福祉法人大間保育園に対し、当該年度の予算の範囲において、大間町きめ細かな子育て支援事業補助金(以下「補助金」という。)を交付するものとし、その交付については、大間町補助金等に関する規則(昭和52年大間町規則第9号。以下「規則」という。)に定めるもののほか、この要綱に定めるところによる。

#### (補助対象)

第2条 補助金の対象となる事業項目は、次のとおりとする。

- (1) 家庭内幼児保育の充実に係るもの
- (2) 幼児保育の支援に係るもの
- (3) その他町長が必要と認めるもの

2 前項各号に係る対象経費は、次のとおりとする。

- (1) 講師に係る謝金及び費用弁償
- (2) 臨時保育士に係る人件費
- (3) 保育士の資質向上を図るための研修旅費
- (4) その他町長が必要と認めるもの

#### (補助金交付申請等)

第3条 補助金交付申請は、規則第4条に定めるところによる。

2 補助金交付請求は、規則第7条第2項に定めるところによる。

#### (実績報告)

第4条 補助金実績報告は、規則第13条に定めるところにより、事業完了後速やかに報告しなければならない。

#### (補助金の額の確定等)

第5条 町長は、事業の完了又は廃止に係る事業の成果の報告を受けた場合においては、報告書等の書類の審査により、その報告に係る事業の成果が補助金の交付決定の内容及びこれに付した条件に適合するものであるかどうかを調査し、適合すると認めるときは、交付すべき補助金の額を確定し、事業者に通知するものとする。

#### (補助金の前金払い)

第6条 地方自治法施行令第163条の規定により、当該補助金は前払いすることができ。ただし、補助金の交付決定を受けたものであって、第2条第2項第2号に規定する対象経費



# 大間町きめ細かな子育て支援事業（親子研修会） アンケート

下記の質問について該当する項目について○を記入し、その他については、その理由等を記入してください。

○あなたのお住まいの地区	大間地区	奥戸地区	材木地区	その他	記載なし1名
	36	4			

○あなたの性別	男	2	女	37	記載なし2名

○あなたの年齢	20代	30代	40代	50代	60代以上
	9	25	3	3	0

## 1、今回の講座内容について

① 有意義であり今後の子育てに役立つと思う	32
② まあまあであった	8
③ 全く参考にならない	0
④ その他	0

意見等をお書き下さい

・町内でのたばこの煙がとても気になる。 ・まつりや学校行事など、当たり前のような顔で吸われると文句も言えないし困る。 ・害から子どもを守るような環境になってほしい。 自分の周りで吸う人はいないので、現実感が薄かったが数字で出されると改めて妊婦でも子どもの前でも吸う人がいるのだと実感した。

## 2、今回の講師について

① 聞きやすく理解できた	32
② まあまあであった	7
③ 聞きずらく理解できなかった	0
④ その他	0

意見等をお書き下さい

記載なし1名

## 3、3園合同親子研修会について

① 交流が持ててよい	31
② 別な形で継続する	1
③ 必要ない	6
④ その他	0

意見等をお書き下さい  
・年長のみで良いのでは？

記載なし2名

## 4、あなたが思う「子育て」についてお聞かせ下さい。

また、今後このような講座を開催する際に「どのようなテーマ」を希望しますか？

・親に話をきかせるのもそうだが、町づくりをしていく役割のある人（役場、学校の先生）にもきてほしい。  
・子どものしつけ（怒り方）  
・子どもへの関わり方や、言葉かけなど、子育てについての講座を開いてほしい。

## 5、大間町の教育に対する要望等あれば記入してください。

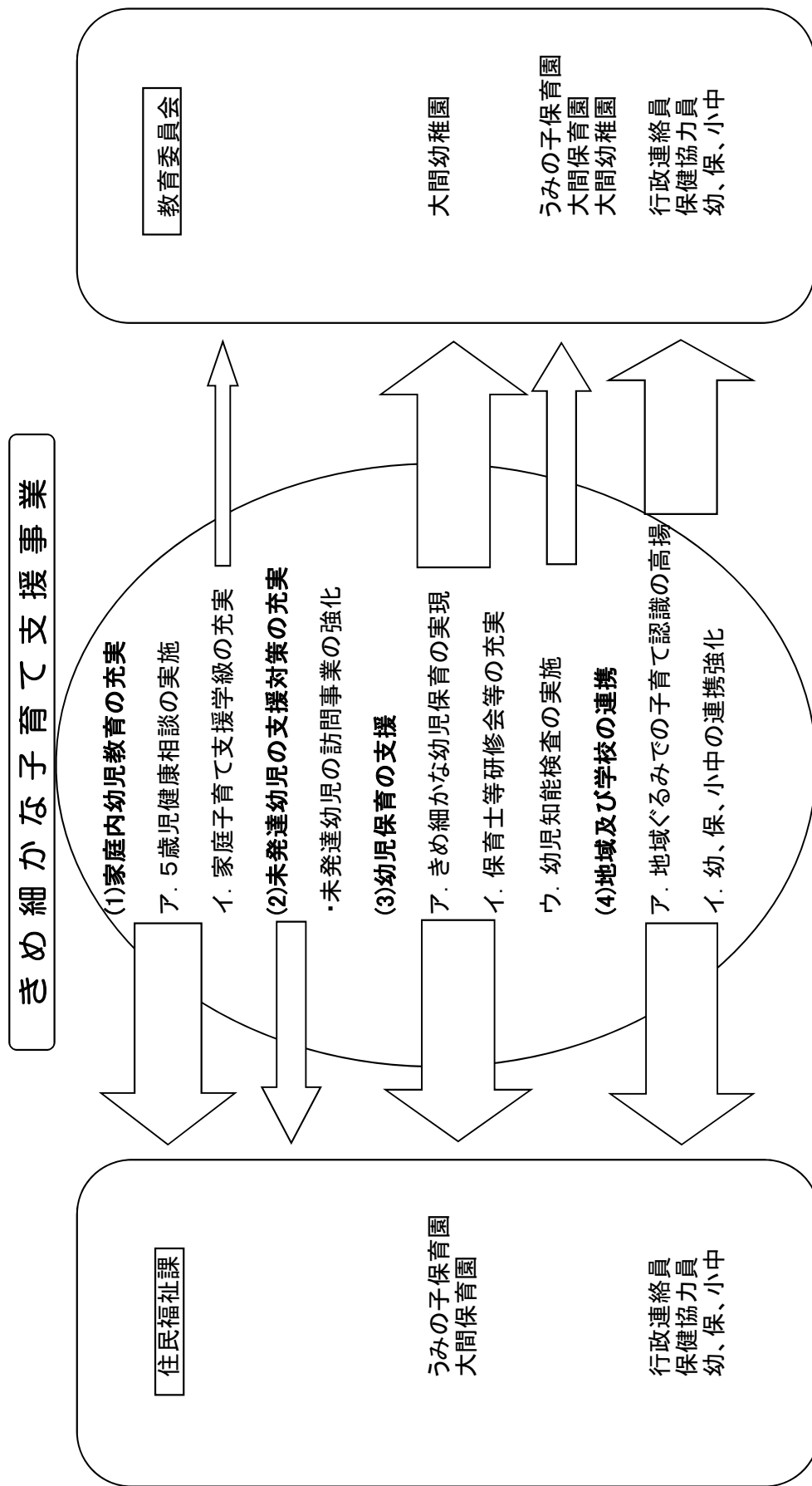
・子どもの健康（肥満などの改善）や、子と親の触れ合いの時間を確保できるように給食にしてほしい。

☆『職員研修会』

日 時：8月10日（月） 講 師 県立むつ養護学校 教諭 山本 建 氏  
1部 13：00～14：15 参加者14名  
2部 14：30～15：45 参加者13名



# 大間町きめ細かな子育て支援事業フローチャート



## ⑩ 大間町小・中学生海外派遣事業

○大間町小・中学生海外派遣事業実施要綱 平成5年9月9日

改正 平成5年9月17日教委要綱第2号

(目的)

第1 大間町の次代を担う小・中学生を海外に派遣し、訪問国の歴史、自然、産業、経済、文化及び教育事情を視察見学させたり、現地の学校等で小、中学生との交流や参加者同士の交流をとおして、国際的視野の拡大と国際協調及び友情と自立の精神を培い、もって、将来の郷土発展に貢献できる人材を育成することを目的とする。

(実施主体)

第2 大間町小・中学生海外派遣の実施主体は、大間町とする。ただし、国、県及び町長が認めた他の団体等が主催する事業に併せて実施することができるものとする。

(研修)

第3 この事業を実施するに当たり、参加者は次の研修を経なければならない。

(1) 事前研修

目的及び内容等についての理解を深めるとともに訪問先での視察・交流等に必要な知識等を習得するための研修

(2) 訪問先研修

訪問地の歴史、自然、産業、経済、文化、教育等に関する学習、施設の視察・見学及び現地小・中学生との交歓・交流等

(3) 事後研修

参加して得た成果を児童・生徒会活動及び地域活動等に生かすための研修

(派遣者の募集、選考及び決定等)

第4 派遣者の募集については、各学校を通して大間町教育委員会が行う。

2 教育委員会は、参加申込みを受けた者の中から、適格者と認められる者を選考し、町長に推薦する。

3 町長は、教育委員会から推薦を受けた者について、適格者と認められる者を派遣者として決定する。

(応募資格)

第5 応募資格は、次に該当する者とする。

(1) 大間町立の小、中学校に在学する児童・生徒で、小学校5年生及び6年生並びに中学校1年生及び2年生の男女。ただし、国、県及び町長が認めた他の団体等が主催する事業に併せて実施する場合には、その募集要綱に準ずるものとする。

(2) 心身ともに健康で協調性に富み、旅行期間の団体生活に適応できる児童・生徒

(3) 帰国後、児童・生徒会活動及び少年少女団体等において活動が期待できる児童・生徒

(4) 派遣について、保護者の同意がある児童・生徒

## 海外派遣事業

むつ国際交流協会が隔年で実施している。むつ市と姉妹都市関係にあるアメリカ合衆国 ポートエンジェルス市を訪問し、米国の家庭生活や同世代の子ども達との活動を通じて国際交流のすばらしさや楽しさを体験してもらうことを目的として実施。

※平成28年度は実施なし。

### 大間町青少年海外派遣基金の状況

平成28年度末決算残高 4,653,568 円 (決算書 P294~295 参照)

### ○大間町青少年海外派遣基金条例

平成2年3月19日条例第2号

改正 平成17年3月18日条例第6号

次代を担う青少年を海外に派遣し国際的視野の拡大と協調精神を培い、もって将来の郷土に貢献できる人材育成に必要な経費に充てるため各年度の予算で定める額の範囲内で積み立てするものである。

※ 本事業については、隔年で実施しており今後も実施する予定である。

## ⑪ 大間町教育ネットワーク会議

### 1 大間町教育ネットワーク会議設置要綱 平成23年6月22日教育委員会訓令甲第2号

(設置)

第1条 子どもたちが、地域の中で次代を担う人材として健やかに育ちゆくため、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみの教育を展開するための情報・意見交換等を行ない、子どもたちを見守り育てることを目的として大間町教育ネットワーク会議(以下「ネットワーク会議」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 ネットワーク会議の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) いじめや不登校、自殺などといった問題行動に関すること。
- (2) 子どもたちの悩みを受け止めるために、学校での教育相談や悩み相談などの対応や安心して過ごせる居場所づくりに関すること。
- (3) 非行及び防犯対策に関すること。
- (4) その他目的を達成するために必要な事項

(組織)

第3条 ネットワーク会議は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者とする。

- (1) 町内小学校及び中学校の教頭
- (2) 下北地域県民局福祉総室子ども相談課の担当者(青森県むつ児童相談所)
- (3) 下北教育事務所の担当者
- (4) 大間警察署の担当者
- (5) 大間町民生・児童委員の代表者
- (6) 住民福祉課の担当者
- (7) その他教育長が必要と認めるもの

(任期)

第4条 委員の任期は、各年度単位とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 ネットワーク会議に、会長及び副会長を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときはその職務を代理する。

(会議)

第6条 会議は、会長が招集する。

2 会長が必要とあるときは、委員以外のものを会議に出席させ、又は、委員以外のものに意見を求めることができる。

(庶務)

第7条 ネットワーク会議の事務は、大間町教育委員会教育課に事務局をおいて処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、ネットワーク会議の運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成23年7月1日から施行する。



## 2 平成28年度委員会開催状況

- ・ 第一回 平成28年 6月29日(水) 午後3時～  
 場所 大間中学校 会議室  
 案件 (1) 会長及び副会長の選任について  
 (2) 自己紹介  
 (3) 情報・意見交換  
 (4) その他
- ・ 第二回 平成28年10月 6日(木) 午後3時～  
 場所 大間中学校 会議室  
 案件 (1) ケース会議・・・大間中  
 (2) 情報・意見交換  
 (3) その他
- ・ 第三回 平成29年 2月23日(木) 午後3時～  
 場所 大間中学校 会議室  
 案件 (1) 情報・意見交換  
 (2) 平成29年度開催日程について  
 (3) その他

### 平成28年度 大間町教育ネットワーク会議委員名簿

番号	氏名	職名	所属	任期
1	佐々木 倫哉	教頭	大間中学校	平成29年3月31日まで
2	館村 徹	教頭	奥戸中学校	平成29年3月31日まで
3	小松 章彦	教頭	大間小学校	平成29年3月31日まで
4	木村 由香子	教頭	奥戸小学校	平成29年3月31日まで
5	山本 和輔	主事	むつ児童相談所子ども相談課	平成29年3月31日まで
6	長内 人志	指導主事	下北教育事務所教育課	平成29年3月31日まで
7	今 崇	課長	大間警察署刑事生活安全課	平成29年3月31日まで
8	畠山 章	会長	民生委員・児童委員協議会	平成29年3月31日まで
9	熊谷 直喜	課長補佐	住民福祉課	平成29年3月31日まで
10	菊池 良一	課長補佐	住民福祉課	平成29年3月31日まで
11	相内 優	リサーチカー	下北教育事務所教育課	平成29年3月31日まで

※ 本会議の趣旨は、地域子ども達が健やかに育つために、教育現場、地域、関係各所が問題のある子に関しての情報を共有し、個別の対応が必要なケースとなる場合には、住民福祉課が所管する「大間町要保護児童対策地域協議会」で迅速な対応に繋げていくような組織体制をとっていることもあり、今後も継続し会議を開催していく予定。

## ⑫ 大間町奨学金貸付事業

○大間町奨学基金の設置及び管理運営に関する条例

平成2年3月19日条例第1号

改正 平成13年3月19日条例第8号

(設置)

第1条 大間町に居住する者の子弟で、学校教育法(昭和22年法律第26号)による高等学校、高等専門学校、大学、ほかに保健師助産師看護師法(昭和23年法律第203号)に規定する学校、養成所(以下「養成施設」という。)及び町長が認める各種技術並びに技能養成機関に在学する者に対して奨学金を貸与し、もって有用な人材を育成することを目的として大間町奨学基金(以下「基金」という。)を設置する。

(基金の額)

第2条 基金の額は、111,056,000円とする。

2 必要があるときは、予算の定めるところにより基金に追加して積立てをすることができる。

3 前項の規定により積立てが行われたときは、基金の額は、積立て額相当額増加するものとする。

(管理)

第3条 基金に属する現金の内、運用されない現金については、金融機関への預金その他最も確実に有利な方法により保管しなければならない。

2 前項により生じた利益は、一般会計歳入歳出予算に計上して、この基金に繰り入れるものとする。

(貸与の対象及び額)

第4条 奨学金の貸与の対象及び貸与の額は、次に定めるところによる。

(1) 高等学校(専修学校を含む。)及び同等の学校

月額 15,000円

(2) 高等専門学校

3年まで 月額 15,000円

4年以降 月額 30,000円

(3) 大学(専門学校、短期大学、大学院を含む。)

月額 30,000円

(4) 養成施設

准看護師 月額 15,000円

准看護師以外のもの 月額 30,000円

(5) 町長が認める各種技術及び技能養成機関

初等のもの 月額 15,000円

高等のもの 月額 30,000円

(貸与の期間)

第5条 奨学金を貸与する期間は、奨学金の貸与を受ける者(以下「奨学生」という。)の在学する学校の正規の修業期間とする。

(奨学生の決定)

第6条 奨学生の決定は、奨学生を希望する者で、次に掲げる要件を備える者の中から奨学生選考委員会の意見を聴いて教育委員会が決定する。

(1) 身体強健及び品行方正で学業優秀な者

(2) 在学学校長等が奨学生として推薦した者

(奨学金の休止)

第7条 奨学生が休学したときは、その期間奨学金の貸与を休止する。

(奨学金の停止又は廃止)

第8条 奨学生が、次の各号のいずれかに該当すると認められるときは、奨学金の貸与を停止又は廃止する。

- (1) 傷病、疾病等のため成業の見込みがないとき。
- (2) 学業成績又は操行が不良となったとき。
- (3) 奨学金を必要としない事由が生じたとき。
- (4) 休学の事由が適当でないとき。
- (5) 奨学生の属する世帯が大間町から転出したとき。
- (6) その他奨学生として適当でないとき。

(奨学金の償還)

第9条 奨学金は、卒業の月の1年後から奨学金を受けた期間の2倍の期間内に、その全額を償還しなければならない。ただし、奨学生が更に修学し、奨学金の貸与を受けることとなる場合には、当該最終の学校等の卒業の月の1年後から償還させるものとする。

- 2 前項のただし書の場合の償還期間の計算において奨学金を受けた期間は、通算するものとする。
- 3 奨学生が次の各号のいずれかに該当したときは、その月の翌月から奨学金を受けた期間の2倍の期間内に、その全額を償還しなければならない。ただし、特別な事情があるときは、教育委員会がこれを定める。

- (1) 退学
- (2) 奨学金の辞退
- (3) 奨学金の廃止

4 奨学生が、次の各号のいずれかに該当する場合は、教育委員会は、前3項の規定にかかわらず貸与した奨学金の全部又は一部について繰上げ償還を命ずることができる。

- (1) 奨学金を貸与の目的以外に使用したとき。
- (2) 奨学金の支払を怠ったとき。
- (3) 奨学生の属する世帯が大間町から転出したとき。

5 奨学金は、無利息とする。ただし、前各項に規定する償還期日後に償還する者については、この限りでない。

(償還の猶予)

第10条 奨学生であった者が、災害、疾病その他特別の事由のため、奨学金の償還が困難であると認められるときは、相当の期間償還を猶予することができる。

(償還の免除)

第11条 奨学生又は奨学生であった者が、死亡又は廃疾したときは、全部又は一部の償還を免除することができる。

(延滞金)

第12条 奨学金を償還期限までに支払わなかった場合において、正当な事由がないと認められるときは、大間町税外諸収入滞納金督促手数料及び延滞金徴収条例(昭和28年条例第3号)に定める税外諸収入金の延滞金及び督促の例により計算した当該償還金に係る延滞金及び督促手数料を徴収する。ただし、第10条により猶予された者は、その期間について免除する。

(委任)

第13条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

- 1 この条例は、平成2年4月1日から施行する。
- 2 大間町奨学資金貸与条例(昭和48年条例第2号)は廃止する。
- 3 この条例の施行の日の前日までに奨学金の貸与を受けているものは、この条例の規定により奨学金の貸与を受けたものとみなし、その額については、なお従前の例による。

附 則(平成13年3月19日条例第8号)

- 1 この条例は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 この条例施行前の規定に基づき貸与したものについては、なお従前の例による。

(1)平成28年度 大間町奨学生選考委員会名簿

	氏名	所属・職名	任期
1	畠山 章	民児協会長	平成28年4月1日～平成29年3月31日
2	松谷 慎子	民生委員(大間地区)	平成28年4月1日～平成29年3月31日
3	佐々木 榮子	民生委員(奥戸地区)	平成28年4月1日～平成29年3月31日
4	和田八重子	民生委員(材木地区)	平成28年4月1日～平成29年3月31日
5	山口 順子	大間小学校長	平成28年4月1日～平成29年3月31日
6	濱田 俊一	奥戸小学校長	平成28年4月1日～平成29年3月31日
7	岩本 浩也	大間中学校長	平成28年4月1日～平成29年3月31日
8	飯田 一彦	奥戸中学校長	平成28年4月1日～平成29年3月31日
9	安達 健夫	大間高等学校長	平成28年4月1日～平成29年3月31日

委員会開催状況

平成28年度大間町奨学生選考委員会

日時 平成28年 5月23日(月) 午前9時30分～

場所 大間町立公民館 1階会議室

案件 平成28年度の奨学生選考について 高等学校 1名  
大学・専門学校 5名

※選考にあたり、奨学生選考基準及び推薦書提出校の資料、民生児童委員からの情報、返済能力等を勘案し、奨学生6名について、適 と認定。

大間町奨学基金	平成28年度貸付金		6, 210, 000円
	決算(年度末)残高	(内訳)	
	115, 134, 294 円	青森銀行 定期預金	50, 000, 000円
		青森銀行 普通預金	65, 134, 294円

## ⑬ 奥戸地域学校教育の検討

### (1) 大間町学校教育改革の基本的考え方

変化の著しい社会の中で、子どもたちが将来社会の一翼を担い、社会に貢献できる人間として成長するためには、学校を核とした様々な教育活動の中で、「確かな学力の習得」と「心の教育」とともに、豊かな人間性を身に付けることが大切です。

この中で、義務教育課程では、児童生徒の一人一人が生きる力と夢をはぐくむための様々な資質を身に付ける場であると同時に、将来の生き方を考える大切な役割を担っています。

このため、学力向上に向けた教育内容の充実とともに、児童生徒が切磋琢磨できる環境の中で、社会性をはぐくみ、自ら考え、思いやり、行動する力や、主体的な選択を行うための価値観を身に付けさせるなど、発達段階に応じた多様な教育活動の展開が求められるとともに、学校は地域コミュニティの拠点と位置づけ、地域住民の意見を考慮すべきであります。

このような状況を踏まえ、めまぐるしく変化する社会の中で、様々な課題に柔軟に対応できる人づくりを推進するため、教育環境の充実に向けた適正な学校規模・児童生徒の多様な選択肢に対応するあり方、そして、発達段階に応じた組織的・系統的な教育を展開するための方向性を示すこととしています。

### (2) 学校規模・配置

① 一定規模の学校とすることにより、教育目標である人格の形成や生きる力を育て、お互いの想像性や競争心が付き社会の一員としての基礎教育ができます。

② 学校行事などをはじめとする特別活動等の充実や部活動における多様な選択肢の確保が可能になるなど、児童生徒が集団の中で様々な個性や価値観に触れ、互いに切磋琢磨しながら、確かな学力と逞しい心を身に付けるための教育環境を整えることができます。

③ 学校配置に際し、地域に学校がなくなるのは非常に寂しくなり、地域活性化が図れなくなることを重く受け止め、奥戸小学校については 複式学級の状況やその時点での保護者の意識調査などの必要性に鑑みて、地域の事情による柔軟な学校配置に配慮することとし、奥戸中学校についても、全校生徒が30人未満となり、且つ、1学年の生徒数が10人未満となる時期を考慮のうえ学校配置に配慮します。

上記の考え方から当町では、文部科学省の「今後の学級編成の改善について」に基づき、少人数学級(平成28年度までに小学校及び中学校35人、平成30年度までに小学校1年及び2年30人)で、1学年あたり1学級以上の学校規模とし運営しています。

### (3) 奥戸地域教育の進め方及び協議の経緯

急激に進む少子高齢化の中で、平成22年度に「奥戸地域学校教育検討委員会設置要綱」を定め、平成23年度に検討を重ねましたが、方向性をまとめるには至らない結果でありました。

平成24年度には、奥戸小学校の今後の児童数を見込んだ結果、平成26年度から複式学級が発生することとなることから、先例地である風間浦村立蛇浦小学校を教育委員と事務局で視察し、その後、奥戸地域の小中学校及び幼児の保護者を対象とした懇談会を皮切りに、地域住民も含んだ懇談会を開催してきました。

平成25年度も懇談会を行いながら、小学校保護者による風間浦村立蛇浦小学校の視察を実施し、複式学級の授業風景を見学し教職員との懇談も行いました。

町議会議員の方々においても、大間中・奥戸中と同等規模で統合した青森市の荒川中学校及び青森市教育委員会を訪問し、当時の状況等や統合へ向けての取組み等を確認頂いたところであります。

平成26年度からも引き続き懇談会を開催し、平成27年9月25日に開催した懇談会の中で、保護者の方から、「大間中学校への統合に向けての日程を明確にしてほしい」との要望があり、統合に向けての日程を明確にした上で、再度、奥戸小・中学校保護者との懇談会を開催することとした。

これを受けて、平成27年9月30日に臨時教育委員会議を開催し、教育委員会としての基本的な考え方について次のとおり意思統一しました。

○今後の生徒数の減少傾向を受け、奥戸中学校の教育活動の状況を考慮し、平成30年4月大間中学校との統合の方向で推進することとしたい。

上記について、平成27年12月1日に開催した議員全員協議会において説明し、教育委員会としての基本的な考え方について説明しております。そのことが平成27年12月2日の東奥日報及びデイリー東北に記事として掲載され、記事を読んだ奥戸地区の児童生徒の保護者及び地域住民が「統合決定」と誤認した経緯があります。教育委員会としては、平成30年4月の統合についてはあくまで目標であり、保護者や地域住民のある程度の理解を得られなければ実施しない考えであることから、引き続き懇談を行ってきました。

その後、PTA役員等と懇談を重ねましたが、統合に関しては多くの保護者が「反対」の意見をもっているようなことから、PTA独自でアンケート調査を行い、その結果報告を受け、その時に質問のあった事項に関して、平成28年2月に開催した懇談会で回答しております。

このような動きのなかで、小・中学校PTA会長から、「現在の状況では平成30年4月の統合は無理であるとする。これから部活動や学年交流等を重ね、平成33年4月頃に統合できるような体制で進めてほしい」との要望がありました。

以上を踏まえ、今後の予定として、平成29年4月に行われる小学校及び中学校の参観日で保護者に対して教育委員会としての考え方を説明する予定です。

## 「学校教育改革報告策定」の主な検討経過

年 月	事 項
H23・3	大間町奥戸地域学校教育検討委員会設置要綱制定
H23・6	第1回大間町奥戸地域学校教育検討委員会開催
H23・8	第2回大間町奥戸地域学校教育検討委員会開催
H23・9	第3回大間町奥戸地域学校教育検討委員会開催
H23・11	第4回大間町奥戸地域学校教育検討委員会開催
H24・8	第1回大間町教育委員による複式学級授業に係る先例地視察（蛇浦小学校）
H24・12	大間町議会全員協議会に対し学校教育改革計画策定（案）検討状況（奥戸地域）報告
H25・2	第1回奥戸地域における学校教育に関する懇談会（未就学児の保護者対象）
H25・6	第2回奥戸地域における学校教育に関する懇談会（小中学校の保護者対象）
H25・7	第3回奥戸地域における学校教育に関する懇談会（小中学校の保護者対象）
H25・8	第4回奥戸地域における学校教育に関する懇談会（奥戸地区住民対象）
H25・10	大間町議会議員の大間町教育検討に係る視察研修（青森市役所・荒川中学校）
H25・11	第2回奥戸PTAによる複式学級授業に係る先例地視察（蛇浦小学校）
H25・11	第5回奥戸地区における学校教育に関する懇談会（奥戸地区住民対象）
H26・5	奥戸地域学校教育について教育委員会としての考え方について町長へ提出
H26・6	奥戸地域学校教育の教育委員会としての考え方について町議会全員協議会へ報告
H26・9	奥戸地域学校教育の教育委員会としての考え方について奥戸地域住民へ報告
H26・11	奥戸地域小中学校PTAへ教育委員会としての考え方について報告及び懇談
H27・4.30	奥戸小学校PTAへ今後の奥戸地域教育方策への協力依頼
H27・9.25	奥戸地域における学校教育に関する懇談会（小中学校の保護者対象）
H27・9.30	定例教育委員会において奥戸地域の教育問題について協議
H27・12.1	大間町議会全員協議会へ奥戸地域の学校教育方針について説明
H27・12.15	奥戸地域における学校教育に関する懇談会（小中学校の保護者対象）
H28・1.20	奥戸地域における学校教育に関する懇談会（地域住民対象）
H28・3.28	奥戸小・中学校PTA会長との懇談会
H28・6.2	奥戸小・中学校新PTA会長との懇談会
H28・10.5	奥戸小・中学校PTA会長との懇談会
H28・11.22	PTAによる中学校に関するアンケート調査実施
H28・12.19	奥戸小・中学校PTA会長会長及び役員との懇談会
H29・2.27	奥戸小・中学校PTA役員との懇談会
H29・3.23	定例教育委員会において奥戸地域の統合問題について協議



## 奥戸小学校 児童数の推移

平成29年2月20日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計	備 考
平成25年度	6	10	10	10	10	13	3	62	
平成26年度	7	5 複式学級	10	10	10	11	3	56	2・3学年複式設置
平成27年度	6	8 複式学級	5	10	10	11	2	52	〃
平成28年度	7	6 複式学級	9	5 複式学級	10	9	1	47	2・3学年及び4・5学年複式設置 児童数が50人を割る
平成29年度	6	7	6 複式学級	9	5 複式学級	10	0	43	〃
平成30年度	6	6	7 複式学級	6	9 複式学級	5	0	39	〃 児童数が40人を割る
平成31年度	6	6	6 複式学級	7	6 複式学級	9	0	40	〃
平成32年度	8	6	6 複式学級	6	7 複式学級	6	0	39	〃
平成33年度	7	8	6 複式学級	6	6 複式学級	7	0	40	〃
平成34年度	4	7	8 複式学級	6	6 複式学級	6	0	37	〃
平成35年度	2 複式学級	4	7 複式学級	8	6 複式学級	6	0	33	〃 完全複式学級となる

※28年度学級編成基準

1学年35人、2学年以上40人

複式学級への移行

1学年を含む場合8人 含まない場合16人

## 奥戸中学校 生徒数の推移

	1年	2年	3年				特別支援	合計	備 考
平成25年度	14	17	11				0	42	
平成26年度	11	14	16				1	42	
平成27年度	11	12	13				2	38	生徒数が40人を割る
平成28年度	11	11	11				3	36	
平成29年度	9	11	11				3	34	
平成30年度	10	9	11				2	32	
平成31年度	5	10	9				1	25	生徒数が30人を割る
平成32年度	9	5	10				0	24	
平成33年度	6	9	5				0	20	生徒数が20人
平成34年度	7	6	9				0	22	
平成35年度	6	7	6				0	19	生徒数が20人を割る

※28年度学級編成基準(予定)

1学級

40人

複式学級への移行

8人

## ⑬ 新教育制度への移行について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が平成26年6月20日に交付され、平成27年4月1日から施行されることとなりました。

概要としては下記のとおりであります。

### (趣 旨)

教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携の強化を図るとともに、地方に対する国の関与の見直しを図るため、地方教育行政制度の改革を行う。

### (概 要)

#### 1. 教育行政の責任の明確化

- 教育委員長と教育長を一本化した新たな責任者(新教育長)を置く。(13条関係)
- 教育長は、**首長が議会同意を得て、直接任命・罷免を行う。(4条、7条関係)**
- 教育長は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表する。(13条関係)
- 教育長の**任期は、3年とする(委員は4年)。(5条関係)**
- 教育委員から教育長に対し教育委員会会議の招集を求めることができる。(14条関係)  
また、教育長は、委任された事務の執行状況を教育委員会に報告する。(25条関係)

#### 2. 総合教育会議の設置、大綱の策定

- 首長は、総合教育会議を設ける。会議は、首長が招集し、首長、教育委員会により構成される。  
(1条の4関係)
- 首長は、総合教育会議において、教育委員会と協議し、教育基本法第17条に規定する基本的な方針を参酌して、教育の振興に関する施策の大綱を策定する。(1条の3関係)
- 会議では、大綱の策定、教育条件の整備等重点的に講ずべき施策、緊急の場合に講ずべき措置について協議・調整を行う。調整された事項については、構成員は調整の結果を尊重しなければならない。(1条の4関係)

#### 3. 国の地方公共団体への関与の見直し

- いじめによる自殺の防止等、児童生徒等の生命又は身体への被害の拡大又は発生を防止する緊急の必要がある場合に、文部科学大臣が教育委員会に対して指示ができることを明確化するため、第50条(是正の指示)を見直す。(50条関係)

#### 4. その他

- 総合教育会議及び教育委員会の会議の議事録を作成し、公表するよう、努めなければならない。  
(1条の4⑦、14条⑨関係)
- 現在の教育長は、委員としての任期満了まで従前の例により在職する。(附則2条関係)
- ※ 政治的中立性、継続性・安定性を確保するため、教育委員会を引き続き執行機関とし、職務権限は従来どおりとする。

施行期日 平成27年 4月 1日

## 1 概要の説明

### (1) 新「教育長」の任命等

1) 教育長は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有する者のうちから、地方公共団体の長が議会の同意を得て任命することとなりました。

2) 教育長は常勤とし、その勤務時間及び職務時間及び職務上の注意力の全てをその職責遂行のために用い、当該地方公共団体がなすべき責を有する職務のみに従事しなければならないこととした。また、教育委員会の許可を受けなければ営利を目的とする私企業を営むことを目的とする会社その他の団体の役員その他、人事委員会規則で定める地位を兼ね、若しくは自ら営利を目的とする私企業を営み、又は報酬を得ていかなる事業若しくは事務にも従事してはならないこととなりました。

3) 「新教育長」は教育委員会の構成員となり、かつ代表となることから、その代理者は委員の中から**代理者を指名すること**となりました。(教育長に事故があるとき、又は教育長が欠けたときの対応をするため)しかし、職務代理者が自ら事務局を指導監督し事務執行を行うことが困難な場合は、その職務を教育委員会事務局職員に委任することができることとなりました。

### (2) 大綱の策定について

1) 地方公共団体の長は、教育基本法第17条第1項に規定する基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとする事となりました。

2) 地方公共団体の長は、大綱を定め、又はこれを変更しようとするときは、あらかじめ、総合教育会議において協議するものとなります。

3) 大綱の主たる記載事項は、各地方公共団体の判断に委ねられているものの、主として学校の耐震化、学校の統廃合、少人数教育の推進、総合的な放課後対策、幼稚園、保育所、認定こども園を通じた幼児教育・保育の充実等、予算や条例等の地方公共団体の長の有する権限に係る事項についての目標や根本となる方針を盛り込むこととなっています。

4) 地方公共団体の長は、総合教育会議を設置し、会議の招集を行うこととなります。

### (3) 経過措置等について

#### 1 改正法の概要

(1) この法律の施行の際、現に在職する教育長(以下「旧教育長」という。)は、その教育委員会の委員としての任期中に限り、なお、従前の例により在職することとなります。

(2) (1)により旧教育長が在職する場合に、教育委員会の委員長である者の当該委員長としての任期は、現行法第12条第2項の規定にかかわらず、旧教育長の委員としての任期が満了する日において満了することとなります。

(3) 法施行の日から4年を経過するまでの間に任命される委員の任期は、法第5条第1項の規定にかかわらず、当該委員の任期の満了の期日が特定の年に偏ることのないよう、1年以上4年以内で当該地方公共団体の長が定めるものとされました。

よって、宮野教育委員並びに佐藤教育長の任期は、佐藤教育長の任期満了日(平成28年10月16日)までとなり、平成28年10月17日から改正法の適用となる。

平成28年度9月定例議会において、佐藤教育長及び宮野教育委員の任命の承認について議会の同意を得た。

また、教育長職務代理者について、平成28年10月17日に開催した第1回臨時教育委員会において、高松委員が指名された。(任期1年)

## 地方教育行政の組織及び運営に関する 法律の一部を改正する法律 (概要)

教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、  
地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理  
体制の構築、首長との連携強化を図るとともに、地方に  
対する国の関与の見直しを図る。

施行日：平成27年4月1日

### Q1 来年4月1日に、教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」が任命されるのですか？

施行日の平成27年4月1日において在任中の教育長については、その教育委員としての任期が満了するまで、又は自ら退任するまで現行制度の教育長として在職するものとし、徐々に新制度に移行していくこととしていきます。その間は、従来どおり、教育長と非常勤の委員長が併存することとなります。  
旧委員長(非常勤)については、旧教育長の任期が満了した時点、又は退任した時点で、委員長としては失職しますが、委員としての任期が残っている間は、引き続き委員として在職することになります。

### Q2 常勤の教育長が教育委員会会議の主宰者となりますが、レイマンコントロールの考え方は変わらないのですか？

今回の改正において、教育行政の責任者としての教育長のリーダーシップは高まりますが、教育長以外は、非常勤の委員で構成する委員会多数決で意思決定を行う仕組みは従来どおりです。また、教育委員の職業等に幅りが生じないよう配慮するとの規定を改正後も維持しており、教育の専門家ではない一般の住民の意向を教育行政に反映していく、いわゆる「レイマンコントロール」の考え方は変わっていません。  
このため、教育委員の資質・能力の向上は重要であり、入選の工夫や研修の充実等が期待されることとなります。

### Q3 新制度では、いじめによる自殺事案等のように対応することになるのですか？

いじめ事件などが生じた場合には、まず、常勤の教育長が第一義的な責任者として迅速に対応することとなります。また、教育長の判断により、教育委員への迅速な情報提供や教育委員会会議の招集が可能になります。さらに、首長の判断により、緊急に総合教育会議を開いて、講ずべき措置について教育委員会と協議・調整を行うことも可能です。

### Q4 総合教育会議によって、首長が教育行政の方針を定めることになるのですか？

総合教育会議は、首長と教育委員会が教育行政の大綱や重点的に講ずべき施策等について協議・調整を行う場であり、両者が教育政策の方向性を共有し、一致して執行にあたることで期待されています。  
なお、会議において調整がつかない事項については、それぞれその結果を尊重して事務を執行することとなります。

### Q5 総合教育会議では、教育委員会の所掌する事務のうち、予算や条例提案など首長の権限に関する事項についてのみ協議するのですか？

総合教育会議では、予算や条例提案等に加え、保育や福祉等の首長の権限に関わる事項等について、協議・調整を行うほか、教育委員会の権限に属する事項についても協議(＝自由な意見交換)を行うことが想定されています。なお、教科書の採択や個別の教職員の人事については、特に政治的中立性の要請が高い事項であり、総合教育会議の協議事項として取り上げるべきではありません。

### Q6 大綱は、毎年策定するのですか？地方の教育振興基本計画や、自治体の総合計画で、教育行政の方針が示されている場合にも、別途、大綱を策定する必要がありますか？

大綱が対象とする期間については、法律上に規定はありませんが、首長の任期が4年であることや、国の教育振興基本計画の対象期間が5年であることに鑑み、4～5年程度のものとして定めることを想定しています。  
また、地方公共団体において、教育振興基本計画を定める場合には、その中の施策の目標や施策の根本となる方針の部分が大綱に該当すると位置づけられるものであり、首長が総合教育会議において、教育委員会と協議し、当該計画をもって大綱に代えることと判断した場合には、別途、大綱を策定する必要はありません。

### Q7 大綱は、予算や条例提案などの首長の権限に関わらない事項についても記載されるのですか？

大綱は、予算や条例提案等の首長の権限に関わる事項について定めることが中心となると想定しています。なお、教育委員会は、首長の権限に関わらない事項である教科書採択の方針、教職員の人事異動の基準等についても、教育委員会が適切と判断して、首長が大綱に記載することも考えられます。  
なお、大綱は、首長が定めるものとされており、首長と教育委員会で調整がつかない事項については尊重義務が生じます。



# 教育委員会制度、こう変わる

## ＜これまでの教育委員会の課題＞

- 教育委員長と教育長どちらが責任者かわかりにくい
- 教育委員会の審議が形骸化している
- いじめ等の問題に対して必ずしも迅速に対応できていない
- 地域住民の民意が十分に反映されていない
- 地方教育行政に問題がある場合に、国が最終的に責任を果たせるようにする必要がある

## ＜教育委員会の改革＞

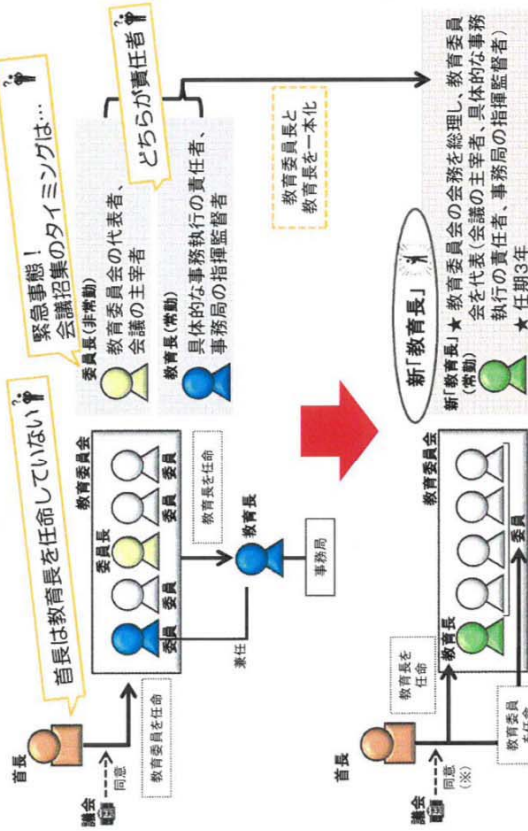
- 教育行政における責任体制の明確化
- 教育委員会の審議の活性化
- 迅速な危機管理体制の構築
- 地域の民意を代表する首長との連携の強化
- いじめによる自殺等が起きた後においても、再発防止のために国が教育委員会に指示できることを明確化

## 政治的中立性の確保

- ◆ 教育委員会は、引き続き、執行機関
- ◆ 総合教育会議で、首長と協議・調整は行つたが、最終的な執行権限は教育委員会に留保されている。

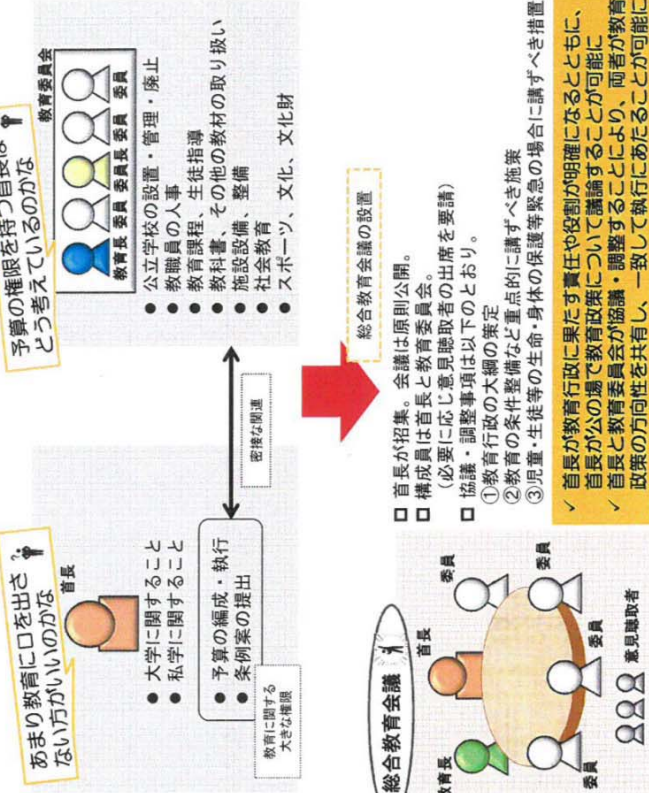
### POINT ① 教育長

## 教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」の設置



### POINT ③ 総合教育会議

## すべての地方公共団体に「総合教育会議」を設置



### POINT ② 教育委員会

## 教育長へのチェック機能の強化と会議の透明化

- 新「教育長」の判断による教育委員会への迅速な情報提供や会議の招集の実現。
- 教育委員会によるチェック機能の強化のため、
  - ・教育委員の定数1/3以上からの会議の招集の請求が可能
  - ・教育委員会規則で定めるところにより、教育長に委任した事務の管理・執行状況を報告する義務について規定。
- 会議の透明化のため、原則として、会議の議事録を作成・公表すること。
- ✓ 教育委員会の審議の活性化

### POINT ④ 大綱

## 教育に関する「大綱」を首長が策定

- 大綱とは、教育の目標や施策の根本的な方針。
- 総合教育会議において、首長と教育委員会が協議・調整を尽くし、首長が策定。
- 首長及び教育委員会は、策定した大綱の下に、それぞれの所管する事務を執行。
- ✓ 地方公共団体としての教育政策に関する方向性が明確化

### Ⅲ 社会教育の充実

#### (1) 組織及び事業

地域住民が心のふれあいを深め、生涯にわたって生きがいのある充実した生活を送るとともに豊かで住み良い地域社会の実現ができるよう、一人ひとりの学習と社会参加を実現する社会教育の推進に努力し、地域全体の教育力の向上を図る。

組織名	ねらい・構成員
① 社会教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会教育に関する諸計画の立案並びに教育委員会の諮問に対し意見を述べる。また、これらの職務を行うために必要な調査・研究を行う。</li> </ul> <p>委員長 佐々木 純六</p> <p>委員 稲葉 保      大見 俊久      高松 隆光      御厩敷 盛子             山崎 アイ子      米澤 和恵      安達 健夫      飯田 一彦             山口 順子      ※ 委員については、各団体の長で構成している。</p>
② 文化財審議委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 文化財に関する諸計画の立案並びに教育委員会の諮問に対し意見を述べる。また、これらの職務を行うために必要な調査・研究を行う。</li> </ul> <p>委員長 松原 俊逸</p> <p>委員 奥野 誠一      興村 慎吾      熊谷 正明      柴田 憲明             佐々木 健      目時 浩美</p>
③ 公民館運営審議委員  ・公民館事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公民館活動の充実を図るため、情報交換及び連絡調整の場とする。</li> <li>● 文化団体、サークル活動等の自主活動を奨励し、その育成を図る。</li> </ul> <p>委員長 濱田 俊一</p> <p>委員 岩本 浩也      木村 泰佳子      金田一一子      柳谷 章造             佐々木 明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 町民文化祭事業</li> <li>② 読書推進事業</li> <li>③ 大間町音楽祭事業</li> <li>④ 書初め席書大会</li> <li>⑤ 函館市戸井町との文化交流事業</li> <li>⑥ 公民館講座の開催事業</li> </ul>

<p>④ スポーツ推進委員会</p> <p>・体育関係事業</p>	<p>● 町民のスポーツ振興と社会体育の発展のため、実技指導やスポーツに関する助言を行うとともに、相互の連絡調整及び情報交換の場とする。また、体育館運営審議委員会委員を兼ねる事とする。</p> <p>委員長 泉 晃</p> <p>委員 堺 祐介 豊川 武伸 七島 賢 七島 賢人 真柄 みつ子 山本 直也 山本 竜太 矢越 文男 米澤 和恵</p> <p>① はまなす駅伝大会開催事業 ② 大間町少年柔道大会開催事業 ③ 大間町少年剣道大会開催事業 ④ 青森県市町村対抗県民体育大会参加事業 ⑤ 青森県市町村対抗県民駅伝大会参加事業 ⑥ 体育協会育成・スポーツ少年団育成事業 ⑦ 学校体育施設開放事業 ⑧ 町民体育館開放事業 ⑨ 生涯スポーツ推進事業</p>
<p>⑤ 少年教育・子ども会育成義業</p> <p>・郷土芸能発表会</p> <p>・青少年健全育成会議</p>	<p>● 少年の学校外活動の充実を図るため、地域の活動を通して「いきいきとした豊かな人間形成」を目指す。</p> <p>・ 大間町子ども会育成連絡協議会 会長 増山 歩 副会長 菊池 祐輔 理事 宮野 真 松山 桂奈子 松山 明菜 監事 佐々木 純 笹谷 貴志 事務局 浅見 法 少年指導員 中村 幸宏 高松 大助 林 誠</p> <p>● 地域の文化を学ぶとともに、ふるさとの歴史を見つめ郷土を愛する心を育てることを目的として実施。</p> <p>● 青少年の健全育成のため、家庭、学校、職場、地域全体が一体となり、育成活動の展開を図ることを目的として実施。</p>
<p>⑥ 放課後子どもプラン</p>	<p>● 安心・安全して活動できる子どもの居場所を設け、小・中学生を対象とした放課後や週末におけるスポーツや文化活動など、様々な体験活動や住民との交流活動の推進を図る。</p>
<p>⑦ 青年教育・成人式</p>	<p>● 新成人の門出を祝う場面を設け、お互いの交流を深めさせ次代を担う心構えと勇気を喚起させることを目的として実施。 (毎年 8月15日に北通り文化センター「ウイング」にて実施)</p>

<p>⑧ 勤労青少年ホーム 運営委員会</p>	<p>● 勤労青少年の余暇の充実に資することを目的として実施。</p> <p>運営委員長 菊池 良一</p> <p>運営委員 葛西 徳哉 高橋 博之 林 誠 宮野 良子</p>										
<p>⑨ 女性団体連絡協議会</p>	<p>● 大間町に組織されている女性団体が相互の連携を密にし、融和を図りながら、女性の地位向上と福祉の増進に努め、明るく住み良い豊かな町づくりに寄与することを目的とする。</p> <p>・ 対象団体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 大間地域婦人会</li> <li>② 奥戸婦人会(27年11月 再設立)</li> <li>③ 大間漁協女性部会</li> <li>④ 奥戸漁協女性部会</li> <li>⑤ 奥戸漁協材木地区女性部会</li> <li>⑥ 大間町商工会女性部</li> </ul>										
<p>⑩ 老人クラブ連合会</p>	<p>● 会員相互の親睦を密に研修・活動等を共に行い、各老人クラブの連携強化を図り、更には、各人の健康増進・福祉の向上に努め明るく住み良い豊かな町づくりに寄与することを目的とする。</p> <p>・ 対象団体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 大間地区老人クラブ</li> <li>② 奥戸地区老人クラブ</li> <li>③ 材木地区老人クラブ</li> </ul>										
<p>⑪ 芸術・文化団体</p> <p>芸能保存会 祭典実行委員会</p>	<p>● 公民館、北通り文化センター「ウイング」、文化協会等関係機関団体との連携を密にし、個性豊かな文化活動の充実に努めるため、芸術文化団体への助成・支援を行う。</p> <p>先人たちが引き継いできた郷土芸能と、由来等の歴史研究も含め本来の正しい形態で保存保護しながら、積極的に普及・活用していくことを目的とする。</p> <p>・ 対象団体 補助額</p> <table border="0"> <tr> <td>大間郷土芸能保存会</td> <td>51,000 円</td> </tr> <tr> <td>奥戸郷土芸能保存会</td> <td>41,000 円</td> </tr> <tr> <td>大間稲荷神社祭典実行委員会</td> <td>599,000 円</td> </tr> <tr> <td>奥戸春日神社祭典実行委員会</td> <td>248,000 円</td> </tr> <tr> <td>材木稲荷神社祭典実行委員会</td> <td>77,000 円</td> </tr> </table>	大間郷土芸能保存会	51,000 円	奥戸郷土芸能保存会	41,000 円	大間稲荷神社祭典実行委員会	599,000 円	奥戸春日神社祭典実行委員会	248,000 円	材木稲荷神社祭典実行委員会	77,000 円
大間郷土芸能保存会	51,000 円										
奥戸郷土芸能保存会	41,000 円										
大間稲荷神社祭典実行委員会	599,000 円										
奥戸春日神社祭典実行委員会	248,000 円										
材木稲荷神社祭典実行委員会	77,000 円										





## IV 大間町教育委員会 行事

- |                       |  |
|-----------------------|--|
| 1 青森県民体育大会            | 平成 28 年 7 月 30 ~ 31 日                  |
| 2 大間町成人式              | 平成 28 年 8 月 15 日                       |
| 3 第23回青森県民駅伝競走大会      | 平成 28 年 9 月 4 日                        |
| 4 第30回はまなす駅伝大会        | 平成 28 年 9 月 25 日                       |
| 5 公民館講座               | 平成 28 年 10 月 4 日 ~<br>月 25 日           |
| 6 第40回町民文化祭           | 平成 28 年 11 月 5 日 ~ 6 日                 |
| 7 第37回大間町音楽祭          | 平成 28 年 11 月 6 日                       |
| 8 第30回大間町少年柔道大会       | 平成 28 年 12 月 4 日                       |
| 9 第42回大間町書初め席書大会      | 平成 29 年 1 月 5 日                        |
| 10 第52回大間町少年剣道大会      | 平成 29 年 1 月 29 日                       |
| 11 第34回大間町青少年健全育成推進大会 | 平成 29 年 2 月 11 日                       |
| 12 放課後子ども教室開催事業       | 平成 28 年 6 月 22 日 ~<br>平成 29 年 2 月 25 日 |
| 13 函館市戸井地区交流事業        | 平成 28 年 10 月 15 ~ 16 日                 |

# ① 平成28年度 第71回市町村対抗青森県民体育大会

期日 平成28年7月30日(土) 31日(日)

開催地 五所川原市・つがる市・鱒ヶ沢町・深浦町・板柳町・鶴田町・  
中泊町・弘前市・平川市

## (1) 剣道 優勝 (4連覇)

一回戦 大間町 3 - 0 板柳町

準々決勝 大間町 4 - 0 鶴田町

準決勝 大間町 4 - 0 平内町

決勝 大間町 2 - 0 深浦町

○ 選手名簿	監督	増山 渉	補員	柏谷 翼
	先鋒	倉本 潤	補員	能戸 修一
	次鋒	伊藤 耕陽		
	中堅	藤枝 誠		
	副将	熊谷 将登		
	大将	蛸子 勇人		

## (2) ハスケットボール

一回戦 大間町 41 - 75 中泊町

○ 選手名簿	監督	竹内 憲人	コーチ	傳法 勇人
			アシスタントコーチ	長崎 寿々
			マネージャー	扇谷 香織
	4	七島 賢	10	伊藤 龍
	5	傳法 勇人	11	泉 洋
	6	熊谷 諭	12	萬谷 幸毅
	7	古谷 泰樹	13	新田 良純
	8	竹内 憲人		
	9	泉 徳志		

(3) サッカー

一回戦 大間町 0 - 3 鶴田町

○ 選手名簿 監督 塚 祐介

GK	松谷 一平	MF	碓谷 純也
GK	木下 勝平	MF	御厩敷 和也
DF	杉澤 春樹	MF	古家 憲太朗
DF	畠山 幸平	MF	佐々木 準
DF	塚 祐介	MF	能登谷 正幸
DF	小川 良	FW	澤向 和也
DF	津幡 敢	FW	高橋 慶彦
DF	宮野 真	FW	織田 勉

## 第71回市町村対抗

# 青森県民体育大会

〔期日〕 平成28年7月30日〔土〕・31日〔日〕

〔会場〕 五所川原市・つがる市・鱈ヶ沢町・深浦町・板柳町・鶴田町・中泊町・弘前市・平川市



# はばたけ県民！

# 郷土の和

〔主催〕 青森県・青森県教育委員会・公益財団法人青森県体育協会・五所川原市・つがる市・鱈ヶ沢町・深浦町・板柳町・鶴田町・中泊町・五所川原市教育委員会・つがる市教育委員会・鱈ヶ沢町教育委員会・深浦町教育委員会・板柳町教育委員会・鶴田町教育委員会・中泊町教育委員会・一般財団法人五所川原市体育協会・特定非営利活動法人つがる市体育協会・鱈ヶ沢町体育協会・深浦町体育協会・板柳町体育協会・鶴田町体育協会・中泊町体育協会

〔後援〕 公益財団法人日本体育協会・青森県市町村教育委員会連絡協議会・青森県市長会・青森県町村会・青森県スポーツ推進委員競技会

〔主管〕 公益財団法人青森県体育協会・一般財団法人五所川原市体育協会・特定非営利活動法人つがる市体育協会・鱈ヶ沢町体育協会・深浦町体育協会・板柳町体育協会・鶴田町体育協会・中泊町体育協会・第71回市町村対抗青森県民体育大会西北地域実行委員会

## ②平成28年度 大間町成人式

- 期 日 平成28年8月15日(月)
- 時 間 午後1時から
- 場 所 北通り総合文化センター「ウイング」

- 成人式対象者名簿(男) 33人 成人式対象者名簿(女) 27人

No	氏 名	No	氏 名	No	氏 名	No	氏 名
1	石戸 将太	18	澁田 怜央	1	泉 瑠奈	18	筑田 綺子
2	伊藤 幸星	19	田 中 蓮	2	伊藤 成未	19	七島 愛美
3	伊藤 優作	20	高松 樹	3	奥本 笑	20	二階 結寿
4	伊藤 龍	21	佃 俊平	4	岡村 葉月	21	新田 瑞穂
5	遠藤 和哉	22	伝法 晃弥	5	金澤明日香	22	原 咲月
6	大久保海斗	23	七嶋 尚哉	6	菊池 涼香	23	増山沙也花
7	大西 寿裕	24	新田 晃樹	7	木下 愛華	24	山 本 潮
8	岡部 将太	25	新田 涼也	8	熊谷 麗愛	25	吉田 夏菜
9	菊池 恭平	26	新田 賢登	9	酒田 裕子	26	和田 千春
10	木下 款太	27	古川 一雅	10	佐々木千佳	27	渡邊 紗恵
11	小濱 大聖	28	古川 拓也	11	佐々木美里		
12	小谷 颯	29	古川 良太	12	笹谷 小雪		
13	坂本 大輔	30	皆野 洸太	13	白鳥 果歩		
14	坂本 巨樹	31	山本 修平	14	神 彩 菜		
15	笹谷 泰二	32	山 本 勝	15	杉本 華奈		
16	佐藤 佳樹	33	山本 雄平	16	高松 里菜		
17	佐々木冬威			17	竹内 苑華		



○ 記念公演

講師：シンガーソングライター 板橋 かずゆき(いたばし かずゆき) 氏

演題：『ネバーギブアップ生きる喜びを歌う』

プロフィール

1970年2月9日 青森県生まれ

3歳のころ、視力が弱いことに両親が気づき、緑内障と判明。6歳で親元を離れ、青森県立盲学校に入学。徐々に視力を失い不安定な日々を送る中、友人からの誘いでバンド活動を始め(ギター/キーボード/ヴォーカルを担当)、作詞作曲を手がける。

卒業後、病院勤務のかたわらライブハウスで歌い始め、様々なミュージシャンと共演。10年間勤めた病院を退職し、シンガーソングライターとして本格的に活動し始める。2005年、第2回ゴールドコンサートで準グランプリにあたる歌唱賞を受賞。これを機に、年間100本を超えるライブや講演の依頼が殺到。

「あきらめない心、強く生きること、そして、分かち合うころ...」

これらの想いをテーマに、その活動は全国規模で広がりとつある。



# ③第24回青森県民駅伝競走大会

大間町実行委員会

## 1 実行委員会全体会

(1) 期 日 平成 28 年 5 月 30 日 (月)

(2) 時 間 午後 6 時 ~

(3) 場 所 大間町公民館 1階

(4) 内 容 ○平成27年度会務報告  
○監査報告  
○平成27年度収支決算報告  
○会則審議  
○平成28年度事業計画(案)  
○平成28年度収支予算(案)  
○役員改選  
○その他

## (5) 協 議

### ● 候補選手の選出依頼及び選考について

○候補選手委嘱 平成 28 年 6 月 23 日 (金)

○記録会開催日 平成 28 年 7 月 13 日 (水)

平成 28 年 7 月 20 日 (水)

○選手選考会 平成 28 年 7 月 20 日 (水)

○オーダー編成会議 平成 28 年 7 月 20 日 (水)

○選手名簿締切 平成 28 年 7 月 27 日 (水)

### ● 選手強化について

○強化部会に対応 選考会と同時期に強化練習を実施(毎週水曜日)  
(自主トレ メニューを候補選手に配布)

○コース試走会 7~8月中に実際のコースを試走実施

1回目 平成 28 年 7 月 30 日 (土)

2回目 平成 28 年 8 月 20 日 (土)

## 2 団結式・壮行会

○開催日 平成 28 年 8 月 29 日 (月)

○開催時間 午後6時30分~

○開催場所 公民館1階

## 3 県民駅伝競走大会 本番 平成 28 年 9 月 4 日 (日)

○参加者 古家 憲太郎 他13名 別添資料のとおり

○強化部 矢越文男 山本竜太 泉 優介  
佐々木英樹 野澤新乃介 高橋英志



# 第24回青森県民駅伝競走大会

## 選手オーダー表 及び 結果

ナンバーカード番号	27	市町村名	大間町
監督氏名	山田 司		
監督連絡先	Tel	0175-37-2111	

区間	区間距離〔指定〕	氏名	年齢	勤務先・学校名	学年	タイム
第1区	4.6km〔男子（高校生以上）〕	ふるいさ けんたろう 古家 憲太郎	40	電源開発（株）		17分00秒
第2区	3.8km〔男子（中学生）〕	いわかわ まさき 岩川 真輝	14	奥戸中学校	3	14分03秒
第3区	4.6km〔男子（高校生以上）〕	おおた ひろひで 太田 博英	31	電源開発（株）		19分17秒
第4区	6.1km〔男子（高校生以上）〕	いさ せいこう 伊佐 誠孝	23	（株）ジェイペック		21分34秒
第5区	2.5km〔女子（中学生）〕	いとう じゅの 伊藤 樹乃	13	大間中学校	2	10分30秒
第6区	5.2km〔男子（高校生以上）〕	せきしま まさひろ 関島 正浩	53	電源開発（株）		20分41秒
第7区	3.2km〔女子（中学生以上）〕	こじま りな 小島 李奈	28	（株）JPビジネスサービス		13分49秒
第8区	3.8km〔男子（中学生）〕	ますだ せいや 増田 誠弥	14	大間中学校	2	14分10秒
補 欠		ふなき かずひさ 船木 和寿	41	大間小学校		2:11:04 全体 35位 町の部19位 ※別添資料 参照
		いとう しんご 伊藤 慎吾	40	青森県商工会連合会下北分室	2	
		みくにや はると 三國谷 翔斗	13	大間中学校	2	
		まつもと ひなた 松本 陽向	13	大間中学校	2	
		いとう ゆめ 伊藤 柚芽	13	大間中学校	2	
		こじま さきな 小島 幸菜	12	大間中学校	1	

○担当者 菊池 武利 佐藤 桂一 伴 武彦 細川 大広  
石戸 秀一 浅見 法 伊藤 耕陽 新田 隼人  
藤巻 航 谷川 修



(大会当日 県総合運動公園陸上競技場にて撮影)

#### 4 県民駅伝競走大会の反省

本大会の参加数は、市の部10チーム、町の部22チーム、村の部8チーム、計40チームの参加で開催され、市の部優勝は八戸市、町の部優勝は東北町、村の部優勝は六ヶ所村であった。

当町においては、合計タイム2時間11分04秒で総合35位、町の部においては22チーム中19位であった。大きな目標である「2時間の壁を打ち破る」ことが出来なかったが順位をあげることができた。

結果的に全体的にタイムが伸びていないこともあるが、特に女子区間のタイムが他より大きく差が開いている。地域的に陸上競技への関心が薄い地域であることや小・中学校時のクラブ活動や部活動の状況をみても、陸上競技(特に中・長距離)に取り組んでいる生徒が少ないこともあり、どうしても選手選考に困難している状況が続いている。

県民駅伝競走大会は今後も引続き継続開催されることから、大間町陸上競技協会の協力を得ながら、長期的な展望をもって地域の児童・生徒の身体能力の向上を目指し取り組んでいかなければならない。また、急激に進む「少子高齢化社会」の現状も踏まえ、最も効果的な手法に取り組んでいく必要がある。

## ④第31回はまなす駅伝大会

- 1 趣 旨 大間町民憲章の具現化を図る一端として、駅伝大会を実施し町民の連帯感と協調精神の涵養につとめ、交通安全及び防犯思想の普及啓発と社会生活規範の高揚により、青少年の健全育成を図り、もって心身共に「健康安全で、明るく住み良い町づくり」を目指すと共に、スポーツを通じて地域の交流を深める。
- 2 主 催 大間町教育委員会
- 3 共 催 大間町体育協会
- 4 後 援 大間警察署、大間地区交通安全協会、大間地区安全運転管理者協会、大間地区安全運転管理事業主会、大間町交通安全対策協議会、大間町交通安全母の会連合会、大間地区連合防犯協会、大間町密漁防止対策協議会、大間町青少年健全育成会議、大間小学校、奥戸小学校、大間中学校、奥戸中学校、大間高等学校、各小・中学校PTA、大間高等学校PTA大間地区部会、大間漁業協同組合、奥戸漁業協同組合
- 5 協 賛 風間浦村教育委員会、佐井村教育委員会、風間浦村陸上競技協会、佐井村陸上競技協会
- 6 主 管 大間町陸上競技協会
- 7 日 時 平成28年 9月25日(日) 午前10時 材木スタート
- 8 コース 全長 16.57km 別添のとおり
- 9 競技方法 (1)出場できる選手数は次のとおりとする チーム編成
- |           |           |       |       |
|-----------|-----------|-------|-------|
| ① 小学生の部   | 男子7名・女子3名 | 計 10名 | 16名以内 |
| ② 中学生の部   | 男子4名・女子2名 | 計 6名  | 9名以内  |
| ③ 一般・高校の部 | 男子4名・女子1名 | 計 5名  | 8名以内  |
- ※ 男子区間を女子が走ることは可。女子区間を男子が走ることは不可。
- (2) 当日、荒天時の場合は中止とし小雨決行とする。  
開催の判断は、当日午前6時30分までに行い、中止の場合は午前7時までに各チーム代表者に連絡をする。

### ○ 小学生の部

6区	区 間 詳 細	距 離	走 者
1区	材木農村婦人の家 ～ 黒岩小屋前	1. 7 km	男子
2区	黒岩小屋前 ～ 奥戸漁港内	1. 6 km	男子
3区	奥戸漁港内 ～ 小奥戸橋	1. 6 km	女子
4区	小奥戸橋 ～ 大見海事作業所前	3. 0 7 km	男子
5区	大見海事作業所前 ～ 高橋本店前	1. 3 km	男子
6区	高橋本店前 ～ 割石	1. 3 km	女子
7区	割石 ～ 大間崎	1. 1 km	男子
8区	大間崎 ～ 一番坂	1. 3 km	女子
9区	一番坂 ～ 大間高等学校前	1. 5 km	男子
10区	大間高等学校前 ～ 大間町立公民館前	2. 1 km	男子

○ 中学校の部

区 間	区 間 詳 細	距 離	走 者
1 区	材木農村婦人の家 ～ 奥戸漁港内	3. 3 km	
2 区	奥戸漁港内 ～ 小奥戸橋	1. 6 km	女子
3 区	小奥戸橋 ～ 大見海事作業所前	3. 0 7 km	
4 区	大見海事作業所前 ～ 高橋本店前	1. 3 km	女子
5 区	高橋本店前 ～ 一番坂	3. 7 km	
6 区	一番坂 ～ 大間町立公民館前	3. 6 km	

○ 一般・高校の部

区 間	区 間 詳 細	距 離	走 者
1 区	材木農村婦人の家 ～ 奥戸漁港内	3. 3 km	
2 区	奥戸漁港内 ～ 大見海事作業所前	4. 6 7 km	
3 区	大見海事作業所前 ～ 高橋本店前	1. 3 km	女子
4 区	高橋本店前 ～ 一番坂	3. 7 km	
5 区	一番坂 ～ 大間町立公民館前	3. 6 km	

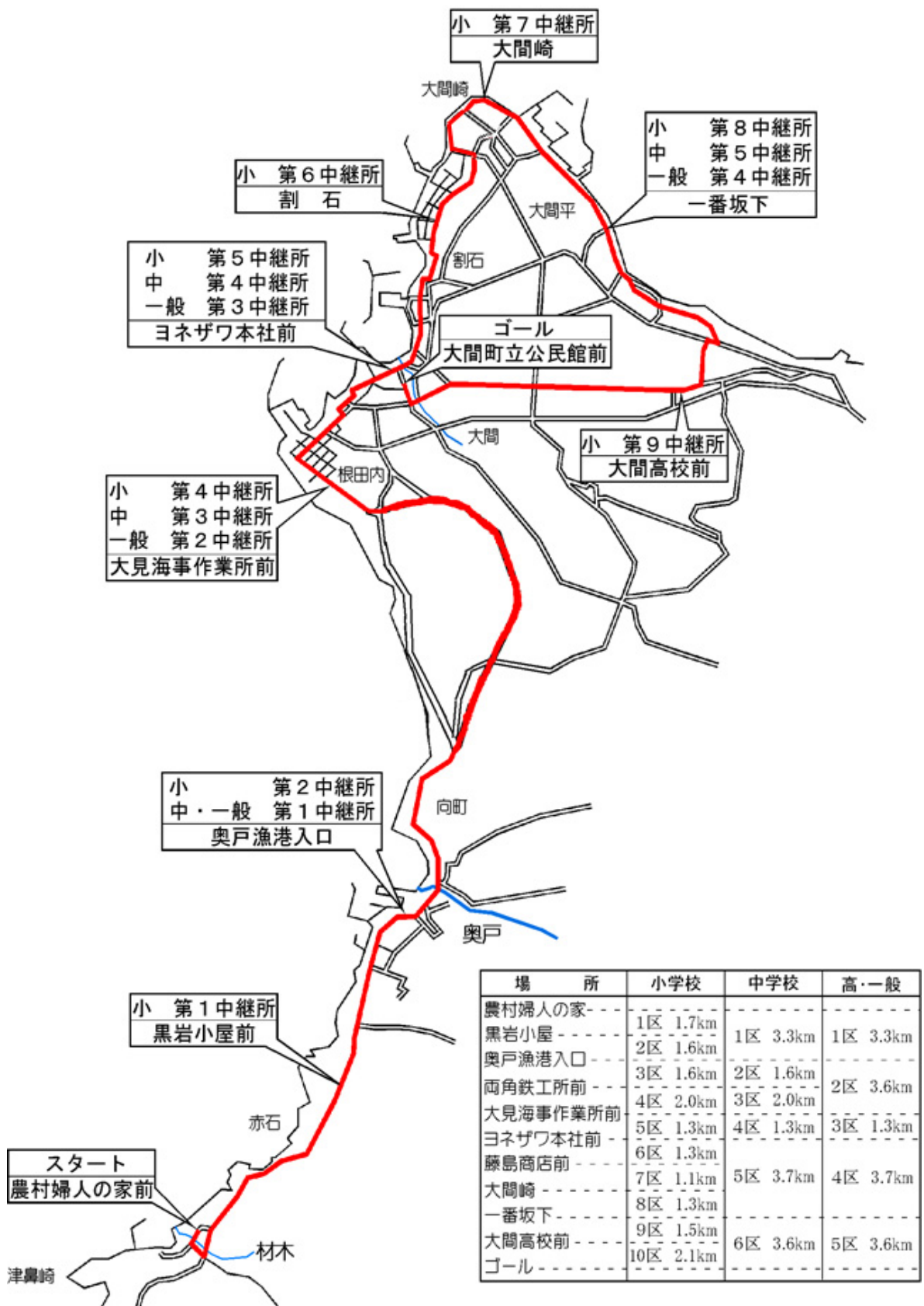
## 9 競技規程

- ① 選手は主催者の用意するナンバーカードをつけること。
- ② タスキは全区間を通じて走者の肩にかけて運ばなければならない。
- ③ 競技中選手が競技を続行することができなくなった場合は、当該チームのその区間の競技を無効とする。但し、次の区間競技を続行することができる。その場合当該チーム全体の記録は無しとするが、区間ごとの記録は認める。
- ④ 中継はタスキの受け渡しによるが、受け渡しは中継所の出発点から前方（走る方向）へ 20mの中継ゾーン内で完了すること。また、タスキは必ず手渡しすること。投げたり、落としたりしたものを次走者に拾わせてはならない。
- ⑤ 受付、選手の変更は、大会当日の午前7時30分までに大会本部に届けること。
- ⑥ 伴走は禁止とする。
- ⑦ 一番坂中継所において、トップの選手通過後15分で繰り上げを行う。
- ⑧ 競技中の選手の健康管理、事故防止については各チームで責任を持つこと。

## 10 表彰

- ① 各部とも3位までの入賞にはメダル、賞状を授与する。
- ② 優勝チームには優勝杯（持回り）を授与する。
- ③ 大会新記録及び区間新記録については後日記録証を授与する。
- ④ 各区間の第1位に区間賞を授与する。

はまなす駅伝大会コース図 (全長16.57km)



場 所	小学校	中学校	高・一般
農村婦人の家	1区 1.7km	1区 3.3km	1区 3.3km
黒岩小屋	2区 1.6km	2区 1.6km	2区 3.6km
奥戸漁港入口	3区 1.6km	3区 2.0km	3区 1.3km
両角鉄工所前	4区 2.0km	4区 1.3km	4区 3.7km
大見海事作業所前	5区 1.3km	5区 3.7km	5区 3.6km
ヨネザワ本社前	6区 1.3km	6区 3.6km	6区 3.6km
藤島商店前	7区 1.1km	7区 2.1km	7区 2.1km
大間崎	8区 1.3km	8区 1.5km	8区 1.5km
一番坂下	9区 1.5km	9区 1.5km	9区 1.5km
大間高校前	10区 2.1km	10区 2.1km	10区 2.1km
ゴール			





# —つなぐ—

## 第31回 はまなす駅伝大会

平成28年9月25日(日) 午前10時スタート

主催：大間町教育委員会 主管：大間町陸上競技協会 共催：大間町体育協会

協賛：風間浦村教育委員会・佐井村教育委員会・風間浦村陸上競技協会・佐井村陸上競技協会  
後援：大間警察署・大間町体育協会・大間地区交通安全協会・大間地区安全運転管理者協会・大間地区安全運転管理事業主会  
大間町交通安全対策協議会・大間町交通安全母の会連合会・大間地区連合防犯協会・大間町密漁防止対策協議会  
大間町青少年健全育成会議・大間小学校・奥戸小学校・大間中学校・奥戸中学校  
大間高等学校・大間小学校PTA・奥戸小学校PTA・大間中学校PTA・奥戸中学校PTA  
大間高等学校PTA・大間漁業協同組合・奥戸漁業協同組合

# 第31回はまなす駅伝大会 小学生の部

2016/9/25 10:00 スタート

No.	チーム名	監督	第1区 (1.7km)	第2区 (1.6km)	第3区 (1.6km)	第4区 (3.07km)	第5区 (1.3km)	第6区 (1.3km)	第7区 (1.1km)	第8区 (1.3km)	第9区 (1.5km)	第10区 (2.1km)	総合順位
1	むつ陸上クラブ	木村 孝弘	荻森 虎 1 0:05:42 2 0:05:42	木村 貴輝 1 0:11:59 2 0:06:17	木村 朱音 1 0:18:43 2 0:06:44	石切 蓮 2 0:31:44 1 0:13:01	平井 優真 2 0:37:06 1 0:05:22	平井 遥菜 2 0:42:26 3 0:05:20	沼澤 瑠玖 2 0:48:02 3 0:05:36	沼澤 佑来 2 0:53:27 1 0:05:25	梅森 紗葉 2 1:01:14 3 0:07:47	笹森 紅葉 2 1:08:58 2 0:07:44	2
2	大間小学校	木村 孝弘	新田 翔汰 2 0:06:44 2 0:06:44	竹内 秀哉 2 0:12:44 1 0:06:00	伊藤 咲花 2 0:19:38 2 0:06:54	小濱 楓真 1 0:31:07 2 0:11:29	伊藤 輝星 1 0:36:31 2 0:05:24	正根 優空 1 0:41:31 1 0:05:00	松原 矢美人 1 0:46:46 2 0:05:15	手塚 はる陽 1 0:52:22 2 0:05:36	熊谷 くるみ 1 0:59:29 1 0:07:07	赤田 健介 1 1:07:00 1 0:07:31	1
3	奥戸チャレンジャーズ	山本 光	柴田 海 3 0:07:48 3 0:07:48	伊藤雅夏斗 3 0:14:31 3 0:06:43	清水 彩心 3 0:21:26 3 0:06:55	中嶋 凌生 3 0:35:08 3 0:13:42	柿崎 優斗 3 0:40:42 3 0:05:34	高橋 紗希 3 0:46:00 2 0:05:18	清水 瑛斗 3 0:50:55 1 0:04:55	菊池 海 3 0:56:52 3 0:05:57	笹谷 陸翔 3 1:04:36 2 0:07:44	柿崎 龍輝 3 1:12:23 3 0:07:47	3

前回までの大会記録 1:05:54

区間賞	第1区 (1.7km)	第2区 (1.6km)	第3区 (1.6km)	第4区 (3.07km)	第5区 (1.3km)	第6区 (1.3km)	第7区 (1.1km)	第8区 (1.3km)	第9区 (1.5km)	第10区 (2.1km)
1	荻森 虎 むつ陸上クラブ 0:05:42 0:05:38	竹内 秀哉 大間小学校 0:06:00 0:04:49	木村 朱音 むつ陸上クラブ 0:06:44 0:06:17	小濱 楓真 大間小学校 0:11:29 0:11:25	平井 優真 むつ陸上クラブ 0:05:22 0:04:12	正根 優空 大間小学校 0:05:00 0:04:32	清水 瑛斗 奥戸チャレンジャーズ 0:04:55 0:04:39	沼澤 佑来 むつ陸上クラブ 0:05:25 0:04:43	熊谷 くるみ 大間小学校 0:07:07 0:05:18	赤田 健介 大間小学校 0:07:31 0:06:27

前回までの区間記録

# 第31回はまなす駅伝大会 中学生の部

No.	チーム名	監督	第1区 (3.3km)		第2区 (1.6km)		第3区 (3.07km)		第4区 (1.3km)		第5区 (3.7km)		第6区 (3.6km)		総合 順位
			順位	通過記録 区間記録	順位	通過記録 区間記録	順位	通過記録 区間記録	順位	通過記録 区間記録	順位	通過記録 区間記録	順位	通過記録 区間記録	
11	奥戸中学校	相馬 雄	1 岩川 真輝 0:11:38 0:11:38	1 太田 眞希 0:18:34 0:06:56	1 高松 剛成 0:31:17 0:12:43	1 岩瀬 ゆい 0:36:36 0:05:19	2 岩瀬 帆孝 0:50:39 0:14:03 新	1 菊池 瑠愛 1:04:31 0:13:52 大会新	1					1	
12	奥戸中学校	飛内 貴大	4 小林 拓斗 0:14:01 0:14:01	4 坂井 知葉 0:21:16 0:07:15	4 小林 悠斗 0:34:15 0:12:59	4 新田 凜 0:40:12 0:05:57	4 柴田 翔 0:56:19 0:16:07	4 笹谷 涼太 1:11:25 0:15:06	4					4	
13	大間中学校	高橋 英志	2 松本 陽向 0:12:43 0:12:43	2 伊藤 柚芽 0:19:48 0:07:05	2 米持 大翔 0:32:00 0:12:12	2 伊藤 樹乃 0:36:48 0:04:48	1 増田 誠弥 0:50:37 0:13:49 新	2 三國谷 翔斗 1:04:32 0:13:55 大会新	2					2	
14	風間浦中学校	二本柳 一直	3 佐賀 陽 0:13:30 0:13:30	3 蛸島 咲 0:19:57 0:06:27	3 傳法 凌毅 0:33:15 0:13:18	3 木下 朋花 0:37:29 0:04:14 新	3 南 響 0:55:46 0:18:17	3 阿部 大輔 1:10:44 0:14:58	3					3	

前回までの大会記録 1:06:21

区間賞	第1区 (3.3km)	第2区 (1.6km)	第3区 (3.07km)	第4区 (1.3km)	第5区 (3.7km)	第6区 (3.6km)
	11 岩川 真輝 奥戸中学校 0:11:38	14 蛸島 咲 風間浦中学校 0:06:27	13 米持 大翔 大間中学校 0:12:12	14 木下 朋花 風間浦中学校 0:04:14 新	13 増田 誠弥 大間中学校 0:13:49 新	11 菊池 瑠愛 奥戸中学校 0:13:52
前回までの区間記録	0:10:29	0:05:41	0:10:14	0:04:17	0:14:19	0:12:11



第31回はまなす駅伝大会 一般・高校の部

2016/9/25 10:00 スタート

No.	チーム名	監督	第1区 (3.3km) 順位 通過記録 区間記録	第2区 (4.6km) 順位 通過記録 区間記録	第3区 (1.3km) 順位 通過記録 区間記録	第4区 (3.7km) 順位 通過記録 区間記録	第5区 (3.6km) 順位 通過記録 区間記録	総合 順位
21	大間病院	佐藤 信彦	15 0:16:42 0:16:42	15 0:39:45 0:23:03	15 0:44:44 0:04:59	15 1:05:27 0:20:43	16 1:26:53 0:21:26	16
22	大間消防署	御殿敷 幸宏	8 0:13:00 0:13:00	10 0:33:45 0:20:45	8 0:38:50 0:05:05	5 0:53:51 0:15:01	5 1:07:22 0:13:31	5
23	わいどの櫛	西嶋 昌明	11 0:14:39 0:14:39	12 0:35:52 0:21:13	11 0:40:20 0:04:28	12 1:00:41 0:20:21	12 1:14:45 0:14:04	12
24	チーム扶飛	長谷川 雄一	12 0:15:33 0:15:33	8 0:33:05 0:17:32	6 0:38:20 0:05:15	10 0:55:50 0:17:30	9 1:10:52 0:15:02	9
25	海自はまざりA	川野 正広	3 0:11:14 0:11:14	2 0:29:15 0:18:01	2 0:34:10 0:04:55	2 0:47:50 0:13:40	2 1:02:00 0:14:10	2
26	海自はまざりB	川野 正広	4 0:12:20 0:12:20	5 0:31:24 0:19:04	5 0:36:44 0:05:20	4 0:52:46 0:16:02	4 1:06:44 0:13:58	4
27	ハラエテイ	松田 美緒	10 0:14:27 0:14:27	14 0:37:23 0:22:56	14 0:42:40 0:05:17	13 1:01:08 0:18:28	13 1:18:01 0:16:53	13
28	はまなす立地モンドクラブ	南 栄助	13 0:15:53 0:15:53	13 0:36:03 0:20:10	13 0:41:07 0:05:04	14 1:04:05 0:22:58	14 1:22:16 0:18:11	14
29	JPBピクトリース	松田 美緒	13 0:15:53 0:15:53	9 0:33:06 0:17:13	9 0:39:18 0:06:12	7 0:54:00 0:14:42	7 1:09:05 0:15:05	7
30	MKN Aチーム	橋 幸洋	6 0:12:32 0:12:32	11 0:34:09 0:21:37	12 0:40:43 0:06:34	11 0:57:33 0:16:50	11 1:12:59 0:15:26	11
31	MKN Bチーム	橋 幸洋	9 0:14:14 0:14:14	4 0:31:22 0:17:08	4 0:36:41 0:05:19	3 0:50:34 0:13:53	3 1:04:11 0:13:37	3
32	下北広域消防	金澤 貴	1 0:10:11 0:10:11	1 0:25:56 0:15:45	6 0:31:07 0:05:11	1 0:43:48 0:12:41	1 0:56:39 0:12:51	1
33	チーム いざわ	坂本 法雄	2 0:11:02 0:11:02	3 0:31:05 0:20:03	3 0:36:39 0:05:34	9 0:55:35 0:18:56	10 1:11:58 0:16:23	10
34	風間浦陸上競技協会	五十洲 光男	5 0:12:30 0:12:30	7 0:32:52 0:20:22	10 0:40:02 0:07:10	6 0:53:57 0:13:55	6 1:08:52 0:14:55	6
35	津軽海峡海鳴り太鼓保存普及会	小林 宣彦	16 0:23:09 0:23:09	16 0:46:12 0:23:03	16 0:53:03 0:06:51	16 1:08:39 0:15:36	15 1:25:02 0:16:23	15
36	くろばら	山田 司	7 0:12:42 0:12:42	6 0:32:30 0:19:48	7 0:38:45 0:06:15	8 0:54:33 0:15:48	8 1:09:59 0:15:26	8
40	チームたまされせん	今 崇	OP 0:12:51 0:12:51	OP 0:39:42 0:26:51	OP 0:39:42 0:26:51	OP 0:39:42 0:26:51	OP 1:14:41 0:34:59	OP

前回までの大会記録 0:58:46

区間賞	第1区 (3.3km)	第2区 (4.6km)	第3区 (1.3km)	第4区 (3.7km)	第5区 (3.6km)
	32 古澤 拓也 下北広域消防	32 山本 新 下北広域消防	23 小島 李奈 わいどの櫛	32 二本柳 学 下北広域消防	32 金澤 貴 下北広域消防
前回までの区間記録	0:10:11	0:15:45	0:04:28	0:12:41	0:12:51
	0:10:11	0:15:32	0:04:21	0:12:21	0:11:08

## 【はまなす駅伝の評価及び反省】

第31回はまなす駅伝大会に係るアンケートの実施

内 容(意見・要望等)

- ・現在小学校では、児童数の減少や子どもたちの対象スポーツの多様化等により、本大会での10人(控え選手を入れると15人程度)という人数をそろえることが難しいのが現状です。今年度は、選手の半数以上が他の課外クラブ(部活)・スポ少の活動と掛け持ちでした。
- ・実施日が小学校陸上大会の県大会と重なっていたため、本校からも男子の主力3名が県大会へ参加し、駅伝へは不参加だった。結果として、男子の参加希望者が6名しか集まらず、男子区間を女子が走ることになってしまいました。
- ・交通整理員について、児童数の減少によりPTA会員数も減少しているため、協力していただける保護者を確保するのがかなり難しい状態です。PTAの担当委員だけでは足りず、他の委員等にも協力をお願いしたが、割り振られた人数を出すことが出来ませんでした。
- ・開会式での大会スローガン読み上げについて、事前にきいていたのと立つ位置などが違っていたため、不安になって大きな声で言うことが出来ませんでした。当日、開会式前に簡単なリハーサル(練習)ができれば、本番でも安心して元気に発表できると思いますのでよろしくお願いします。
- ・参加申込み締め切り(9月9日)をもう少し遅く出来ないでしょうか。チームとしての申込みそのものはこれでも良いのですが、誰が何区を走るのか等はもう少し本番が近くなってから決定したいため、監督者会議のときぐらいでしょうか。
- ・昨年度の反省でも出しましたが、入賞した場合、控え選手にもメダルをいただけないでしょうか。今年度も16名で「チーム」として練習に取り組み、当日も、いざという時に走ることが出来るよう、準備を整えて全員で参加しています。箱根駅伝でも補欠選手にもメダルを授与しているようですので、ともに練習してきた控え選手にもメダルをいただければと思います。
- ・応援に来てくださった方から「今、何位ぐらいを走っているか、分かれば良いのに」という声がありました。町内放送やインターネットを利用することで各区の通過情報を公表できると、待っている応援者や選手にとっても良いことだと思います。
- ・事前に駅伝のたすきを貸していただき、ありがとうございました。練習に役立てることができ大変助かりました。
- ・走っている限りは特段不都合はなかったが、コースとして設定する以上道路の凹凸がどうか分からないだろうという印象はあり。
- ・なかなか難しいと思うが、中継点手前(例えば200mとか)で各チームの通過情報を中継点で流してもらえれば、バックアップメンバーが少ないチームは助かるのではないのでしょうか。
- ・車輛よりも、自転車乗りの横切り対策を交通整理員に事前に徹底したほうが良いと思います。(選手も危ないが、高齢者が多いので相手も転倒すると大変。実際にぶつかりそうになりました。
- ・記録の集計を順調に行うことが出来たこともあり、良かったのではないかと考えています。ただ、人数不足もあり記録の計測に問題があったので、陸上競技協会として改善を図る必要があると感じています。
- ・小学校の部について、児童数の減少を考慮してメンバー数やコースの見直しが迫られていると感じました。
- ・今回は県主催の大会と日程が被ったこともあり、人員不足はしょうが無かったのかなと思っています。町内の児童生徒や審判員が関係するような陸上競技大会については、早めに情報をつかむようにしたいがなかなか難しい。
- ・コース全体を見ることがなかったが、町全体となると広範囲で多くの協力が必要となる。コースの見直し等と併せ検討が必要だと思います。
- ・協力依頼について、現状名前だけで活動のない団体も多いと思う。スローガンに関する啓発には有効だと思うが、一度精査してみる必要もあると思います。
- ・大会の公報(周知)と併せて、7月頭ぐらいから行えれば良いと思います。
- ・チーム募集は、現状どおりでよいのではないかと思います。広く参加を呼びかけるのであれば、チームからの参加料徴収が必要だと思います。
- ・ナンバーカードを印刷機ではない方法で作れば良いと思いますが、費用がかからない方法を検討しましょう。(インクがタスキ等になってしまうため)
- ・もっと、陸協の体制がしっかりしていればいろいろと意見も出来るのですが・・・会員の増加や質の向上のため地道にがんばります。

等の意見・要望があったことを踏まえ、次年度に向け対応しなければならない。また、年々児童数が減少しており、特に奥戸地域では1チーム10人(控え込み15人程度)での編成が難しくなっていることから、今後はコース・区間の変更等も考慮して展開していかなければならない。

## ⑤公民館講座

- 1 趣 旨 大間町町民憲章の具現化を図る一環として、【公民館の設置及び運営に関する基準(平成15年6月6日 文部科学省告示第112号)】に基づき、公民館活動を推進し、公民館講座を開催するものとする。町民が「学ぶ楽しさ」を持ち、豊かな心とふれあいと生きがいのある生涯学習の実現のため、社会教育諸条件の整備・充実を図るとともに連携・融合に努め、総合的な社会教育を推進することを目的に開催するものとする。
- 2 主 催 大間町教育委員会
- 3 開催日 平成 28 年 10 月 4 日 ～ 10 月 25 日 まで
- 4 講座種目 ① かんたん押絵 講師 土佐 そう子 氏 10/14、10/25  
② 編み物とパッチワーク 講師 眞柄 生枝 氏 10/4、10/12、10/18、10/25

### かんたん押絵

開催日 10月14日(金) 10月25日(火)

午後1時30分から3時30分まで

場 所 大間町立公民館

参加費 500円～700円

講 師 土 佐 そう子 氏

参加者  
氏 名

- ① 金田一 一子
- ② 阿部 光子
- ③ 興村 キワ
- ④ 蛭子 信子
- ⑤ 松本 綾子
- ⑥ 小林 美希子
- ⑦ 傳法 真美
- ⑧ 小濱 茂子
- ⑨ 筑田 まさ子
- ⑩ 小出 登志子
- ⑪ 伊藤 友子



## 編み物とパッチワーク

開催日 10月 4日(火) 10月12日(水) 10月18日(火) 10月25日

場 所 大間町立公民館 午前10時から午後0時まで  
奥戸交流館 午後6時30分から午後8時30分まで  
参加費 編み物～500円 パッチワーク～1,000円  
講師 眞柄 生枝 氏

### 参加者氏名

#### 町立公民館

- ① 伊藤 あき子
- ② 菊池 紀子
- ③ 傳法 冴子
- ④ 小鷹 秀子

#### 奥戸交流館

- ① 鶴ヶ崎 敬子
- ② 佐々木 榮子
- ③ 林 由起子
- ④ 佐藤 恵美子





## 平成28年度 公民館講座のおしらせ

今年度の公民館講座は下記のとおり計画されております。  
初心者大歓迎。皆様お誘い合わせのうえ、たくさんの参加をお待ちしております。

9月26日(月)までに電話で申込みください。

	かんたん押絵	編み物とパッチワーク
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・布や和紙でつくる飾りです。</li> <li>・ドアやお部屋のアクセントに手作りの作品を作ってみませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どちらか好きな方をお選びください。</li> <li>編み物…サークルウォーマー(手袋)</li> <li>パッチワーク…四角つなぎの小さ目バック</li> </ul>
日にち	10月14日(金) 10月25日(火)	10月 4日(火) 10月12日(水) 10月18日(火) 10月25日(火)
時 間	午後1時30分から 3時30分まで	【大間町立公民館】 午前10時から 午後0時まで 【奥戸交流館】 午後6時30分から 午後8時30分まで
場 所	大間町立公民館	※どちらの会場も、編み物とパッチワーク それぞれ先着10名までとさせていただきます。
参加費	500円～700円	編み物～500円 パッチワーク～1,000円
講 師	土佐 そう子 氏	眞柄 生枝 氏



押絵のイメージ



サークルウォーマーのイメージ

教育委員会 細川葉子(37-2103)まで

## ⑥第41回町民文化祭

- 1 開催日 平成 28 年 11 月 5 日 (土) ～ 11 月 6 日(日) まで
- 2 開催時間 午前 10 時 ～ 午後 4 時
- 3 開催場所 大間町立公民館
- 4 主 催 大間町町民文化祭実行委員会
- 5 後 援 大間町 ・ 大間町教育委員会 ・ 大間町文化協会  
北通り総合文化センター ウイング

町民文化祭は、文化の日になんで毎年11月の最初の土・日に大間町音楽祭と同日開催している。教育委員会で実施している「公民館講座」参加者の作品や、書道作品、絵画、写真、手芸作品、俳句、茶道、華道作品や山野草の展示、更には、読書サークルや生活改善グループ・障害者の作品展示等、地域町民が誰でも参加できる縛りのない「大間町の文化の広場」的な役割を果たしている。

28年度は、大間地域の「稲荷神社例大祭」に運行する「山車行事」が青森県無形民族文化財の指定を受けたこともあり、山車行事(稲荷丸)の見送り幕と提燈の展示を行い、文化祭に花を添えたこともあり好評に終わった。来館者は210人と数年前から比べると50名ほど減少したものの、ここ数年では増加傾向にあり、文化祭への参加の呼びかけや展示物の検討等行い取り組んでいることが来客数増へと繋がっていると思われることから、引き続き創意工夫しながら取り組んでいかなければならない。



# 平成28年度

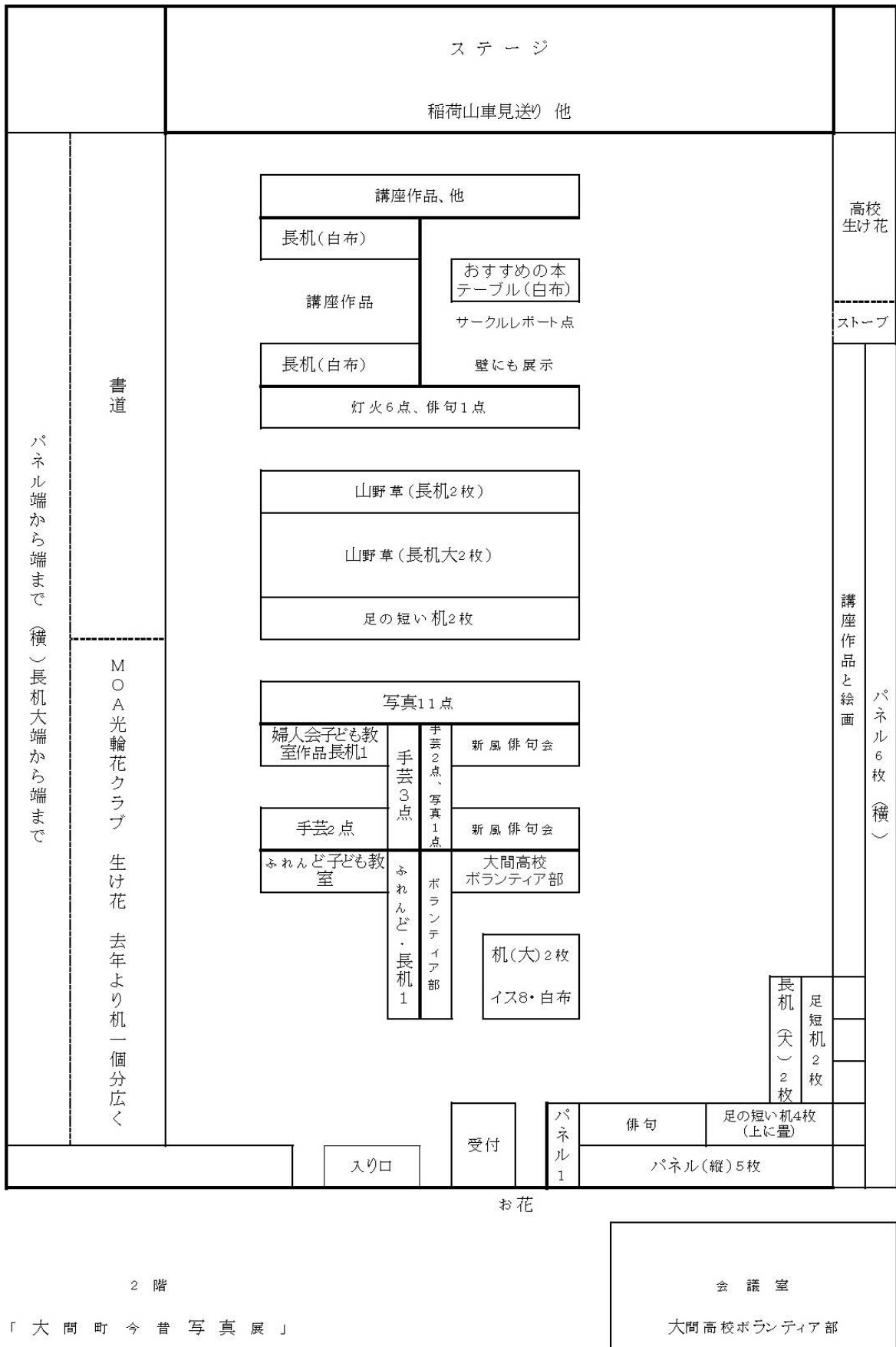
## 第41回町民文化祭開催要項

1. 主 催	大間町立公民館
2. 主 管	大間町民文化祭実行委員会
3. 後 援	大間町・大間町教育委員会・大間町文化協会 北通り総合文化センター「ウイング」
4. 会 場	大間町立公民館
5. 期 日	平成28年11月5日(土)～11月6日(日) 午前10時～午後4時まで(開館時間) ※茶道(お茶)は日曜日3時で終了する。
6. テ ー マ	「みんなで楽しもう豊かな文化」
7. 内 容	①絵 画(洋画、日本画、版画・・・100号以内) ②書 道(半折以内) ③写 真 ④文 芸 ⑤手工芸 ⑥茶 道 ⑦生け花 ⑧文化財 ⑨山野草 ⑩コレクション ⑪その他
8. 出品資格	大間町に在住、又は町内文化団体に所属する者。
9. 作品規定	作品は、未発表のものに限る。 【 絵 画 】 ①1点ごとに額縁に入れる。 ②額縁の裏面にヒモをつける。 ③一人3点以内とする。 【 書 道 】 ①作品は自由とする。 ②一人3点以内とする。 【 写 真 】 ①キャビネ以上とする。 ②パネル張り、又は額縁にいれ、裏面にヒモをつける。 ③一人3点以内とする。 <u>※大間町の昔の写真は大募集! 昔の街並みや、祭りなど。 2階で「大間町今昔写真展」として掲示する予定です。</u> 【 文 芸 】 ①一人3点以内とする。 【 手 工 芸 】 ①一人3点以内とする。
10. 出品料	無 料
11. 搬入搬出	平成28年11月1日(火)を締め切りとし、公民館へ搬入。 搬出は11月6日(日)午後4時以降とする。
12. その他	出品者全員に記念品を贈呈します。(1人1点のみ)

文化に興味のある方、今まで出品したことのない方、お気軽にご参加ください。

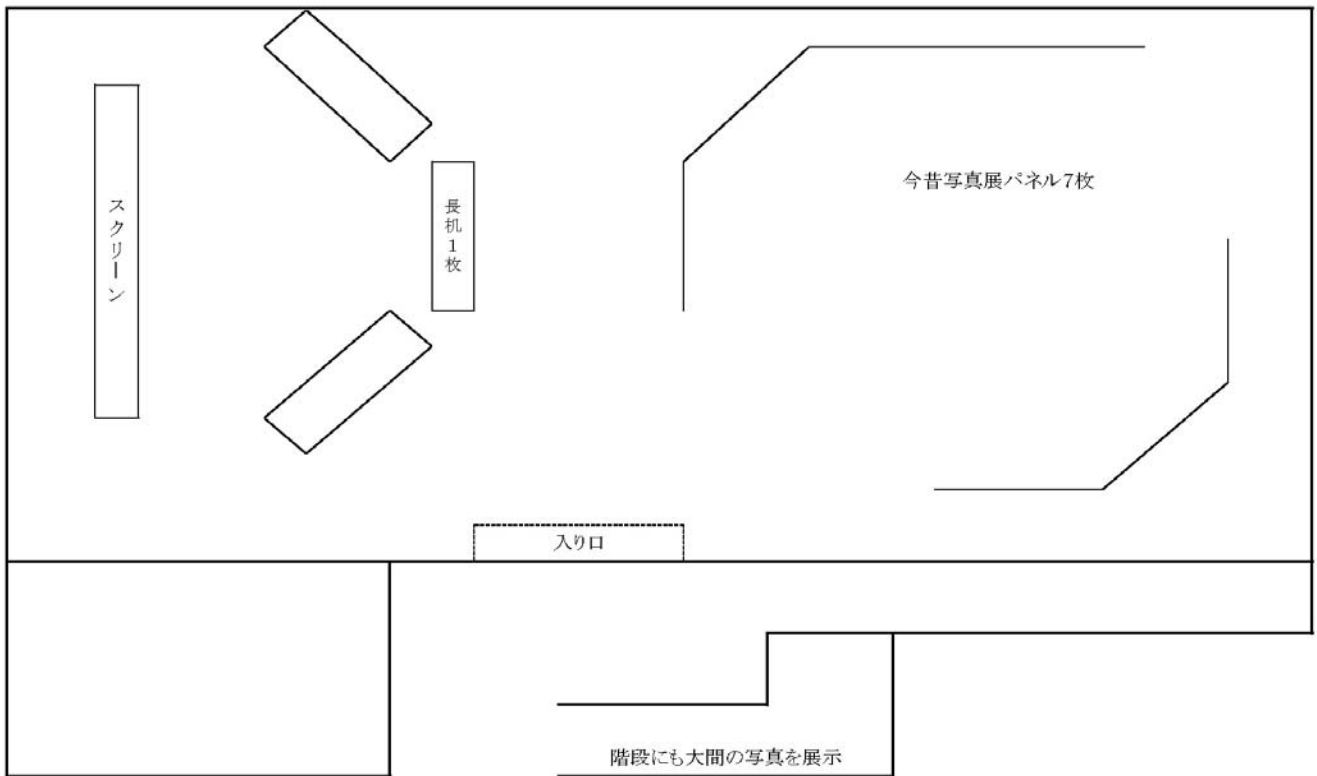
みなさんのたくさんのご参加お待ちしております。

平成28年度 第41回町民文化祭会場 配置図





平成28年度 大間今昔写真展配置図



大間町文化祭実行委員会名簿

	氏名	種目
1	宮野良子	手工芸
2	木村泰佳子	文芸
3	金田一一子	茶道・文芸
4	筑田まさ子	生け花
5	山崎アイ子	読書団体
6	葛西徳哉	大間高等学校
7	濱端将史	絵画

## 28年度大間町文化祭出展者（敬称省略・順不同）

### ◇絵画◇

正根津代子 清水三重子 田中ゆきみ

### ◇書道◇

泉 志保子 中嶋 守彦 目時 千鶴子 齊藤 美智子  
金澤 紀久子 小松 朱美 新田 珠美

### ◇写真◇

高橋 秀典 海老川 文彦 筑田 まさ子 目時 千鶴子

### ◇文芸◇

#### ☆俳句

木村 泰佳子 佐山 和子 岩川 春江

#### ◎新風俳句会

筑田 まさ子 興村 キワ 藤島 津賀子 土佐 白園  
舘岡 不二子 永倉 みつ 河村 播種 工藤 竹美  
蛭名 雪音 目時 栄子 金田一 一子 小出 登志子

#### ☆詩

千葉 喜勢子

### ◇手工芸◇

#### ☆手芸

横浜 俊子 横浜 純子 宮野 良子 傳法 一美  
山本 ゆかり 村川 葉子 濱端 将史 小濱 茂子  
成田 留美子

#### ◎編み物・パッチワーク・押絵（公民館講座）

傳法 真美 松本 綾子 佐藤 恵美子 眞柄 生枝  
能戸 しず子 小鷹 秀子 小濱 茂子  
興村 キワ 岡村 洋子 小林 美希子  
筑田 まさ子 新田 正子 林 由起子  
越善 郁子 伊藤 あき子 菊池 紀子  
傳法 冴子 金田一 一子 阿部 光子  
小出 登志子 蛭子 信子 佐々木 榮子  
鶴ヶ崎 敬子 細川 葉子 伊藤 友子 土佐 白園

#### ◎MOA光輪花クラブ

筑田 まさ子 高松 勇吉 七嶋 安子 筑田 アキ  
亀谷 聖子 小黒 由紀子 寺岡 秀子

◇茶道◇

金田一 一子 阿部 光子 興村 キワ 筑田 まさ子  
小出 登志子

◇生け花◇

千葉 喜勢子 山崎 アイ子  
☆大間高等学校

山火 純夏 大川 亜実 四ツ谷 奈那衣  
高橋 陽月 小枝 穂花

◇山野草◇

☆植物愛好会

柳 一利 柳 のぶ

◇コレクション◇

山崎 アイ子

◇サークルレポート◇

☆大間読書サークル

伊藤 一章 山崎 アイ子 七島 トシ 川谷 美穂 山田 久美子  
阿部 いく子

◇放課後子ども教室◇

大間町地域婦人会 ふれんど

◇県立大間高等学校◇

ボランティア活動部

◇稲荷丸◇

## ⑦第38回大間町音楽祭

- 1 開催日 平成 28 年 11 月 6 日 (日)
- 2 開催時間 午前 9 時 ~ 午後 0 時 30 分
- 3 開催場所 北通り総合文化センター ウイング
- 4 主催 大間町教育委員会
- 5 共催 北通り総合文化センター ウイング
- 6 主管 大間町音楽祭実行委員会
  - ① 大間町教育委員会 細川 葉子
  - ② ウイング 後藤 小巻・越膳 香織
  - ③ 大間保育園 間山 牧子
  - ④ 大間幼稚園 柳 牧子
  - ⑤ うみの子保育園 伊藤 美花子
  - ⑥ 大間小学校 中居 継美
  - ⑦ 奥戸小学校 中村 清子
  - ⑧ 大間中学校 林 香織
  - ⑨ 奥戸中学校 三上 真未
  - ⑩ 大間高等学校 石戸谷 佳奈
  - ⑪ ヤマハ音楽教室 佐藤 さゆり
  - ⑫ 廣谷ピアノ教室 廣谷 華子
  - ⑬ 津軽海峡海鳴り太鼓 藤田 幸博
- 実行委員会開催 第1回 平成 28 年 8 月 25 日 (木) 午後4時~  
第2回 平成 28 年 10 月 20 日 (木) 午後4時~
- 7 後援 大間町文化協会 下北北通り地域振興財団  
函館市教育委員会戸井教育事務所
- 8 趣旨 大間町町民憲章に定める「教養と文化の高い清らかな町」づくりをめざし実施する町民文化祭行事の一環として、大間町音楽祭を開催し、音楽に親しみ、音楽の持つ高い香りに触れながら、心の潤いと故郷愛を養っていくことを目的に実施するものである。



# 第38回大間町音楽祭

★ 海峡に輝け サウンドの虹

# サウンド フェスタ

◎ ところ 北通り総合文化センター・  
ウイング

◎ とき 平成28年11月6日(日)  
AM9:00 開演

in  
おおま



主催／大間町教育委員会 主管／大間町音楽祭実行委員会



【音楽祭】11/6(日)9:00~

プログラム

1 大間小学校 5年生 (津軽海峡海鳴り太鼓演奏)

『祝励』・『漁火太鼓』・『豊漁戻り舟』

2 実行委員長あいさつ

実行委員長 ..... 興村 慎吾

3 大間町立大間幼稚園

合奏『おもちゃのチャチャチャ』 ..... 作詞：野坂 昭如／作曲：越部 信義  
合唱『山の音楽家』 ..... 作詞：水田 詩仙／作曲：ドイツ民謡

4 廣谷ピアノ教室

『すみれ』 ..... 作曲：ストーリーブック  
『かっこうワルツ』 ..... 作曲：ヨナッソン  
『ポロネーズト短調』 ..... 作曲：ショパン

5 ヤマハ音楽教室

『ワルツOp.64-1』 ..... 作曲：ショパン

6 大間保育園

『さんぽ』(となりのトトロより) ..... 作曲：久石 譲  
『「ドラゴン・クエスト」序曲』 ..... 作曲：すぎやまこういち  
(全日本幼児教育連盟 編曲)

7 大間町立奥戸小学校

『Believe』 ..... 作詞／作曲：杉本 竜一  
『未知という名の船に乗り』 ..... 作詞：阿久 悠／作曲：小林 亜星

8 うみの子合唱団

『にじ』 ..... 作詞：新沢としひこ  
作曲：中川ひろたか

9 大間小学校 音楽部

『ぼくらのエコー』 ..... 作詞：荒井 良二／作曲：太田 桜子  
『Change!』 ..... 作詞／作曲：梅野 知子

## 10 コーラスグループT・O・I

- 『365日の紙飛行機』…………… 作詞：秋元 康  
作曲：角野 寿和、青葉 紘季  
『もみじ』…………… 作詞：高野 辰之／作曲：岡野 貞一  
『夕焼け小焼け』…………… 作詞：中村 雨紅／作曲：草川 信  
『瑠璃色の地球』…………… 作詞：松本 隆／作曲：平井 夏美

## 11 函館市戸井教育事務所長あいさつ

函館市戸井教育事務所長…………… 仲村 公志

## 12 吹奏楽合同演奏

大間町立大間中学校吹奏楽部 大間町立奥戸中学校吹奏楽部  
青森県立大間高等学校吹奏楽部

- 『笑点のテーマ』…………… 作曲：中村 八大／編曲：三浦 秀秋  
『松田聖子コレクション』…………… 編曲：金山 徹

## 13 東京藝術大学出身演奏家 —シュガーシスターズコンサート—

- 野口雨情の世界（シュガーシスターズオリジナルVer.）—（編曲：小林由希絵）  
・シャボン玉…………… 作曲：中山 晋平  
・兎のダンス…………… 作曲：中山 晋平  
・七つの子…………… 作曲：本居 長世  
・青い眼の人形…………… 作曲：本居 長世  
・あの町この町…………… 作曲：中山 晋平  
●—音楽の教科書より—  
・翼をください…………… 作詞：山上 路夫／作曲：村井 邦夫  
・赤とんぼ…………… 作詞：三木 露風／作曲：三木 露風  
編曲：上田 真樹  
●—ピアノソロ 華麗なるショパンの調べ—  
・バラード3番 変イ長調作品47…………… 作曲：ショパン  
●—秋のメドレー—（編曲：神坂真理子）  
・小さい秋みつけた～紅葉～まっかな秋～秋の子～虫の声～旅愁～星の世界～  
あきのこびとオータムタム～どんぐりころころ～村祭

## 14 エンディングコーラス

- 『二つの町に』～ The bridge dream you and me ～  
…………… 作詞：奥谷 雅喜／作曲：辻浦 雅仁





## 恩田佳奈プロフィール

東京藝術大学卒業を経て、同大学院修士課程修了。2005年飯塚新人音楽コンクールピアノ部門大賞、2006年ピティナ・ピアノコンペティション特級部門にて銀賞受賞。

2009年にドイツ・フライブルク音楽大学に留学。2013年ソリスト・ディプロマコースを首席で修了すると共にドイツ国家演奏家資格を取得。在学時にレプティンピアノコンクール(ドイツ)第1位受賞してからは、ドイツなどで演奏活動を開始。



これまでに広島交響楽団、東京ニューシティ管弦楽団、スロヴァキアレディス室内楽団、フライブルク音楽大学管弦楽団と共演。

また、フライブルク音楽大学管弦楽団と共演したベートーヴェンピアノ協奏曲第5番では、『卓越し精練された音のバランスとともに勇敢で英雄的なOndaのベートーヴェン、華やかなドイツソリストデビュー —Badische Zeitung』と地元紙で高く評価された。

現在、東京藝術大学音楽学部ピアノ科非常勤講師として後進の指導にあたりるとともに、ソロ演奏や室内楽にも精力的に取り組んでいる。

## ♪♪♪ シュガーシスターズコンサート ♪♪♪

### —野口雨情の世界 (シュガーシスターズオリジナルVer.) — (編曲：小林由希絵)

- |         |         |
|---------|---------|
| ・シャボン玉  | 曲：中山 晋平 |
| ・兎のダンス  | 曲：中山 晋平 |
| ・七つの子   | 曲：本居 長世 |
| ・青い眼の人形 | 曲：本居 長世 |
| ・あの町この町 | 曲：中山 晋平 |

### —音楽の教科書より—

- |         |                          |
|---------|--------------------------|
| ・翼をください | 詩：山上 路夫／曲：村井 邦夫          |
| ・赤とんぼ   | 詩：三木 露風／曲：三木 露風／編曲：上田 真樹 |

### —ピアノソロ 華麗なるショパンの調べ—

- |                  |        |
|------------------|--------|
| ・バラード3番 変イ長調作品47 | ショパン作曲 |
|------------------|--------|

### —秋のメドレー— (編曲：神坂真理子)

- |   |
|---|
| ・小さい秋みつけた～紅葉～まっかな秋～秋の子～虫の声～旅愁～星の世界～あきのこびとオータムタム～どんぐりころころ～村祭 |
|---|

## 二つの町に

= The bridge for dream, you and me =

### 1. 風薫る二つの町に

今潮騒の鼓動が響く  
大きく広がる友好の集い  
ためらうことなく 固い握手  
あなたも わたしも  
眩しさへの旅へでよう  
あなたも わたしも  
さあ 肩をくんで



### 3. 星さやか二つの町に

今いさり火の揺れる波  
果てしなくこだまする夢のかけ橋  
ためらうことなく瞳輝き  
あなたも わたしも  
銀河の旅へでよう  
あなたも わたしも  
さあ 素敵な笑顔で  
あなたも わたしも  
眩しさへの旅へでよう  
あなたも わたしも  
さあ 肩をくんで

### 2. 海光る二つの町に

今春潮の満ちるささやき  
やわらかく結ばれる心と心  
ためらうことなく確かな語らい  
あなたも わたしも  
花模様の旅へでよう  
あなたも わたしも  
さあ もろ手をあげて  
The bridge for dream  
You and me  
The bridge for dream  
You and me  
The bridge for dream  
You and me  
さあ 肩をくんで

作詞 奥谷雅喜  
作曲 辻浦雅仁

## 9 音楽祭アンケートの実施

音楽祭終了後に、実行委員会及び参加者に対して「アンケート調査」を実施した。開催日の設定から藝大コンサートまで全体にかかる意見・要望等を挙げて貰った。要望・意見の多くは進行上の改善点であった。また、藝大出身者のコンサートについて他の音楽家もきいてみたいなどの意見もあり、次年度以降の検討材料としたい。

## ⑧第31回大間町少年柔道大会

1 趣 旨 柔道を通じて礼節を知り、心身ともに健全な人格の育成を目指す。

2 開催日 平成 28 年 12 月 4 日 (日)

3 開催時間 午前 7 時 ～ 午後 4 時

- ・開 門 午前7時00分 ～
- ・受付・計量 午前7時30分 ～ 8時20分
- ・監督・審判会議 午前8時25分 ～ 8時45分
- ・開会式 午前8時45分 ～ 9時00分
- ・競技開始 午前9時30分 ～ (昼休憩なし)
- ・閉会式 午後4時00分 (競技終了後)

4 開催場所 大間町立大間中学校体育館

5 主 催 大間町教育委員会

6 主 管 大間町柔道協会

7 後 援 ① 大間町体育協会 ② 大間地区連合防犯協会  
③ 大間誠心館道場育成会 ④ 大間町青少年健全育成会議  
⑤ 下北地方中学校体育連盟

8 実行委員会

会長	高松 大助	(柔道協会)	委員	大内 二郎	(大間誠心館道場館長)
副会長	御厩敷 昇	(柔道協会)		田中 勇樹	(誠心館道場育成会会長)
副会長	七島 賢人	(柔道協会)		岩本 浩也	(大間中学校長)
理事長	目時 浩美	(柔道協会)		飯田 一彦	(奥戸中学校長)
副理事長	濱端 将史	(柔道協会)		佐々木 倫哉	(大間中学校教頭)
副理事長	大内 進	(柔道協会)		加藤 悠太郎	(大間中学校柔道部副顧問)
				伴 武彦	(教育課長)
				石戸 秀一	(教育課 係長)

委員会開催

第1回 平成 28 年 10 月 19 日 (水) 午後6時30分～  
第2回 平成 28 年 11 月 29 日 (火) 午後6時30分～

9 参加資格 参加選手及び監督は全日本柔道連盟に登録済であること。

但し小学生は全日本柔道少年団加盟団体であること。

\*参加選手は全員損害保険に加入していること。

10 競 技 ①団体戦

- ・小学校の部 1チーム5人 2チームまでとする
  - ・中学校の部 男子1チーム5人、女子1チーム3人 男女各2チームまでとする
- ※小学生団体は、学年別順に先鋒2年生→大将6年生とする。  
※選手編成は、もともと体重の多い者を大将とし、以下順次体重順に編成すること。  
※3年生も団体戦出場可とする。

② 個人戦

- ・ 幼児の部 男女一緒の競技となります。
- ・ 小学校の部 学年・男女別とし、人数制限はありません。

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	階級数
男子	1	2	3	4	5	6	6
女子	1・2		3・4		5・6		3

※人数により主催者側で階級を変更する場合があります。

- ・ 中学校の部

区分	軽量級	軽中量級	中量級	重量級	階級数
男子	55kg以下	66kg以下	81kg以下	81kg以上	4
女子	57kg以下		57kg超級		2

※人数により主催者側で階級を変更する場合があります。

- ③ 試合方法 団体戦・個人戦ともトーナメント方式とする。

- ④ 試合時間 小学生以下は、個人戦・団体戦とも2分間とする。  
中学生は、準々決勝まで2分間とし、準決勝からは3分間とする。

- ⑤ 審判判定 平成28年度国際柔道審判規定及び同少年規定による。

- ⑥ 表彰 団体戦・個人戦とも第1位から第3位まで表彰する。  
団体戦1位、個人戦小学校男子6年1位（泉浩杯）には優勝カップを授与する。ただし、持ち回りとし次年度返還していただく。

- ⑦ 参加料 団体 1チーム 3,000 円  
2チーム 5,000 円 (中学生女子は2チームまで3,000円)  
個人戦のみ参加 500 円

11 審判員	生田 勝幸 佐々木 敦彦 三浦 雄大 泉山 文俊 松山 浩志 田栗 昌弘 白石 誠恭 菊池 隆幸 (以上順不同)	石澤 葵 中村 努 太田 明 天間 明彦 高谷 明 吉田 久美子 奈良 英正 田村 暢夫	立崎 賢一 市ノ渡 秀一 雪田 典秀 横浜 信弥 佐藤 恵一 長内 成元 福田 裕介 小槁 光廣	並岡 和幸 根岸 貴之 坪 浩美 山田 智仁 田栗 宏幸 飛内 律光 金本 敬夫 七島 賢人
12 補助員	畠山 章 高松 慎悦 村川 遼 細川 大広 新田 隼人	矢越 文男 大内 進 苅和野 さゆり 石戸 秀一 大間高等学校生徒	田中 一義 増山 渉 新田 晃樹 浅見 法 大間中学校生徒	熊谷 直喜 小林 宣慶 古川 一雅 伊藤 耕陽
13 その他	鈴木 夏紀 佐藤 敬子	伴 武彦	伊藤 友子	細川 葉子



第31回  
**大間町少年柔道大会**

期日：平成28年12月4日(日) 場所：大間中学校体育館  
時間：午前8時45分

主催：大間町教育委員会 / 主管：大間町柔道協会

後援：大間町体育協会 大間地区連合防犯協会 大間誠心館道場育成会 大間町青少年健全育成会議 下北地方中学校体育連盟

# 第31回大間町少年柔道大会成績結果表

## 1. 団体戦

### [小学校の部]

優勝 むつ少年柔道教室  
準優勝 鶴田町柔道少年団B  
第三位 鶴田町柔道少年団A  
第三位 全日本柔道少年団三沢分団B

### [中学校男子の部]

優勝 野辺地町立野辺地中学校  
準優勝 八戸市立湊中学校A  
第三位 平内町立小湊中学校  
第三位 三沢市立第一中学校

### [中学校女子の部]

優勝 三沢市立第一中学校A  
準優勝 八戸市立東中学校  
第三位 鶴田町立鶴田中学校  
第三位 三沢市立第一中学校B

## 2. 個人戦

### [幼児の部]

優勝 竹内晟太郎 (大間)  
準優勝 野辺地宇綺 (むつ)  
第三位 泉山きらり (三沢)  
第三位 高谷 凜 (藤崎)

### [小学校男子1年生の部]

優勝 林下 優生 (大間)  
準優勝 酒田慶次郎 (大間)  
第三位 沼端 聖麗 (野辺地)  
第三位 蔦木隼之介 (小中野)

### [小学校男子2年生の部]

優勝 伊藤 豪 (大間)  
準優勝 竹内十兵衛 (大間)  
第三位 土橋 璃輝 (むつ)  
第三位 西山 千愛 (野辺地)

### [小学校男子3年生の部]

優勝 岡崎良太郎 (黒石)  
準優勝 中川 道太 (むつ)  
第三位 沖崎 墨斗 (平内)  
第三位 鹿内 憲信 (藤崎)

### [小学校男子4年生の部]

優勝 野辺地宇宙 (むつ)  
準優勝 高橋 一徹 (藤崎)  
第三位 高谷 駿 (藤崎)  
第三位 八木橋 煌 (鶴田)

### [小学校男子5年生の部]

優勝 長内 健多 (青森)  
準優勝 佐藤 信吾 (鶴田)  
第三位 市ノ渡大誠 (むつ)  
第三位 蝦名 廉 (鶴田)

〔小学校男子6年生の部〕

優 勝 沼端 麗 (野辺地)  
準優勝 豊島 啓仁 (金木)  
第三位 村岡 萌聡 (黒石)  
第三位 駒井 仁人 (鶴田)

〔小学校女子1・2年生の部〕

優 勝 大石 涼音 (三沢)  
準優勝 坂澤 有紀 (小中野)  
第三位 金本 啓花 (金木)  
第三位 小山内 空 (鶴田)

〔小学校女子3・4年生の部〕

優 勝 大石 萌香 (三沢)  
準優勝 高橋 葵 (三沢)  
第三位 深淵 沙朱 (平内)  
第三位 田中 美海 (大間)

〔小学校女子5・6年生の部〕

優 勝 蒔田 愛香 (金木)  
準優勝 神 美華 (鶴田)  
第三位 増田 結月 (鶴田)  
第三位 伊藤 陽愛 (大間)

〔中学校男子軽量級〕

優 勝 村山 璃空 (野辺地中)  
準優勝 四ツ橋蓮飛 (白銀中)  
第三位 小坂 瑠翔 (下長中)  
第三位 高橋 一郎 (三沢第一中)

〔中学校男子軽中量級〕

優 勝 増田 彪冴 (鶴田中)  
準優勝 村山 陽祐 (野辺地中)  
第三位 仲崎 輝 (野辺地中)  
第三位 小嶋クインシー (三沢第一中)

〔中学校男子中量級〕

優 勝 亀田慎太郎 (小湊中)  
準優勝 齋藤 優太 (田名部中)  
第三位 米田 拳斗 (三沢第一中)  
第三位 今田 旺希 (小湊中)

〔中学校男子重量級〕

優 勝 深川 佳豊 (湊中)  
準優勝 山崎 流空 (湊中)  
第三位 坂本 伊織 (三沢第五中)  
第三位 服部 倅樹 (下長中)

〔中学校女子57kg以下〕

優 勝 沼端柚有莉 (三沢一中)  
準優勝 佐々木芹菜 (三沢一中)  
第三位 宮崎 夕海 (鶴田中)  
第三位 加藤 美結 (三沢第一中)

〔中学校女子57kg超〕

優 勝 小坂理佳子 (八戸東中)  
準優勝 三浦 萌子 (三沢第一中)  
第三位 工藤 琉芽 (大間中)  
第三位 中村 菜美 (三沢第一中)

## ⑨第45回新春書初め席書大会

- 1 趣 旨 日本伝統美である「書道」を楽しみながら学び、生活の中に取り入れ、書くことを通して「書道」の技と美に対する関心を高める。
- 2 主 催 大間町立公民館
- 3 開催日 平成 29 年 1 月 5 日 (木)
- 4 開催時間 午前 9 時 ~
- 5 開催場所 ・町立大間中学校体育館 ・町立奥戸中学校体育館
- 6 後 援 ① 大間幼稚園 ② 大間保育園 ③ うみの子保育園  
④ 大間小学校 ⑤ 奥戸小学校 ⑥ 大間中学校 ⑦ 奥戸中学校  
⑧ 大間高等学校 ⑨ 大間書道塾 ⑩ 玄遊会書道教室  
⑪ 目時習字教室
- 7 作品規定 ① 用紙は、横24cm、縦100cm 当日会場で一人5枚配布。  
(幼児の部は、横24cm、縦50cm)  
② 書体は、幼児、小学生、中学校1年生までは「かい書」  
中学校2年生以上は、「かい書」又は「行書」
- 8 参加料 無 料
- 9 審査表彰 作品は審査のうえ展示し、優秀作品は表彰  
・特別賞 (全体から)  
・特選、準特選、佳作 (学年毎)
- 審査委員長 坂本 富次 審査員 川森 和郎
- 10 展 示 会場 大間町立公民館 1階  
期間 平成28年1月7日(土) ~ 8日(日)  
時間 午前9時 ~ 午後4時
- 11 課 題 幼児 い か 小学校 5年 海の生活 高校生・一般  
小学校 1年 こんぶ 小学校 6年 北海太平 詩句・書体共自由  
小学校 2年 つりぶね 中学校 1年 大漁初夢  
小学校 3年 なみの音 中学校 2年 海鳴太鼓  
小学校 4年 いそ千鳥 中学校 3年 豊漁歓喜
- 12 実行委員会の開催 平成 28 年 12 月 13 日 (火) 午後 4時から



13 書初め席書大会審査結果

◎ 特別賞	・ 大間中学校 3年	青山 美月			1 名
○ 特選	・ 小学校2学年 ・ 小学校3学年 ・ 小学校6学年 ・ 中学校1学年	伊藤 紫音 泉 友璃咲 手塚 はる陽 竹重 志芳			4 名
○ 準特選	・ 幼 児 ・ 小学校1学年 ・ 小学校1学年 ・ 小学校2学年 ・ 小学校3学年 ・ 小学校4学年 ・ 小学校5学年 ・ 小学校6学年 ・ 中学校1学年 ・ 中学校2学年	伊藤 想芽 竹内 希実 柴田 瑠斗 熊谷 花 泉 恵璃咲 新田 くらら 山崎 葵 伊藤 美羽 伊藤 美咲 林 日向葵			10 名
○ 佳作	・ 幼 児 ・ 小学校1学年 ・ 小学校2学年 ・ 小学校3学年 ・ 小学校4学年 ・ 小学校5学年 ・ 小学校6学年 ・ 中学校1学年 ・ 中学校3学年 ・ 高校・一般の部	若山 琉希 田中 莉麻 小松 結衣 米持 奈桜 藤枝 日向 石戸 碧那 室舘 夢 石戸 琢磨 古川 遥菜 大久保 琉奈 藪下 星里奈	柴田 遥知 伊藤 瑛理香 新田 愛叶  細間 心寧  山崎 百代 伊藤 七海 能戸 佑希那 岡村 智優	佐藤 香月      傳法 凜 新田 珠美	22 名 37 名
			入選者合計		37 名

## 審査総評

- 幼児 ・就業前だが、基本ができている子が見受けられた。
- 小学校1年 ・大きく元気よく書けている。「ふ」の字形をきちんとしてほしい。
- 小学校2年 ・四字がちゃんと整えて書けている。「ふ」の字はつながりを大事にしてほしい。
- 小学校  
3・4年 ・全員まじめによく書けている。  
・字形が整わない作品が多い。「千」「鳥」
- 小学校5年 ・点画の書き方はまじめに出来ている生徒もいた。  
・四字は、きちんと書けなかった作品が多かった。
- 小学校6年 ・四字は大きくまとめ、はね、はらい等がしっかり書けた。
- 中学校1年 ・半紙用筆だと拡張は難しいと思う。
- 中学校  
2・3年 ・行書はもっとやわらかくつながりを大事にした方がよい。  
・楷書に見えるところが見受けられた。
- 高校・一般 ・全体の書体を統一させた方がよい。(楷書)(行書)(草書)

坂本 富次  
川森 和郎

## 【評価及び反省】

### 第45回大間町新春書初め席書大会の反省

書初め席書大会の開催について、概ね前年度並みの参加を以って開催された。  
作品の課題については、昨年度見直しを図った。

参加者についても、継続的参加されているメンバーは全般に書道塾へ通っている者が多く、奥戸中学校については、全校生徒が参加しているものの、書初め用の筆を使用していないことから、どうしても迫力が掛ける作品になっている。毎年出品しているので、より良い作品になるような打開策を学校側と協議し対応しなければならない。また、高校生・一般の参加を検討し、多くの参加を以って、本事業の拡大及び継続に取り組む必要がある。

# ⑩第53回大間町少年剣道大会

- 1 趣 旨 少年剣士が一同に会し、多くの少年と剣を交えることにより相互の技術の向上はもとより、良き交流の場とすることを目的とする。
- 2 主 催 大間町教育委員会
- 3 開催日 平成 29 年 1 月 29 日 (日)
- 4 開催時間
- |          |                       |
|----------|-----------------------|
| ・開 場     | 午前 7 時 ~              |
| ・受 付     | 7 時 20 分 ~ 8 時 00 分   |
| ・審判・監督会議 | 8 時 00 分 ~ 8 時 20 分   |
| ・選手集合    | 8 時 10 分 ~ 8 時 20 分   |
| ・開会式     | 8 時 30 分 ~ 9 時 00 分   |
| ・競技開始    | 9 時 00 分 ~ 15 時 00 分  |
| ・閉会式     | 15 時 30 分 ~ 16 時 00 分 |
- 5 開催場所 町立大間中学校体育館
- 6 後 援
- |              |                |                |
|--------------|----------------|----------------|
| ・ 大間地区連合防犯協会 | ・ むつ下北地区剣道協会   | ・ 下北地方中学校体育連盟  |
| ・ 大間町体育協会    | ・ 大間町青少年健全育成会議 | ・ 大間少年剣道クラブ育成会 |
| ・ 奥戸少年剣道育成会  | ・ 大間町剣友会       | ・ 東奥日報社        |
| ・ デーリー東北新聞社  | ・ 青森テレビ        | ・ 青森放送         |
| ・ NHK青森放送局   | ・ 青森朝日放送       |                |
- 7 参加料
- ① 団体戦 1チームにつき 5,000 円  
(ただし、小学生女子・中学生女子は 3,000円)
- ② 個人戦 1人につき、 300 円
- ※ 参加料については、申込と同時に納入すること。棄権の場合でも返納不可。
- 8 参加形態
- 【団体戦】**
- ◎小学校男子の部 選手5名と補欠1名 (各団体ともチーム数は制限しない)  
※男女混合でもよい。
- ◎小学校女子の部 選手3名と補欠1名 (各団体ともチーム数は制限しない)
- ◎中学校男子の部 選手5名と補欠1名  
(各団体ともチーム数は制限しない。中学3年生を除く。)※男女混合不可
- ◎中学校女子の部 選手3名と補欠1名  
(各団体ともチーム数は制限しない。中学3年生を除く。)
- ※出場チームは、各道場、学校、クラブ等の単位団体とする。
- 【個人戦】** 中学生、男女ともに学年を問わず10名までとする。
- ◎小学校男子 低学年の部 (4年生以下)、高学年の部 (5・6年生)
- ◎小学校女子 低学年の部 (4年生以下)、高学年の部 (5・6年生)
- ◎中学校男子 男子の部 (1・2年生)
- ◎中学校女子 女子の部 (1・2年生)

## 9 試合方法

- ① 試合は、全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則・細則」を準用する。
- ② 個人戦、団体戦の順に行う。
- ③ 試合方法はトーナメント方式とし、組み合わせは事務局の責任において行う。  
(参加数が少ない場合はリーグ戦となる。)
- ④ 試合時間 個人戦・団体戦とも小学校は2分、準決勝から3分とする。中学校はすべて3分で行う。  
個人戦 延長は勝負がつくまで2分きざみで行う。  
団体戦 勝負の決しないときは引き分けとする。  
※ 勝負数・勝本数とも同数の場合は、代表者1本勝負とする。
- ⑤ 選手は、「たれ」の中央に団体名、氏名を記した名札をつけること。
- ⑥ 紅白の目印を、各自持参すること。

- 10 表彰
- |           |                  |
|-----------|------------------|
| ① 各団体戦第1位 | 優勝旗(持ち回り)、賞状、メダル |
| ② 各団体戦第2位 | 賞状、メダル           |
| ③ 各団体戦第3位 | 賞状、メダル           |
| ④ 個人戦     | 第1位～3位 賞状、メダル    |
| ⑤ 参加賞     | 全員に授与            |

11 申込期限 平成28年12月22日(木)

- 12 その他
- ① 前大会優勝チームは優勝旗を持参すること。
    - ・ 小学校男子 大間小学校
    - ・ 小学校女子 柏葉少年剣士隊
    - ・ 中学校男子 尚道館山野辺道場
    - ・ 中学校女子 田名部中学校
  - ② 参加者は、原則としてスポーツ傷害保険に加入のこと。
  - ③ 団体戦の場合、5名に満たない場合は以下の要領とする。
    - ・ 4人で出場の場合 → 次鋒を欠員とする。
    - ・ 3人で出場の場合 → 次鋒、副将を欠員とする。
    - ・ 小学校女子、中学校女子団体において2人で出場の場合 → 中堅を欠員とする。

## 13 実行委員会開催

- |     |   |          |
|-----|---|----------|
| 第1回 | 平成 28年 11月 17日 (木)  | 午後6時40分～ |
| 案件  | ・ 第53回大間町少年剣道大会要項審議<br>・ 案内送付先について<br>・ 役割分担について<br>・ 練成大会について<br>・ その他 |          |
| 第2回 | 平成 29年 1月 19日 (木)   | 午後6時30分～ |
| 案件  | ・ 確認事項について<br>・ 役割分担について<br>・ その他                                       |          |

実行委員名簿

	氏名	所属	役職	連絡先TEL
1	佐々木 倫 哉	大間町立大間中学校	教 頭	37-3109
2	廣 谷 大 介	大間町立大間中学校	剣道部顧問	37-3109
3	能 戸 修 一	大間町立大間小学校	剣道部顧問	37-2107
4	藤 田 幸 博	大間町立大間小学校	剣道部顧問	37-2107
5	柏 谷 翼	大間町立奥戸小学校	剣道部顧問	37-2108
6	二 階 幸 喜	大間町立奥戸中学校	剣道部顧問	37-3106
7	笹 原 京四郎	青森県立大間高等学校	剣道部顧問	37-2109
8	湊 谷 義 人	大間少年剣道クラブ育成会	会 長	
9	菊 池 佑 輔	奥戸剣道育成会	会 長	37-2105大間病院
10	傳 法 真 弓	大間少年剣道クラブ育成会	副会長	
11	高 橋 美恵子	大間少年剣道クラブ育成会	副会長	
12	新井田 大 輔	奥戸剣道育成会	副会長	
13	平 田 和 幸	奥戸剣道育成会	副会長	
14	増 山 涉	大間剣友会	会 長	
15	菊 池 武 利	大間町体育協会	会 長	
16	伴 武 彦	教育委員会	課 長	
17	浅 見 法	教育委員会	社会教育係長	
18	伊 藤 耕 陽	教育委員会	主 事	

組み合わせ会議メンバー

	氏名	所属	役職	連絡先TEL
1	廣 谷 大 介	大間町立大間中学校	剣道部顧問	37-3109
2	能 戸 修 一	大間町立大間小学校	剣道部顧問	37-2107
3	藤 田 幸 博	大間町立大間小学校	剣道部顧問	37-2107
4	柏 谷 翼	大間町立奥戸小学校	剣道部顧問	37-2108
5	二 階 幸 喜	大間町立奥戸中学校	剣道部顧問	37-3106

# 第53回大間町少年剣道大会 成績一覧

団体戦		開催日	平成29年1月29日		
		開催場所	大間町立大間中学校体育館		
	優勝	準優勝	第三位	第三位	
小学校男子団体戦の部	尚道館山野辺道場A	大間小学校A	南部少年剣士隊	柏葉少年剣士隊A	
小学校女子団体戦の部	石川少年剣道クラブ	大間小学校A	田舎館剣友会A	大畑錬成会	
中学校男子団体戦の部	尚道館山野辺道場	一刀塾	石川少年剣道クラブ	大間中学校	
中学校女子団体戦の部	堀口中学校A	大間町スポーツ少年団	南部少年剣士隊	尚道館山野辺道場A	

## 個人戦

	優勝	準優勝	第三位	第三位
小学校男子個人戦低学年の部	志道館	奥戸小学校	大湊誠武会	秀峰館
	畑中勘仁	清水瑛斗	小林大気	木村恒心
小学校男子個人戦高学年の部	大間小学校	一刀塾	大間小学校	大間小学校
	高橋琉偉	秋元新之介	倉本一輝	御厩敷琉生
小学校女子個人戦低学年の部	南部少年剣士隊	大間小学校	尚道館山野辺道場	大間小学校
	山田那々良	廣谷美桜	松名瀬天絆	小林唯七
小学校女子個人戦高学年の部	柏葉少年剣士隊	大湊誠武会	柏葉少年剣士隊	石川少年剣道クラブ
	音坂碧海	佐藤愛衣	小林倫璃	木村真維
中学校男子個人戦の部	尚道館山野辺道場	尚道館山野辺道場	田名部中学校	三本木中学校
	岩渕 力	神 光希	佐々木一徳	下久保響太
中学校女子個人戦の部	堀口中学校	南部少年剣士隊	三本木中学校	石川少年剣道クラブ
	平川愛理	山田陽菜乃	小渡向日葵	工藤心咲

第53回大間町少年剣道大会 プログラム表紙



第53回  
大間町少年剣道大会

平成29年1月29日 8:30 開会式  
大間町立大間中学校体育館

主催/大間町教育委員会、後援/大間地区連合防犯協会、むつ下北地区剣道協会、下北地方中学校体育連盟、大間町体育協会  
大間町青少年健全育成会議、大間少年剣道クラブ育成会、奥戸少年剣道育成会、大間町剣友会、東奥日報社  
デーリー東北新聞社、青森テレビ、青森放送、NHK 青森放送局、青森朝日放送

## 参加チーム及び監督名

(小学校の部) ( ) 内は参加チーム数

1. 大間小学校 (男4・女2)	藤田 幸博・能戸 修一	25名
2. 奥戸小学校 (男2)	柏谷 翼・齋藤 香澄	9名
3. 大畑錬成会 (男1・女1)	駒木根 学・若松 通	8名
4. むつ北心館 (男1)	秋元 新一	7名
5. 第三田名部小学校 (男4)	秋元 新也・安藤 出	20名
6. 大湊誠武会 (男1)	石澤 真吾	6名
7. 柏葉少年剣士隊 (男2・女1)	中岫 憂基・青山一航	13名
8. 三沢少年剣道隊 (男1)	逸見 勉	5名
9. 志道館 (男2・女2)	畑中 健一・永瀬 智・大木 春男	17名
10. 東北町少年剣道隊 (男1)	枋木 誠	6名
11. 尚道館山野辺道場 (男2)	立田 勇将	10名
12. 青森絃武館 (男1)	間山 大介	5名
13. 石川少年剣道クラブ (男1・女1)	堀内 聡	10名
14. 秀峰館 (男2)	村田 賢一・神 慎太郎	12名
15. 高館少年剣道隊 (男1)	嶋 光春	4名
16. 一刀塾 (男1)	秋元 春樹	7名
17. 南部少年剣士隊 (男1・女1)	山田 慎太郎	10名
18. 田舎館剣友会 (男2・女3)	千葉 洋平・赤平 一雄・田澤 清光	18名

(中学校の部)

19. 大間中学校 (男1)	廣谷 大介	6名
20. 大間町スポーツ少年団 (男1・女1)	二階 幸喜・野上 有名子	6名
21. 大畑中学校 (男1・女1)	佐藤 嘉樹・對馬 萌望	11名
22. 田名部中学校 (男2・女1)	増山 雄宇・石井 祐子	10名
23. 大平中学校 (男1)	野牛 滋美	7名
24. 秀峰館	村田 賢一・神 慎太郎	2名
25. 堀口中学校 (男2・女2)	前山 裕一	18名
26. 東北中学校 (男1)	枋木 誠	6名
27. 尚道館山野辺道場 (男1・女2)	立田 勇将	11名
28. 青森絃武館 (男1・女1)	中村 悟士	7名
29. 石川少年剣道クラブ (男1・女1)	堀内 聡	8名
30. 南部少年剣士隊 (女1)	久保田 友美	4名
31. 平内西武館 (男1)	千代谷 文徳	5名
32. 十和田東中学校 (女2)	竹内 久美子	9名
33. 三本木中学校 (男2・女2)	松尾 和明	14名
34. 一刀塾 (男1)	秋元 春樹	6名

合 計	27団体	71チーム	326名
-----	------	-------	------



## 大会役員名

名誉大会長	大間町長	金澤満春
大会長	大間町教育長	佐藤桂一
副大会長	大間警察署長	佐藤隆史
顧問	大間町議会議長	石戸秀雄
	大間町議会総務教育常任委員会委員長	千代谷誠
	大間町教育長職務代理者	高松大助
	大間町教育委員	宮野成厚
	//	佐藤恵美子
	//	小向英徳
	むつ下北地区剣道協会長	中村征典
	むつ下北地区剣道協会副会長	北上重顕
	//	秋元新一
	大間町剣友会長	増山涉
	大間町体育協会長	菊池武利
	大間町スポーツ少年団本部長	野崎尚文
	大間地区総代	竹内弘
	奥戸地区総代	柳谷章造
	材木地区総代	佐々木明
	大間高等学校長	安達健夫
	大間小学校長	山口順子
	奥戸小学校長	濱田俊一
	大間中学校長	岩本浩也
	奥戸中学校長	飯田一彦
	大間幼稚園長	古畑龍泉
	大間町連合PTA会長	手塚由一
	大間町青少年健全育成会議会長	大見俊久
	大間少年剣道クラブ育成会歴代会長	高松隆光
	//	高木村重忠
	//	廣谷亮介
	//	古川一男
	//	竹内務
	//	伊藤整功
	//	小濱廣
	//	山崎千幸
	//	小濱力男
	//	小米澤誠
	//	荒谷潤治
	//	傳法奈美
	奥戸少年剣道育成会歴代会長	荒谷三郎
	//	能戸正吾
	//	能碓谷祥一
	//	木村政弘
	//	高橋博之
	元大間町教育委員会教育長	米澤明男
	//	蛭子保男
	前大間町教育委員会教育長	川端亜喜男

審判長 佐藤 高正

審判主任 第1…小林 猛 第2…秋元 新也 第3…對馬 勝治  
第4…大山 宏樹 第5…二階 幸喜 第6…野口 幸二

審判員 南 玲 増山 雄宇 下山 房雄 逸見 勉 駒木根 学  
安田 俊彦 石澤 真吾 佐藤 嘉樹 澁谷 智秀 中村 悟士  
山田 真太郎 青山 一航 大木 春男 畑中 健一 秋元 春樹  
千代谷 文徳 岩館 泰弘 角田 さつき 對馬 陽平 堀内 聡  
村田 賢一 神 慎太郎 佐藤 寿之 對馬 萌望 大関 蓮  
山田 真矢 大川 和人 沖田 勇樹 笹原 京四郎 山崎 剛史  
藤田 幸博 能戸 修一 葛西 郁美 柏谷 翼 洞内 貴雄  
増山 涉 熊谷 将登 藤枝 誠 蛭子 勇人 倉本 潤  
南 禎明 矢越 翼

以上順不同

総務進行 廣谷 大介 宮川 玲 田澤 亮一  
伴 武彦 細川 大広 浅見 法 石戸 秀一 伊藤 耕陽  
伊藤 友子 新田 隼人

競技役員 笹原 京四郎 二階 幸喜 藤田 幸博 能戸 修一 柏谷 翼

記録計時 矢越 文男 米澤 和恵 渋田 和隆 荒谷 潤治 廣谷 慶太  
平田 和幸 久保 信一 熊谷 直喜 泉 優介 七島 篤史  
富岡 直仁 山本 竜太 七島 賢人 佐々木 翔大 新田 晃樹  
大西 寿裕 古川 一雅 小林 宣慶 細川 大広 石戸 秀一  
伊藤 耕陽 新田 隼人 大間、奥戸中学校剣道部

救 護 古畑 佳奈美

接 待 伊藤 友子 伊藤 麻衣子 苺和野さゆり  
大間少年剣道クラブ育成会 奥戸少年剣道育成会



### 【評価及び反省】

第53回大間町少年剣道大会については、天候にも恵まれ計画どおり開催できた。

金澤 満春町長はじめ各関係機関方々及び多くのご来賓の出席を賜り、20団体211名の参加を迎えて盛大に実施された。

今年度は、昨年度並みの参加者で開催された。ピーク時には400人を超える選手の参加があったが、少子高齢化及び競技人口の減少によ近年は減少傾向にある。

昨年度、競技開催時期等のアンケートをとったが開催時期については現状のままで良いと思われる。

事業協力者(審判、事務局、大間・奥戸両地区剣道育成会、体協、大間中、役場職員)も手際よく、試合が順調に展開できた。

今後の開催に当たっては、少子化による影響で競技人口が減となり、年々参加人数が減ってくると予想されるが、本大会を安定的に継続していくために、事業を早期着手し審判員の確保・参加者の確保をしながら展開していかなければならない。

## ⑪大間町青少年健全育成会議

- 1 大間町青少年健全育成会議の活動については、下記規約により活動を展開している。また、同規約第2条により教育委員会事務局が事務を行っています。

### 大間町青少年健全育成会議規約

(名称)

第1条 この会議は、大間町青少年健全育成会議という。

(事務所)

第2条 この会議の事務所は、大間町教育委員会に置く。

(目的)

第3条 この会議は、青少年問題の重要性にかんがみ、広く町民の意識を結集し、国及び県の施策並びに青少年育成青森県民会議の提唱する県民運動と呼応して、次代をになう青少年の健全な育成を図ることを目的とする。

(事業)

第4条 この会議は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 青少年がその誇りと責任についての自覚を高めるための諸活動。
- (2) 健全な青少年団体及びグループの育成を図り、すべての青少年が、これに参加することを奨励するための諸活動。
- (3) 体育及びレクリエーションを奨励するための諸活動。
- (4) 健全育成の整備を促進するための諸活動。
- (5) 家庭教育、学校教育、社会教育等の緊密な連携を図るための諸活動。
- (6) 家庭の健全化を図る諸活動。
- (7) 青少年の非行防止のための諸活動。
- (8) 社会環境の浄化を図るための諸活動。
- (9) その他、この会議の目的を達成するための諸活動。

(会員)

第5条 この会議は、この会議の趣旨に賛同する個人及び団体をもって構成する。

- 2 この会議への加入及び脱退については別に定める。

(会員及び職務)

第6条 この会議には次の役員を置く。

- (1) 会長 1 名
- (2) 副会長 2 名
- (3) 委員 若干名
- (4) 監事 2 名

- 2 役員の仕事は次のとおりとする。

- (1) 会長は、この会議の事務を総括し、この会議を代表する。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、または、欠けたときは、あらかじめ示した順序によって、その職務を代行する。
- (3) 委員は、第12条に定めるところにより職務を行う。
- (4) 監事は、会計及び会務を監査し、その結果を総会に報告する。

(役員を選任)

第7条 会長、副会長及び監事は、総会において選任する。

- 2 委員は会長が委嘱する。

(役員任期等)

第8条 役員任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠役員任期は前任者の残任期間とする。

2 顧問及び参与は、委員会に諮って会長が委嘱する。

(機関)

第9条 この会議に次の機関を置く。

- (1) 総 会
- (2) 委 員 会
- (3) 専門部会

(総会)

第10条 総会は会員をもって構成し、毎年1回以上会長が招集して開き、次の事項を議決する。

- (1) 事業計画及び事業報告
- (2) 予算及び決算
- (3) 規約の変更に関する事項
- (4) その他総会が必要と認める事項

(委員会)

第11条 委員会は、会長、副会長、監事及び委員をもって構成し、必要の都度会長が招集して開く。

(専門部会)

第12条 この会議は、必要の都度、専門部会を設けることができる。

- 2 専門部会は、会長から付託された事項について、調査・審議及び企画・実施する。
- 3 専門部会は、部員をもって構成し、会員の中から会長が委嘱する。
- 4 専門部会に部会長を置き、部員の中から互選する。
- 5 専門部会は、部会長が招集する。

(議長)

第13条 総会の議長は、その総会において出席した会員のうちから選任する。

- 2 委員会の議長は、会長がこれにあたる。
- 3 専門部会の議長は、部会長がこれにあたる。

(議決)

第14条 総会及び委員会の議決は、会議に出席した構成員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務局)

第15条 この会議の日常の事務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局の職員は、会長が委嘱する。

(経費)

第16条 この会議の事業に要する経費は、必要に応じ、寄付金、助成金等をもって充てる。

(会計年度)

第17条 この会議の会計年度は、4月1日に始まり、翌年の3月31日をもって終わる。

(補則)

第18条 この規約の施行について必要な事項は別に定める。

(付則)

この規約は、昭和57年7月16日から施行する。

## 取 扱 要 領

規約第5条第2項の規定に基づき、この会議への加入及び脱退について次のように定める。

- 1 この会議の会員になろうとするものは、入会申込書を会長に提出し、委員会の承認を得なければならない。
- 2 この会議を脱退しようとするものは、理由を付して脱退届けを提出しなければならない。
- 3 この細則は、昭和58年5月31日から適用する。

規約第16条に定める寄付金等の取扱を次のとおりとする。

- 1 この会議の趣旨に賛同する個人及び団体から寄付金を受けるものとする。
- 2 この会議の事業を推進するため、会議に参加する個人及び団体から拠出を受けるものとし、その拠出金の標準は次のとおりとする。
  - ① 個人年額 100 円以上
  - ② 会員年額 1,000 円以上
  - ③ 団体年額 2,000 円以上ただし、この標準によらない場合であっても拠出は受けるものとする。

### 3 納付方法

- ① 直接納付

## 活動方針

- 1 本会の規約第3条の趣旨を受け、本年度の方針として「青少年の健全育成」をはかるために、他団体との連携をはかり、啓蒙活動を推進する。
- 2 重点目標
  - (1) 健全な家庭づくり運動を進めよう
  - (2) 子どもの豊かな心や命を大切にする心を育てよう
  - (3) 青少年の自立と社会参加活動を進めよう
  - (4) 青少年の非行防止とよい環境づくりを進めよう
  - (5) 活力と連携のある地域活動を進めよう
- 3 努力事項
  - (1) あいさつの励行(『青少年の健全育成はあいさつから』を提唱)
  - (2) 子どもの豊かな心と命を大切にする心を育む環境づくり運動の推進
  - (3) 「みんなが主役」青少年を育てる地域づくり運動の推進
  - (4) いじめ根絶へ向けての活動推進
- 4 事業の具体化(委員会、専門部会の活動)
  - \*委員会
    - (1) 重点目標実現に向けての事業計画と方針を検討する。
    - (2) 青少年健全育成推進大会実施の企画運営に努める。
    - (3) 会員の意識向上のための研修推進、近隣との交流を図る。
    - (4) 拠出金活動実施の企画運営を的確に進める。
    - (5) 専門部会の連絡調整をとる。
  - \*補導部会
    - (1) 「みんなが主役」青少年を育てる運動の展開
    - (2) 児童生徒の長期休業中の町内巡視活動実施
    - (3) 非行・事故防止運動への協力(未成年者を酒・たばこ・薬物などから守る運動など)
  - \*環境部会
    - (1) あいさつ運動の展開…『青少年の健全育成はあいさつから』を提唱
    - (2) 環境美化の展開…空き缶・ゴミ拾い運動、花いっぱい運動の展開など
    - (3) 万引き、有害図書をなくするため町内各商店の巡回活動実施
    - (4) 非行・事故防止運動への協力(JUMPチームとの協同)
    - (5) 青少年の読書活動の啓発
  - \*町内会部会
    - (1) あいさつ運動の展開…『青少年の健全育成はあいさつから』を提唱
    - (2) 環境美化の展開…空き缶・ゴミ拾い運動、花いっぱい運動の展開など
    - (3) 町内会の巡回補導の推進
    - (4) 他の部会の活動に全面的に協力する



# 1. 平成28年度会務報告

月 日	事 項	会 場	備 考
4月21日	あいさつ運動	各地区通学路	各校教員・声かけリーダー
5月2日	平成28年度新会員の推薦依頼 管内町立学校 県立大間高等学校		各校校長 PTA会長
5月20日	第1回大間町青少年健全育成会議委員会	大間公民館会議室	
5月25日	あいさつ運動	各地区通学路	各校教員・声かけリーダー
5月25日	平成28年度大間町青少年健全育成会議総会	公民館2階	37名参加
5月30日	平成28年度青少年育成県民会議総会	青森県立図書館	2名参加
6月3日	防犯協会総会		
6月3日	平成28年度大間地区暴力追放推進協議会定時総会		
6月6日	平成28年度青森県青少年健全育成推進員及び命を大切に する心を育む声かけリーダー研修会	むつ来さまい館	2名参加
6月23日	あいさつ運動	各地区通学路	各校教員・声かけリーダー
7月7日	あいさつ運動	各地区通学路	各校教員・声かけリーダー
7月11～ 8月24日	平成28年度大間町青少年健全育成会議作品コンクール作品 募集（テーマあいさつ・防犯・万引き・鍵かけ）		管内小中高児童生徒
7月21日	平成28年度夏の交通安全及び防犯パレード	奥戸地区	奥戸小中学校児童生徒 委員・補導・環境・町 内・声かけリーダー
7月22～ 8月18日	夏休み夜間巡回指導活動	大間町全域4回実施	補導部
7月23～ 24日	大間地区連合防犯協会主催 平成28年度大間地区地域安全野球大会	風間浦野球場	
8月25日	あいさつ運動	各地区通学路	各校教員・声かけリーダー
8月25日～ 31日	青森県青少年健全育成県民会議「命を大切に する心を育む県民運動【あいさつ・声かけ 促進キャンペーン】		
9月6日	大間地区連合防犯協会主催 第52回大間地区少年防犯弁論大会		
9月21日	あいさつ運動	各地区通学路	各校教員・声かけリーダー
9月23日	平成28年度大間町青少年健全育成会議作品コンクール作品 募集に係る 標語・ポスター審査会	公民館1階	委員
9月23日	平成28年度 秋の交通安全及び防犯パレード	雨天中止	大間小中学校児童生徒 委員・補導・環境・町 内・声かけリーダー
9月25日	第31回はまなす駅伝大会	大間町内	24チーム参加
10月20日	あいさつ運動	各地区通学路	各校教員・声かけリーダー
10月27日	健全育成作品（ポスター・標語）配布	町内各所	補導部・環境部
11月24日	あいさつ運動	各地区通学路	各校教員・声かけリーダー
12月4日	第31回大間町少年柔道大会	大間中学校	約300名参加
12月8日	あいさつ運動	各地区通学路	各校教員・声かけリーダー
12月20日	第35回大間町青少年健全育成推進大会第1回実行委	大間公民館会議室	
1月26日	あいさつ運動	各地区通学路	各校教員・声かけリーダー
1月29日	第53回大間町少年剣道大会	大間中学校	役330名参加
1月31日	第35回大間町青少年健全育成推進大会第2回実行委	大間公民館会議室	
2月11日	第35回大間町青少年健全育成推進大会 各表彰・青年の主張・入賞作品展示 講演：青森ワッツ チアダンスチーム ブルーリングス チアスクール ディレクター 岩館 千歩 氏	北通り総合文化センター ウイング	約300名参加
2月23日	あいさつ運動	各地区通学路	各校教員・声かけリーダー
3月9日	あいさつ運動	各地区通学路	各校教員・声かけリーダー
3月31日	健全育成機関誌「青春」第36号発行	町内配布	2,400部



## 4 あいさつ運動の実施

本事業については、県青少年健全育成推進委員・町青少年健全育成会議の声かけリーダーを中心に、継続的に実施されている運動である。

基本的に、毎月第4木曜日の登校時間に通学路に立ち、登校する児童生徒に「声かけ」を行っている。PTAや教職員、町内会、民生児童委員、交通安全母の会や地域の各団体の協力を得て実施し、その効果は十分に児童生徒の日常の態度に表れており、学校内はもちろん、街頭での挨拶も皆が進んで声をかけてくるようになってきている。学校生活の状況において町内4校とも「いじめ問題」等もなく平穏に過ごせる環境になっている。

一方、学校では「ノーカーデー」を設定し取り組みをしているが、依然として「車での送迎」をする保護者が多い現状である。下北地域の児童については肥満度が高く、特に大間町は高い状況であり、学校サイドも校内での運動等の取り組みの他、家庭での「食事」「間食」「睡眠時間等」基本的な日常生活習慣の改善を模索している。

### ◎ 声かけ実施状況

○ 大間地区 登校時 7時10分 ～ 7時40分 頃までの30分間

- ・ 小学校校門付近
- ・ 町営住宅交差点付近
- ・ 大間保育園付近
- ・ 青い森信用金庫交差点付近

○ 奥戸地区 登校時 7時10分 7時40分 頃までの30分間

- ・ 春日神社前信号付近
- ・ 材木農村婦人の家付近
- ・ 奥戸橋付近

## 5 交通安全及び防犯パレードへの参加

大間町交通安全対策協議会と大間地区連合防犯協会大間支部の共催で実施している

奥戸地域 「夏の交通安全及び防犯パレード」

大間地域 「秋の交通安全及び防犯パレード」

へ健全育成会議の「委員会」「町内会部会」「声かけリーダー」で積極的に参加し、地域の交通安全対策へ寄与している。奥戸中学校生徒の「JUNPチーム」も毎年参加している。

## 6 クリーン作戦の実施

奥戸小学校児童及び奥戸中学校生徒全員と健全育成会議委員で、奥戸・材木地区の道路清掃活動を毎年継続し夏休みに入る前に行っている。

これについては、地域住民からも大きく評価されている。

## 7 健全育成作品コンクールの開催

子どもたちへの「犯罪防止」と「あいさつに対する意識の高揚」更には、これの地域住民へ本活動をアピールすることを目的として、「防犯・あいさつ・鍵かけ」をテーマとしてポスター及び標語を夏休み期間に募集し、審査会を開催して選考された優秀作品について、毎年2月第二土曜日に開催している「大間町青少年健全育成推進大会」の場において表彰している。

## 8 県主催各種研修会等への参加

### ○ 県青少年健全育成推進員及び命を大切にする心を育む「声かけリーダー」

- ・ 大間町大字奥戸字奥戸村190 岩泉 盛利
- ・ 大間町大字奥戸字向町27-5 笹谷 克則 (青少年育成推進指導員兼務)
- ・ 大間町大字大間字奥戸道33-5 泉 晃
- ・ 大間町大字大間字冷水6-2 高橋 博之

### ○ 研修会等参加状況

開催日 平成28年 6月 6日(月) 13:00 ~ 16:30

場 所 むつ来さまい館 イベントホールB

内 容 平成28年度青森県青少年健全育成推進員及び命を大切にする心を育む  
声かけリーダー研修会

開催日 平成28年5月30日(月) 13:00 ~ 16:00

場 所 青森県立図書館

内 容 平成28年度青少年健全育成青森県民会議総会

通学路での声かけの様子



## 第35回大間町青少年健全育成推進大会

開催日 平成 29 年 2 月 11 日 (土)  
時 間 午前 9 時 ~ 12 時 まで  
会 場 北通り総合文化センター「ウイング」 1F

### 第 3 5 回大間町青少年健全育成推進大会開催要項

#### 1 大会の趣旨

大間町の明日を担う、心豊かでたくましい青少年の育成を図るために育成関係者及び地域住民が結集して、家庭並びに地域における育成活動のあり方を研究協議し、もって地域ぐるみで一層の育成活動の推進と充実を期することを目的に開催する。

#### 2 大会スローガン 『 地域ぐるみで 伸びよう 伸ばそう 青少年 』

#### 3 主 催 大間町青少年健全育成会議

#### 4 共 催 大間町連合PTA 大間町体育協会 大間町子ども会育成連絡協議会 大間町学力向上推進委員会

#### 5 後 援 大間町・大間町教育委員会

#### 6 協力機関・団体 大間警察署、大間町立小・中学校、大間小・中PTA、奥戸小・中PTA 県立大間高等学校、大間高等学校PTA、各町内会、婦人会(大間・奥戸 大間町連合青年団、大間町老人クラブ連合会、漁協女性部(大間・奥戸 父母の会(うみの子保育園・大間保育園・大間幼稚園)、 大間町青少年赤十字活動推進協議会、大間ライオンズクラブ、 大間町民生委員児童委員協議会、大間地区防犯指導隊大間支隊、 大間町料飲店防犯協力会、大間地区更生保護女性会、 大間最北端観光組合、大間町商工会女性部、大間町柔道協会、 大間誠心館道場、大間誠心館道場育成会、 大間少年剣道クラブ育成会、奥戸少年剣道育成会、 大間ボランティアグループふれあい、大間町読書サークル、 大間町女性団体連絡協議会

#### 7 実行委員会 大間町青少年健全育成会議副会長 大間町青少年健全育成会議委員会委員 大間町教育委員会担当 大間町立小・中学校 教頭

## 8 青少年健全育成推進大会内容

- (1) 開会のことば 大間町青少年健全育成会議 副会長 高橋博之
- (2) 大会長挨拶 大間町青少年健全育成会議 会長 大見俊久
- (3) 祝 辞 大間町長 金澤満春様  
大間警察署長 佐藤隆史様
- (4) 大会宣言 大間町青少年健全育成会議 委員 手塚由一
- (5) 少年の主張
- |          |                  |       |
|----------|------------------|-------|
| 大間小学校代表  | 6年               | 小林咲美  |
| テーマ      | 「 独りぼっちにならない町へ 」 |       |
| 奥戸小学校代表  | 6年               | 清水彩心  |
| テーマ      | 「 自分の夢にむかって 」    |       |
| 大間中学校代表  | 3年               | 金澤七海  |
| テーマ      | 「 想い 」           |       |
| 奥戸中学校代表  | 3年               | 大久保琉奈 |
| テーマ      | 「 父の背中と母と私 」     |       |
| 大間高等学校代表 | 2年               | 伊藤航汰  |
| テーマ      | 「 生徒主体の学校へ 」     |       |
- (6) 表彰状伝達 詳細については別添
- (7) 講師紹介 大間町青少年健全育成会議 副会長 笹谷克則
- (8) 公演 「人生は自分探し旅～夢の実現はゴールではなくスタート～」  
講師 青森スポーツクリエーション株式会社  
青森ワッツ チアダンスチーム ブルーリングス  
青森ワッツ チアスクール  
ディレクター 岩館千歩氏
- (9) 閉会の言葉 大間町青少年健全育成会議 副会長 高橋博之

### 大間町青少年健全育成会議表彰規定(抜粋)

#### ( 表 彰 )

- 第2条 次の各号のいずれかに該当する活動を行っているか、又は行った個人等で青少年の健全な成長及び非行防止のために他の模範となる実績をもつもの
- (1) 健全育成施設の整備を促すための諸活動
  - (2) 家庭の健全化を図るための諸活動
  - (3) 健全な青少年団体及びグループの育成を図り、すべての青少年が参加することを奨励するための諸活動
  - (4) 青少年の非行防止のための諸活動
  - (5) 社会環境の浄化を図るための諸活動
  - (6) その他青少年の健全育成のためのボランティア活動
  - (7) 青少年の文化活動において、功績のあった個人及び団体の活動

## 平成28年度健全育成表彰授与者

(個人) 中村 律子 (浜町第一町内会)

- 15年間の長期にわたり町内会副会長として町内の発展に努力を続けてきた。

山崎 榮 (大間地域婦人会)

- 大間地域婦人会に入会時から役員として会の運営に貢献し、現在は副会長として積極的に活動している。
  - ・ 大間地域婦人会役員 10年
  - ・ 大間町日赤奉仕団役員 10年
  - ・ 交通安全母の会役員 10年

## 健全育成作品コンクール表彰者

### ポスターの部表彰者

◎ポスター最優秀賞1 優秀賞2 佳作3

賞	作 品	学 校 名	学 年	氏 名
最優秀賞	いじめSTOP!	大間中学校	1年	竹重志芳 <small>たけしげ しほ</small>
優秀賞	ちょっと待って! 万引きは犯罪	奥戸中学校	2年	林日向葵 <small>はやし ひな</small>
優秀賞	いじめ無き平和を望む	大間中学校	1年	伊藤美汀 <small>いとう みなぎ</small>
佳 作	鍵を必ずかけようよ	大間中学校	1年	山崎百代 <small>やまざき もも</small>
佳 作	あいさつでみんなの気持ちがさわやかに	奥戸小学校	6年	菊池いちご <small>きくち いちご</small>
佳 作	あいさつはみんな仲良く元気よく	大間小学校	3年	泉恵璃咲 <small>いずみ えり</small>

## 標語の部表彰者

### ◎標語の部(小学校の部)最優秀賞1 優秀賞1 佳作11

賞	作 品	学 校 名	学 年	し 氏 めい 名
最優秀賞	あいさつは 笑顔がつなぐ 仲間のわ	奥戸小学校	6年	なかじま りょう き 中嶋 凌 生
優秀賞	あいさつは 心と心 むすびあう	大間小学校	6年	たなか り く 田中 莉 玖
佳 作	あいさつは みんなえがおに なるまほう	大間小学校	1年	しぶた る い 渋谷 琉 唯
佳 作	こんにちは げんきいっぱい ごあいさつ	奥戸小学校	1年	やまもと りゅうのすけ 山本 龍之介
佳 作	おはようと あいさつすると えがおさく	大間小学校	2年	きむら まな か 木村 愛 香
佳 作	おはようで きょうも一日 えがおの日	奥戸小学校	2年	いせ りくと 伊世 陸 人
佳 作	つたえよう 心で声で ありがとう	大間小学校	3年	にっ た こう せい 新田 航 生
佳 作	あいさつと 笑顔で守る 大間町	奥戸小学校	3年	たなか ゆ な 田中 結 菜
佳 作	あいさつで 友情あふれる いじめなし	大間小学校	4年	おおみ き さら 大見 幸 更
佳 作	ありがとう その一言が うれしいな	奥戸小学校	4年	いせ かい ち 伊世 快 地
佳 作	ありがとう 君と私は 笑顔だね	大間小学校	5年	ひらこそ み さ 平社 美 紗
佳 作	あいさつで 心と心が つながるよ	奥戸小学校	5年	かき ぎき ゆう 柿崎 優 斗
佳 作	声かけて ふりむく目と目が こんにちは	奥戸小学校	6年	いかり や そら 碓 谷 空

### ◎標語の部(中学校の部)最優秀賞1 優秀賞3 佳作6

賞	作 品	学 校 名	学 年	し 氏 めい 名
最優秀賞	万引きで 手にしたものは 消えた夢	奥戸中学校	3年	おおくぼ る な 大久保 琉 奈
優秀賞	鍵かけは 家族みんなで 声かけて	大間中学校	1年	みやの りゅう や 宮野 龍 也
優秀賞	鍵かけは 一人ひとりが チェックマン	奥戸中学校	1年	ささや りょう た 笹谷 涼 太
優秀賞	油断して 鍵をかけずに 被害者に	大間中学校	2年	くまがい か のん 熊谷 花 音
佳 作	万引きで こわれた夢は もどらない	大間中学校	1年	たけうち あかり 竹内 星
佳 作	鍵かけよ? その一言が 家守る	奥戸中学校	1年	なかむら そ ら 中村 颯 来
佳 作	手をだすな、万引きしたら、おわりだよ	大間中学校	2年	まつもと ひ なた 松本 陽 向
佳 作	鍵をかけ 大事なものを、守ろうよ	奥戸中学校	2年	こばやし ゆい 小林 唯
佳 作	犯した罪 君に一生 つきまとう	奥戸中学校	2年	はやし ひ なり 林 日向 葵
佳 作	万引きで その心の隙 埋めないで	奥戸中学校	3年	きくち る いと 菊池 瑠 愛

[大間町体育協会長表彰]

大間町優秀選手賞

受賞者48名

No.	ふりがな氏名	種別	所属先又は学校名(学年)	大会名・成績
1	たけうち じょうたろう 竹内 晟太郎	柔道	大間保育園	青森県少年柔道選手権大会 男子個人 第2位 大間町少年柔道大会 男子個人 優勝
2	さかた けいじろう 酒田 慶次郎	柔道	大間小学校(1年)	青森県少年柔道大会 男子個人 優勝 斉藤仁旗争奪少年柔道大会 男子団体 優勝 青森県少年柔道選手権大会 男子個人 第2位
3	はやし ゆうせい 林下 優生	柔道	大間小学校(1年)	青森県少年柔道大会 男子個人 第2位 斉藤仁旗争奪少年柔道大会 男子団体 優勝 青森県少年柔道選手権大会 男子個人 第3位
4	ますた あれん 増田 吾蓮	柔道	大間小学校(2年)	斉藤仁旗争奪少年柔道大会 男子団体 優勝 青森県少年柔道大会 男子個人 第3位
5	たなか るいき 田中 琉維輝	柔道	大間小学校(2年)	斉藤仁旗争奪少年柔道大会 男子団体 優勝
6	いとう ごう 伊藤 豪	柔道	大間小学校(2年)	青森県少年柔道選手権大会 男子個人 第2位 青森県少年柔道大会 男子個人 第2位 斉藤仁旗争奪少年柔道大会 男子団体 優勝 大間町少年柔道大会 男子個人 優勝
7	たなか みみ 田中 美海	柔道	大間小学校(4年)	青森県少年柔道大会 女子個人 第3位
8	きむら りく 木村 陸	剣道	大間小学校(6年)	青森県スポーツ少年団フェスティバル剣道競技会 団体 第2位 青森県小学生剣道錬成大会 高学年 団体 第3位
9	たかはし るい 高橋 琉偉	剣道	大間小学校(6年)	全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会青森予選会 第3位 青森県スポーツ少年団フェスティバル剣道競技会 団体 第2位 県下選抜少年剣道大会 個人 第3位 青森県小学生剣道錬成大会 高学年 団体 第3位
10	くらもと かずき 倉本 一輝	剣道	大間小学校(6年)	青森県小学生剣道錬成大会 高学年 団体 第3位
11	おんまやしきりお 御厩敷 琉生	剣道	大間小学校(5年)	〃
12	くまがい けんおけ 熊谷 謙介	剣道	大間小学校(5年)	〃
13	ひろや みお 廣谷 美桜	剣道	大間小学校(4年)	青森県スポーツ少年団フェスティバル剣道競技会 団体 第2位
14	ふじえだ ひなた 藤枝 日向	剣道	大間小学校(4年)	〃
15	すとう こゆり 須藤 小由里	剣道	大間小学校(4年)	〃
16	ふじえだ ひより 藤枝 日和	剣道	大間中学校(3年)	青森県春季剣道選手権大会 女子団体 第3位 青森県中体連夏季大会剣道競技 女子団体 第3位
17	みなとや もも 湊谷 桃	剣道	大間中学校(3年)	青森県春季剣道選手権大会 女子個人 第2位 青森県春季剣道選手権大会 女子団体 第3位 青森県中体連夏季大会剣道競技 女子団体 第3位
18	きむら とわ 木村 飛羽	剣道	大間中学校(2年)	青森県春季剣道選手権大会 男子個人 第3位
19	みなとや こころ 湊谷 心	剣道	大間中学校(1年)	青森県春季剣道選手権大会 女子個人 第3位 青森県春季剣道選手権大会 女子団体 第3位 青森県中体連夏季大会剣道競技 女子団体 第3位
20	やなぎ ことは 柳 琴葉	剣道	大間中学校(1年)	青森県春季剣道選手権大会 女子団体 第3位 青森県中体連夏季大会剣道競技 女子団体 第3位
21	にしむら れん 西村 蓮	馬術	大間中学校(1年)	青森県馬術選手権大会 JEF馬場馬術競技A2課題(ジュニア) 第1位 標準障害飛越LC競技(ジュニア) 第2位 標準障害飛越LD競技(ジュニア) 第3位 桜花杯優勝グランプリ大会クロス障害飛越競技(ジュニア) 優勝
22	やまだ こたろう 山田 虎太郎	剣道	奥戸中学校(3年)	青森県スポーツ少年団フェスティバル剣道競技 男子団体 優勝



23	あらいだ そうた 新井田 蒼汰	剣道	奥戸中学校(3年)	〃
24	いわせ ほたか 岩瀬 帆孝	剣道	奥戸中学校(3年)	〃
25	しばた かける 柴田 翔	剣道	奥戸中学校(2年)	〃
26	きくち がくと 菊池 岳斗	剣道	奥戸中学校(2年)	〃
27	でんぼう たくみ 傳法 卓巳	陸上	大湊高等学校(3年)	青森県春季陸上競技選手権大会 男子 走高跳 第1位
28	いとう らいき 伊藤 羅生	陸上	大湊高等学校(2年)	青森県高等学校新人陸上競技選手権大会 男子 三段跳 第1位
29	こたに まお 小谷 真勇	硬式野球	大湊高等学校(3年)	全国高等学校野球選手権青森大会 準優勝
30	えびな りくと 蝦名 陸斗	硬式野球	大湊高等学校(3年)	〃
31	のざき とひで 野崎 敬秀	硬式野球	大湊高等学校(3年)	〃
32	なかじま たくむ 中嶋 拓夢	硬式野球	大湊高等学校(3年)	〃
33	むらかわ あみ 村川 愛海	剣道	八戸聖カスリ学院 高等学校(3年)	青森県高等学校春季剣道選手権大会 女子団体 第3位 青森県高等学校総合体育大会剣道競技 女子団体 第3位
34	いずみりゅうと 泉 竜斗	柔道	光星学院 高等学校(2年)	青森県高等学校新人柔道大会 男子個人 73kg級 第3位
35	いずみ かれん 泉 栞恋	柔道	青森北高等学校(3年)	青森県高等学校総合体育大会 柔道競技 女子個人63kg級 第3位
36	やまもと ゆみ 山本 優海	柔道	青森北高等学校(2年)	青森県高等学校夏季柔道大会 女子団体 優勝
37	ふるかわ りゅうすけ 古川 龍裕	剣道	五所川原第一 高等学校(1年)	青森県高等学校新人剣道選手権大会 男子団体 第2位
38	ささき まこと 佐々木 真斗	剣道	東奥義塾高等学校(3年)	青森県高等学校春季剣道選手権大会 男子個人 優勝
39	にった たつき 新田 樹	剣道	東奥義塾高等学校(2年)	青森県高等学校新人剣道選手権大会 男子団体 優勝
40	きくち ゆみ 菊池 佑美	柔道	弘前実業高等学校(2年)	青森県高等学校春季柔道大会 女子個人 52kg級 第1位 青森県高等学校春季柔道大会 女子団体 第1位 青森県高等学校総合体育大会 女子団体 第1位
41	でんぼう ゆい き 傳法 優生	剣道	宮城県小牛田農林 高等学校(2年)	宮城県高等学校総合体育大会 男子団体 第1位 東北高等学校剣道選手権大会 男子団体 第2位 宮城県高等学校新人剣道大会 男子団体 第2位 宮城県高等学校新人剣道大会 男子個人 第3位
42	くまがい もと 熊谷 巨希	柔道	長野県松本第一 高等学校(2年)	全国高等学校柔道選手権大会 長野県予選 男子個人60kg級 優勝
43	くらもと じゅん 倉本 潤	剣道	大間町体育協会 剣道部	青森県民体育大会 剣道競技 町村の部 団体 優勝
44	いとう こうよう 伊藤 耕陽	剣道	大間町体育協会 剣道部	〃
45	ふじえだ あきら 藤枝 誠	剣道	大間町体育協会 剣道部	〃
46	かしわや つばさ 柏谷 翼	剣道	大間町体育協会 剣道部	〃
47	くまがい まさと 熊谷 将登	剣道	大間町体育協会 剣道部	〃
48	の と しゅういち 能戸 修一	剣道	大間町体育協会 剣道部	〃

# 大間町スポーツ奨励賞

受賞者103名

No.	ふりがな氏名	種別	所属先又は学校名(学年)	大会名
1	でんぼう さや 傳法 朔矢	剣道	大間小学校(6年)	むつ下北地区秋季剣道選手権大会 団体 優勝
2	いしと あおな 石戸 碧那	ミニバス	大間小学校(5年)	金澤杯争奪 むつ・下北地区バスケットボール祭り 優勝
3	いとう さくら 伊藤 咲花	ミニバス	大間小学校(5年)	〃
4	いずみ ゆめい 泉 夢華	ミニバス	大間小学校(5年)	〃
5	よしもと ななか 吉本 菜々華	ミニバス	大間小学校(5年)	〃
6	すずき りな 鈴木 里奈	ミニバス	大間小学校(5年)	〃
7	えびな さくら 蝦名 さくら	ミニバス	大間小学校(5年)	〃
8	でんぼう あやね 傳法 絢心	ミニバス	大間小学校(4年)	〃
9	まつもと ふゆい 松本 風夏	ミニバス	大間小学校(4年)	〃
10	いとう うみ 伊藤 海	ミニバス	大間小学校(3年)	〃
11	さやま ゆな 佐山 夢奈	ミニバス	大間小学校(3年)	〃
12	よねもち なお 米持 奈桜	ミニバス	大間小学校(3年)	〃
13	きくち れん 菊池 蓮	軟式野球	大間小学校(6年)	高円宮賜杯 全日本学童軟式野球大会むつ地区予選大会 優勝
14	えびこ あやと 蛭子 綾斗	軟式野球	大間小学校(6年)	〃
15	あおやま たけ 青山 拓翔	軟式野球	大間小学校(6年)	〃
16	いとう たけみち 伊藤 才道	軟式野球	大間小学校(5年)	〃
17	にった しょうた 新田 翔汰	軟式野球	大間小学校(5年)	〃
18	たけうち しゅうや 竹内 秀哉	軟式野球	大間小学校(5年)	〃
19	たけわき れん 舘脇 蓮	軟式野球	大間小学校(5年)	〃
20	にった かずは 新田 一巴	軟式野球	大間小学校(5年)	〃
21	いとう あらた 伊藤 新	軟式野球	大間小学校(4年)	〃
22	さやま りょうた 佐山 凌太	軟式野球	大間小学校(4年)	〃
23	さとう りとら 佐藤 凌虎	軟式野球	大間小学校(4年)	〃
24	こじま あきや 小島 慧也	軟式野球	大間小学校(3年)	〃
25	こじま たいが 小島 大駕	軟式野球	大間小学校(3年)	〃
26	こじま るい 小島 琉生	軟式野球	大間小学校(2年)	〃
27	こじま つばさ 小島 翼	軟式野球	大間小学校(2年)	〃

28	ささき まさはる 佐々木 正晴	陸上	大間小学校(6年)	むつ下北地区小学校陸上競技大会 男子 200m 第1位
29	きくち いちご 菊池 苺	剣道	奥戸小学校(6年)	むつ下北地区春季剣道大会 女子個人5・6年生の部 第1位 むつ下北地区秋季剣道大会 女子個人5・6年生の部 第1位
30	ひらた せいま 平田 成真	剣道	奥戸小学校(5年)	むつ下北地区秋季剣道大会 男子個人5・6年生の部 第1位
31	しみず あきと 清水 瑛斗	剣道	奥戸小学校(4年)	むつ下北地区秋季剣道大会 男子個人4年生 第1位
32	しばた かすが 柴田 春我	軟式野球	奥戸小学校(6年)	青森県少年軟式野球大会むつ地区予選 優勝
33	ささや りく 笹谷 陸翔	軟式野球	奥戸小学校(6年)	〃
34	かさぎき りゅうき 柿崎 龍輝	軟式野球	奥戸小学校(6年)	〃
35	なかじま りょうき 中嶋 凌生	軟式野球	奥戸小学校(6年)	〃
36	いとう まなと 伊藤 雅夏斗	軟式野球	奥戸小学校(6年)	〃
37	いずみ けんしん 泉 堅心	軟式野球	奥戸小学校(6年)	〃
38	こばやし ともや 小林 知也	軟式野球	奥戸小学校(5年)	〃
39	かさぎき ゆうと 柿崎 優斗	軟式野球	奥戸小学校(5年)	〃
40	まつやま やまと 松山 大翔	軟式野球	奥戸小学校(4年)	〃
41	かさぎき よしと 柿崎 儀斗	軟式野球	奥戸小学校(3年)	〃
42	こばやし しょう 小林 翔	軟式野球	奥戸小学校(3年)	〃
43	いわや ゆた 岩谷 勇希	軟式野球	奥戸小学校(3年)	〃
44	やまもと こあ 山本 心愛	軟式野球	奥戸小学校(3年)	〃
45	ささき らむ 佐々木 虹	軟式野球	奥戸小学校(3年)	〃
46	いわせ おつけ 岩瀬 桜介	軟式野球	奥戸小学校(1年)	〃
47	ささき ひゅうが 佐々木 飛雅	軟式野球	奥戸小学校(1年)	〃
48	いずみ たいが 泉 大河	剣道	大間中学校(1年)	下北地方中体連夏季大会 剣道競技 男子団体戦 優勝
49	たかはし ごう 高橋 剛	剣道	大間中学校(1年)	〃
50	まつやま えいしん 松山 栄資	剣道	大間中学校(1年)	〃
51	みなみ まなと 南 夢翔	剣道	大間中学校(1年)	〃
52	みやの りゅうや 宮野 龍也	剣道	大間中学校(1年)	〃
53	いとう しゆんき 伊藤 春稀	剣道	大間中学校(1年)	〃
54	よねざわ りょう 米澤 亮	軟式野球	大間中学校(3年)	全日本軟式野球青森県大会むつ支部予選大会 少年の部 優勝
55	にった しょうた 新田 将太	軟式野球	大間中学校(3年)	〃
56	きくち じゆん 菊池 潤	軟式野球	大間中学校(3年)	〃

57	すずき せいき 鈴木 誠起	軟式野球	大間中学校(3年)	〃
58	ふるかわ けいと 古川 慧人	軟式野球	大間中学校(3年)	〃
59	ささき ゆう 佐々木 優	軟式野球	大間中学校(3年)	〃
60	でんぼう ともき 傳法 知輝	軟式野球	大間中学校(3年)	〃
61	おんまやしき たいき 御廐敷 大輝	軟式野球	大間中学校(3年)	〃
62	いとう りく 伊藤 璃久	軟式野球	大間中学校(3年)	〃
63	でんぼう くうが 傳法 空芽	軟式野球	大間中学校(2年)	全日本軟式野球青森県大会むつ支部予選大会 少年の部 優勝 下北地方中体連秋季大会 優勝
64	でんぼう たいよう 傳法 太耀	軟式野球	大間中学校(2年)	〃
65	あかだ せいま 赤田 誠馬	軟式野球	大間中学校(2年)	〃
66	こじま ゆうひ 小島 優飛	軟式野球	大間中学校(2年)	〃
67	きたむら とうき 北村 冬樹	軟式野球	大間中学校(2年)	〃
68	ささき そら 佐々木 空	軟式野球	大間中学校(1年)	下北地方中体連秋季大会 優勝
69	たけうち まなと 竹内 真那斗	軟式野球	大間中学校(1年)	〃
70	おうみ ゆづき 近江 夢月	軟式野球	大間中学校(1年)	〃
71	やまもと そうき 山本 壮希	陸上	大間中学校(2年)	下北地方中体連秋季大会 男子2年 走幅跳 優勝 男子フィールドの部 優勝
72	すずき しょう 鈴木 翔	陸上	大間中学校(2年)	下北地方中体連秋季大会 男子フィールドの部 優勝
73	ますた せいや 増田 誠弥	陸上	大間中学校(2年)	〃
74	みにくや はると 三國谷 翔斗	陸上	大間中学校(2年)	〃
75	でんぼう しおん 傳法 梓音	陸上	大間中学校(2年)	〃
76	やまざき たいすけ 山崎 汰介	陸上	大間中学校(2年)	〃
77	よねもち ひると 米持 大翔	陸上	大間中学校(1年)	〃
78	ささき ゆう 佐々木 悠	陸上	大間中学校(1年)	〃
79	いとう あおい 伊藤 葵	ソフト ボール	大間中学校(2年)	下北地方中体連秋季大会 ソフトボール競技 優勝
80	あがつま ひかり 我妻 ひかり	ソフト ボール	大間中学校(2年)	〃
81	いわや かほ 岩谷 佳保	ソフト ボール	大間中学校(2年)	〃
82	いとう みか 伊藤 美菜	ソフト ボール	大間中学校(1年)	〃
83	えびな りゆ 蝦名 莉結	ソフト ボール	大間中学校(1年)	〃
84	こまい かなた 駒井 未来	ソフト ボール	大間中学校(1年)	〃
85	にった こはく 新田 恋巴玖	ソフト ボール	大間中学校(1年)	〃

86	にった まなか 新田 真心	ソフト ボール	大間中学校(1年)	〃
87	やまざき ももよ 山崎 百代	ソフト ボール	大間中学校(1年)	〃
88	かとう りさ 加藤 梨紗	ソフト ボール	大間中学校(1年)	〃
89	やまざき ともか 山崎 朋夏	ソフト ボール	大間中学校(1年)	〃
90	まつだ たいよう 松田 太陽	柔道	大間中学校(2年)	下北地方中体連夏季大会 柔道競技 50kg級 優勝
91	いとう かいしゅう 伊藤 海脩	柔道	大間中学校(2年)	下北地方中体連秋季大会 柔道競技 男子81kg級 優勝
92	いずみ じゅり 泉 樹里	柔道	大間中学校(1年)	下北地方中体連秋季大会 柔道競技 女子57kg級 優勝
93	くどう るか 工藤 琉芽	柔道	大間中学校(1年)	下北地方中体連秋季大会 柔道競技 女子57kg超級 優勝
94	でんぼう かいと 傳法 海音	馬術	大間中学校(1年)	2016たかまるステークス大会 ジムカーナ競技(ジュニア) 優勝
95	たかまつ こうせい 高松 剛成	柔道	奥戸中学校(2年)	下北地方中学校体育大会夏季大会 男子66kg 優勝 下北地方中学校体育大会秋季大会 男子66kg 優勝
96	こぼやし たけ 小林 拓真	軟式野球	奥戸中学校(2年)	下北地方中学校体育大会秋季大会 優勝
97	こぼやし けいた 小林 圭太	軟式野球	奥戸中学校(1年)	〃
98	やまざき だいき 山崎 大希	軟式野球	奥戸中学校(1年)	〃
99	やまもと そま 山本 奏真	軟式野球	奥戸中学校(1年)	〃
100	さきや りょうた 笹谷 涼太	軟式野球	奥戸中学校(1年)	〃
101	いわかわ かづき 岩川 夏槻	軟式野球	奥戸中学校(1年)	〃
102	にった りん 新田 凜	陸上	奥戸中学校(1年)	下北地方中学校体育大会秋季大会 女子1年 走幅跳 優勝
103	よしもと ゆうと 吉本 雄登	陸上	大間高等学校(3年)	むつ市春季陸上競技選手権大会 男子走り幅跳 第1位

### 大間町優秀スポーツ指導者賞

受賞者 1名

No.	ふりがな 氏 名	職 業	経 歴	内 容	推 薦 理 由
1	つばた いさむ 津 幡 敢	教員	平成27年4月1日～現在	大間高等学校 ラグビー部指導	大間高等学校ラグビー部の指導者として、県大会等において優秀な成績を収めるとともに選手の育成と監督として大いに貢献した
指導にあたった主な選手及びその成績					
平成27年度青森県学校総合体育大会ラグビーフットボール競技 7人制の部 優勝					



### 【評価及び反省】

青少年健全育成会議における事業については、例年同様に実施できたところであるが、あいさつ運動については、その効果が現れてきており、通学時はもちろん、街頭でも子どもたちから自然にあいさつができるようになってきている。作品コンクールについては、学校ごとの対応がまちまちであり、出品数が伸び悩んでいる状況である。クリーン活動については、ここ数年来奥戸地区での対応となっているので、大間地区でも実施できるように取り組んでいきたい。毎年のものであるが、2月に開催している青少年健全育成推進大会の「講師選定」に苦労している。予算的にも限られた謝礼しか準備できないことから、ギリギリの線で動いている。本事業を引き続き継続するにあたり、事業内容の見直しや補助金の増額要望等を検討していかなければならない。

平成28年度子ども教室参加状況

月 日	奥戸地区(交流館)		大間小アリーナ			大間小ミーティングルーム	
	内 容	人数	月日	内容	人数	内容	人数
6月25日	ふれんど	2人	6月22日	フットサル	47人	大間婦人会	8人
7月9日	ふれんど	2人	6月29日	フットサル	37人	読書サークル	5人
7月16日	奥戸婦人会	9人	7月6日	フットサル	36人	老人クラブ	8人
8月27日	ふれんど	2人	7月13日	フットサル	36人	新風	8人
9月10日	読書サークル	1人	7月20日	フットサル	36人	大間婦人会	7人
9月17日	ふれんど	2人	9月7日	フットサル	13人	老人クラブ	9人
9月24日	奥戸婦人会	3人	9月14日	フットサル	26人	新風	8人
10月1日	読書サークル	2人	9月21日	フットサル	36人	大間婦人会	9人
10月8日	新風	2人	10月12日	フットサル	24人	大間婦人会	8人
10月15日	奥戸婦人会	4人	10月19日	フットサル	29人	新風	8人
10月22日	ふれんど	3人	11月2日	フットサル	29人	大間婦人会	7人
10月29日	奥戸婦人会	2人	11月9日	フットサル	31人	新風	9人
11月5日	奥戸婦人会	4人	11月30日	フットサル	25人	老人クラブ	9人
11月12日	大間婦人会	2人	12月7日	フットサル	23人	大間婦人会	9人
11月19日	読書サークル	3人	12月21日	フットサル(堺さん欠席のため教育委員会で対応したこの日の報酬は出していない)	24人	新風	7人
12月3日	奥戸婦人会	6人	1月18日	フットサル	17人	大間婦人会	8人
12月10日	新風	3人	1月25日	フットサル	22人	読書サークル	7人
12月17日	読書サークル	12人	2月1日	フットサル	17人	新風	7人
1月21日	ふれんど	10人	2月15日	フットサル	26人	読書サークル	9人
1月28日	奥戸婦人会	10人	2月22日	フットサル	17人	老人クラブ	7人
2月4日	ふれんど	3人					
2月18日	ふれんど	2人					
2月25日	奥戸婦人会	10人					
合 計		99人			551人		157人

開催回数	全体	
	奥戸地区	23回
	大間小(アリーナ)	20回
	大間小(ミーティングルーム)	20回

## ⑫放課後子ども教室

- 1 趣 旨 大間町内における放課後や週末等に子ども達の安全、安心な活動拠点を設け、地域の方々参画を得て、子ども達とともに勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の取組みを実施することにより、子ども達が地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的とする。
- 2 主 催 大間町教育委員会
- 3 開催日 通年（夏休み・冬休み・春休みを除く 毎週水曜日及び土曜日に開催）
- 4 開催時間 水曜日 午後 3時～ 土曜日 午前 9時～
- 5 開催場所 町立大間小学校体育館 ・奥戸交流館
- 6 種別 

① フットサル（サッカー）	（ 体協サッカー部	堺 祐介 他 ）
② ものづくり体験	（ 大間婦人会	新相 郁子 他 ）
	（ ふれんど	橋本 京子 他 ）
	（ 大間地区老人クラブ	高松 隆光 他 ）
	（ 奥戸婦人会	野崎 和歌 他 ）
③ 俳句作り体験	（ 新風	金太一一子 他 ）
④ 読み聞かせ体験	（ 大間読書サークル	山崎 アイ子 他 ）
- 7 参加料 無 料
- 8 補助金 青森県教育庁生涯学習課  
平成28年度放課後子ども教室事業費補助金 317,000 円
- 9 実行委員会

第1回	平成 28年 5月 25日（水）	16:00～
案件	・ 今年度の事業説明、日程調整 ・ その他	
第2回	平成 28年 10月 20日（木）	15:00～
案件	・ 今年度の事業説明、日程調整 ・ 来年度からの事業計画の協議 ・ その他	
第2回	平成 29年 3月 10日（金）	15:00～
案件	・ 今年度の事業に関する意見交換 ・ 来年度からの事業計画の協議 ・ その他	



## 大間町放課後子ども教室推進実行委員会会則

### (名 称)

第 1 条 この会は大間町放課後子ども教室推進実行委員会という。

### (事務局)

第 2 条 この会の事務局は、大間町教育委員会に置く。

### (目 的)

第 3 条 この会は、大間町内における放課後や週末等に子ども達の安全、安心な活動拠点を設け、地域の方々参画を得て子ども達とともに勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の取組みを実施することにより、子ども達が地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的とする。

### (会 員)

第 4 条 この会は、次の者をもって会員とし組織する。

- (1) 大間町社会教育委員(実行委員会)、教育委員会職員
- (2) この会の趣旨に賛同する指導者

### (活 動)

第 5 条 この会は、第3条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 子どものためのグループ活動を指導し、助言すること。
- (2) 親と子の正しい結びつきを深めること。
- (3) 子どもをめぐる社会環境をより良くすること。
- (4) 子どもに対して地域の人々の関心をより深めること。
- (5) 良き指導者の育成を図ること。
- (6) 子どもに関する諸機関、団体との連絡提携を図ること。
- (7) その他、子どもの健全育成に必要と認められた活動。

### (役 員)

第 6 条 子の会に次の役員を置く。

- 会長 1名  
監事、事務局長(教育委員会担当課長) 1名

### (役員を選出)

第 7 条 役員を選出は次のとおりとする。

- (1) 会長は教育課長とする。
- (2) 事務局長、監事は教育委員会担当課長とする。

### (役員任期)

第 8 条 役員任期は、社会教育委員の任期とする。

- (1) 役員を選出することができない場合は、新たに選出される役員が就任するまでその任期を延長する。
- (2) 上記役員が就任した場合の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員の仕事)

第 9 条 役員の仕事は、次のとおりとする。

- (1) 会長はこの会を代表し、会務を総理する。
- (2) 委員は会長を補佐し、会長に事故あるときはこれを代行する。
- (3) 監事は会計を監査し、その結果を会長に報告する。
- (4) 事務局は、この会の庶務と会計に関する事務を処理する。
- (5) 事務局長は、この会の庶務と会計に関する支出の権限を持ち、帳簿・証書等の保管及び金銭の出納・保管にあたる。

(会 議)

第 10 条 会議は、会長が委員を招集するものとする。また、委員の他に会長が必要と認める場合、指導員等を会議に出席させることができる。

第 11 条 会議の議長は、会長が実施する。

(運営費)

第 12 条 この会の運営費は、補助金・委託料・その他をもってこれに充てる。

(会計年度)

第 13 条 この会の会計年度は、4月1日から3月31日とする。

(附 則)

- 1 本会則は、平成19年4月1日から施行する。

## 【評価及び反省】

本事業については、平成18年に事業を開始し平成19年4月に推進実行委員会を立ち上げ継続して事業を展開しているところであるが、その内容により子ども達の参加状況の有無が極端な結果となっている。やはり、体を使うサッカー等は参加者が多く、物づくりや読み聞かせ等においては、非常に少なくなっている。現在、子ども達の部活動が無い毎週水曜日及び土曜日に開催しているが、土曜日の参加者は極端に少ないところである。子ども教室のメニューの検討が必要な時期にきていると考えられる。

また、当課の事業とは趣旨が異なるが、厚生労働省が進める「放課後児童クラブ」との事業連携を住民福祉課と模索しているところであり、これについては、対応する人件費等子ども教室とは比較にならないくらいの費用が発生することや、主担当部局をどうするか等の協議を行わなければならないことから、今後の検討事項でもある。

## ⑬函館市戸井地区交流事業

1 経緯 函館市戸井町との交流事業に関しては、昭和46年6月に東日本フェリー大間―戸井航路就航を契機に姉妹町締結し、継続して交流を行っているところであります。旧戸井町時には、双方の町職員同士の交流、駅伝大会・音楽祭への参加等多様に亘って交流が行われて来ましたが、現在は音楽祭・文化祭のみの交流となっております。

2 平成28年度の交流状況

① 第50回函館市戸井地区文化祭芸能発表会への参加

日程 平成 28 年 10 月 15 ～ 16 日

会場 函館市戸井総合学習センター

参加団体

・ 津軽海峡海鳴り太鼓保存普及会 11 名



② 第37回大間町音楽祭への参加

日程 平成 28 年 11 月 6 日

会場 北通り総合文化センター「ウイング」

参加団体 コーラスグループT・O・I



【評価及び反省】 本事業については、姉妹町の関係からもできる限り継続実施していく予定であります。

## 【 施策の総合的評価 】

全般的にみて、当初予算計上分の事業については、課員全員で協力し無事遂行できたと思われる。教育委員会事務局も機構改革後に業務が「教育課」に一本化され職員数が減じられているなかで、総務課業務、社会教育業務における各種行事を毎月のように開催している。

このことは、事務職員及び関係各位の協力により達成できていることであります。

学校教育面に関しても、児童生徒の学力向上へ向けての取組みや、安全の確保を最優先し取り組んでおり、校長会をはじめ教頭会、教務主任会、事務会までの各担当レベルでの会議を毎月開催して常に情報を共有し取り組んでいることは、県内でも例のないことであり、児童生徒の将来に向け、健やかに学び、これからの少子高齢化社会・グローバル化の進展に対応できるような人材育成を行うための環境確保を、今後も継続し続けていく予定であります。

## 【 課題 】

学校施設4校のうち3校が竣工から20年以上となっていることから、順に改修を行わなければならない状況となっている。また、はまなす駅伝大会等においても進む少子化により、地元の子供達の参加が少なくなっている。特に奥戸地域の参加自体が厳しい状況となってきている。

奥戸地域においては、平成23年度から奥戸地域における学校教育の検討を継続して行っており、保護者や地域住民との懇談開催、各校PTAへの説明等を実施し、奥戸中学校の大間中学校への統合に向け推進することとして業務を行っているが、統合反対の意見が多い中での統合は難しく、ある程度の保護者の理解を得た上で実施する手法のほうが望ましいと考えられる。

教育委員会が主管となり実施している事業の中で、特に審判員を必要とする競技を開催する際、そのマンパワー(審判員)の確保が年々難しくなっていることもあり、各大会の開催時期等の検討も必要と考えられる。